

福岡市 教育データブック

(令和5年度版)



福岡スタンダード推進キャラクター
「フレンドシープ」

福岡市教育委員会

はじめに

令和元年6月に策定した「第2次福岡市教育振興基本計画」において、「やさしさとたくましさをもちともに学び未来を創り出す子ども」をはぐくむことを福岡市の教育の目標として定め、6年間の計画対象期間に関連施策を推進していくことといたしました。

今後は、「第2次福岡市教育振興基本計画」を推進していくにあたり、課題を明らかにするとともに、その解決に向けてさらなる取組みを検討し、実施していく必要があります。

そのためには、学校教育に関するさまざまな事象を数量的にとらえ、分析・評価することが必要不可欠です。

本冊子は、「第2次福岡市教育振興基本計画」資料編で示した「基礎データ」に、平成19年度から実施された全国学力・学習状況調査結果や平成22年度からの生活習慣・学習定着度調査等の統計データを加え、構成したものです。

編集や構成にあたっては、視覚的にとらえ、数年の経年も比較し易くなるようにグラフで示すなど、本市の子どもたちの教育に関するデータを紹介しています。

今後も教育に関するデータを集約し、教育施策検討の際の資料になるよう努めていきたいと考えています。

令和5年10月

福岡市教育委員会
総務部教育政策課

も く じ

I 子ども

1 基本的生活習慣	2
2 学力	6
3 学習習慣・家庭学習	10
4 進路状況	15
5 自尊意識・規範意識	18
6 体格・疾病	21
7 体力・運動能力	23
8 メディアとの接触	25
9 不登校・いじめ・暴力行為	26

II 学校

1 学校数等	29
2 学校施設の状況	32
3 地域の人材活用状況	35
4 特別支援教育	36
5 ICT環境	41
6 その他の状況	43

III 教職員

1 教員	46
2 教職員の研修状況	48
3 教員の休職状況	49
4 体罰・処分	50

IV 家庭・地域等

1 家庭状況	52
2 子どもとのかかわり	53

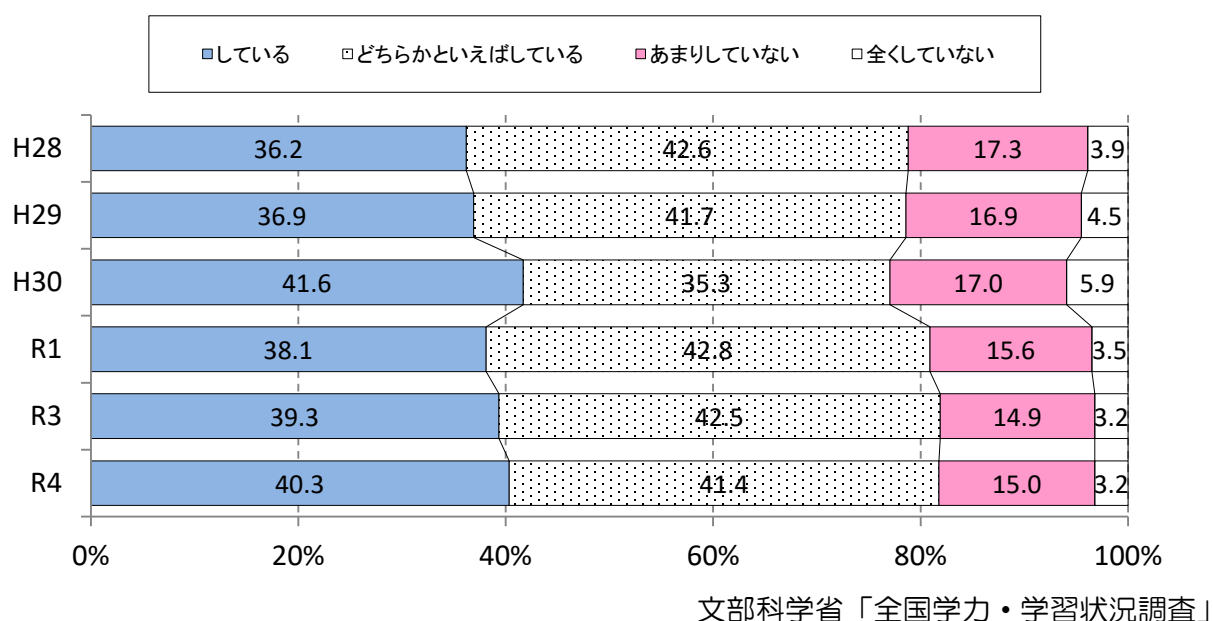
利用にあたって

- 四捨五入の関係で、計と内訳の合計が一致しない場合があります。
- 令和2年度の「全国学力・学習状況調査」「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっています。

I 子 ど も

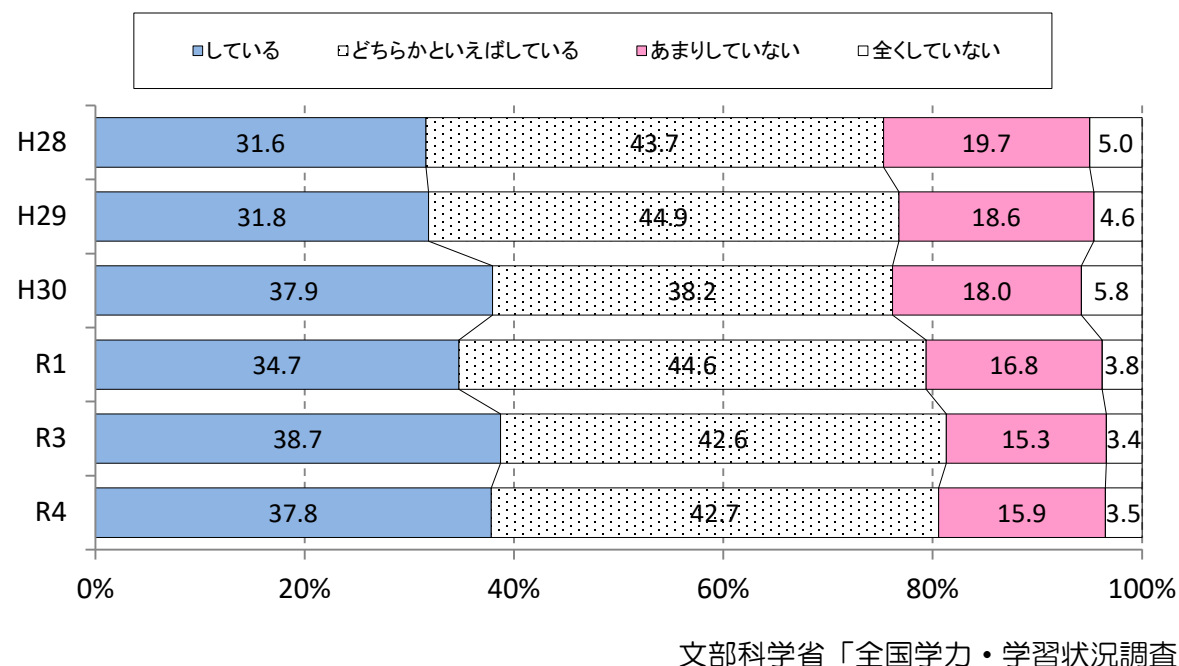
I－1 基本的生活習慣

I－1－1 就寝時刻（小学校6年）



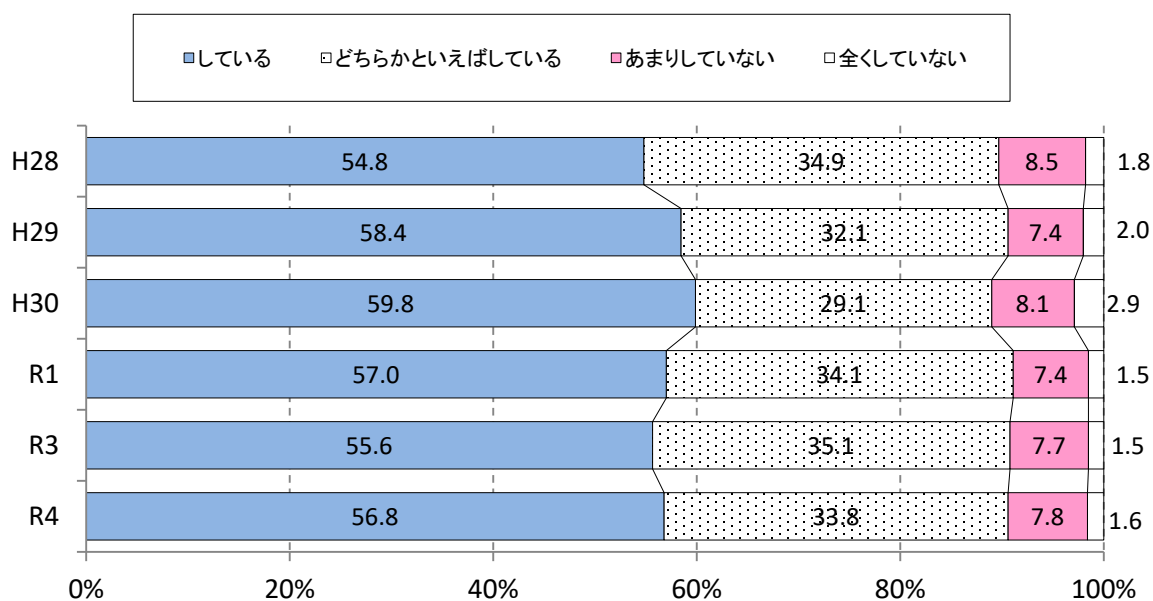
○同じ時刻に寝ることについて、「している」「どちらかといえばしている」と回答した児童の割合は、75%以上となっている。（R2は調査中止）

I－1－1 就寝時刻（中学校3年）



○同じ時刻に寝ることについて、「している」、「どちらかといえばしている」と回答した生徒の割合は、75%以上となっている。（R2は調査中止）

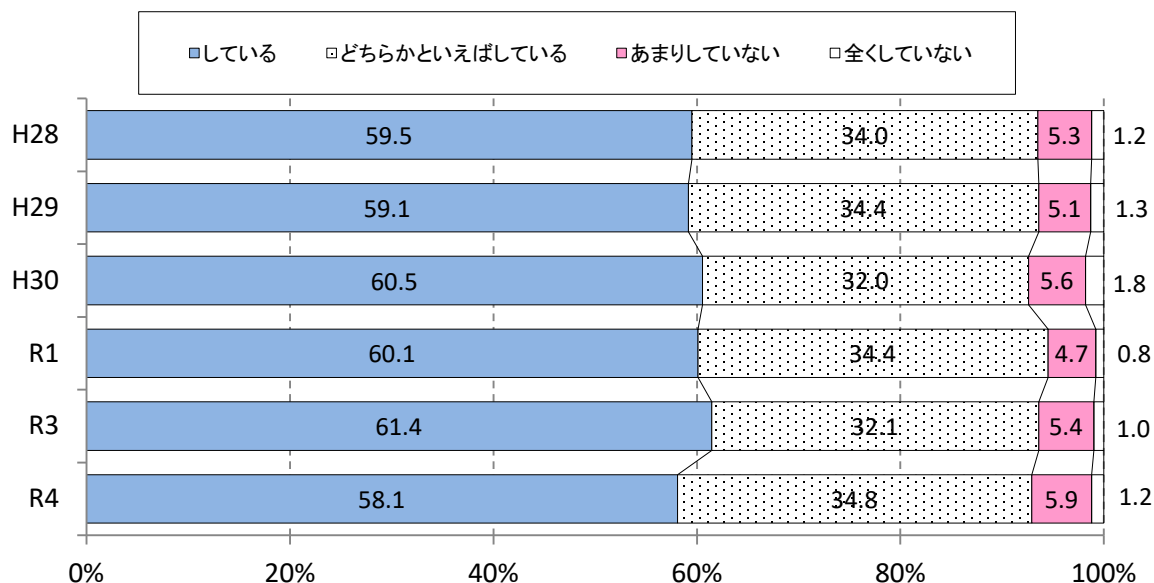
I－1－2 起床時刻（小学校6年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○同じくらいの時刻に起きることについて、「している」、「どちらかといえばしている」と回答した児童の割合は、90%前後で推移している。（R2は調査中止）

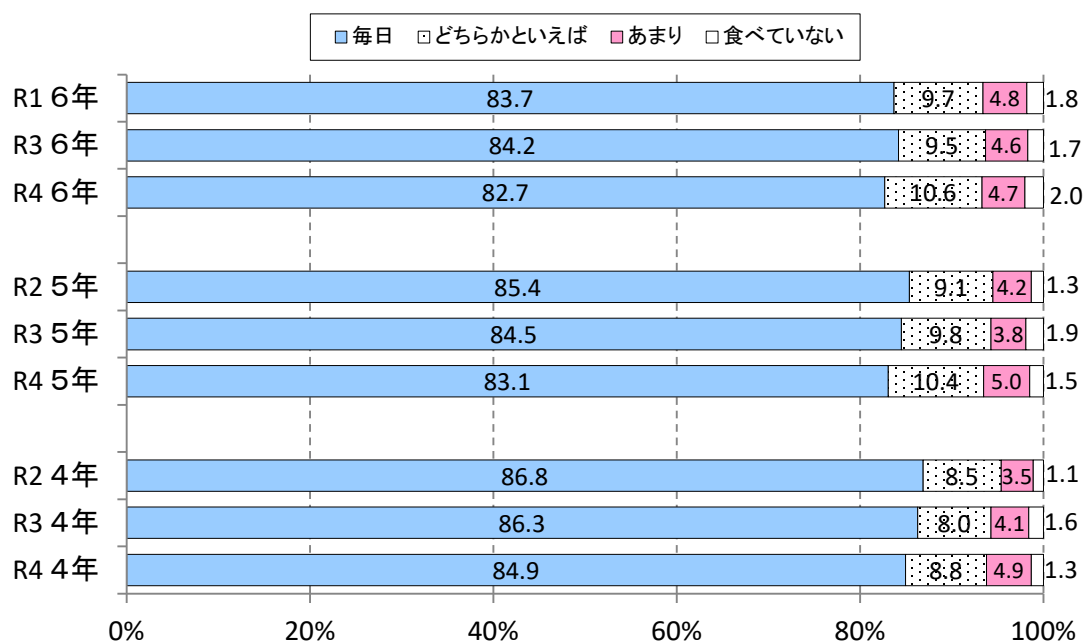
I－1－2 起床時刻（中学校3年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○同じくらいの時刻に起きることについて、「している」、「どちらかといえばしている」と回答した生徒の割合は、90%以上となっている。（R2は調査中止）

I-1-3 朝食の摂取（小学校6・5・4年）

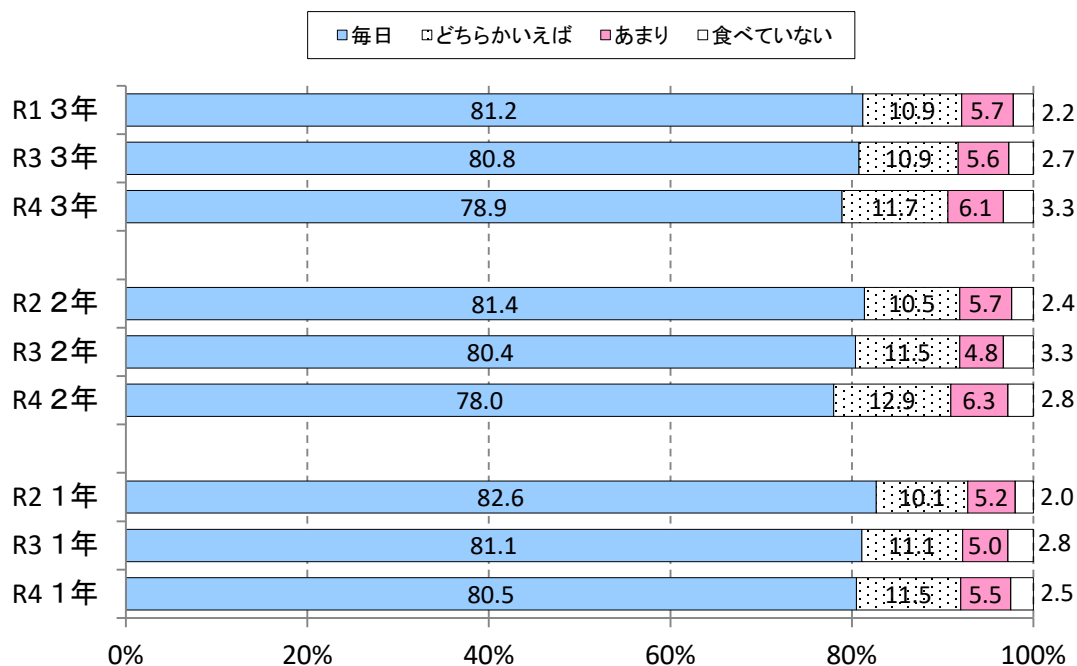


「生活習慣・学習定着度調査」

※小6は、「全国学力・学習状況調査」の数値

○朝食について、「毎日食べる」と回答した児童の割合は、小学校6・5・4年とも、85%前後で推移している。（R2の全国学力・学習状況調査は中止）

I-1-3 朝食の摂取（中学校3・2・1年）

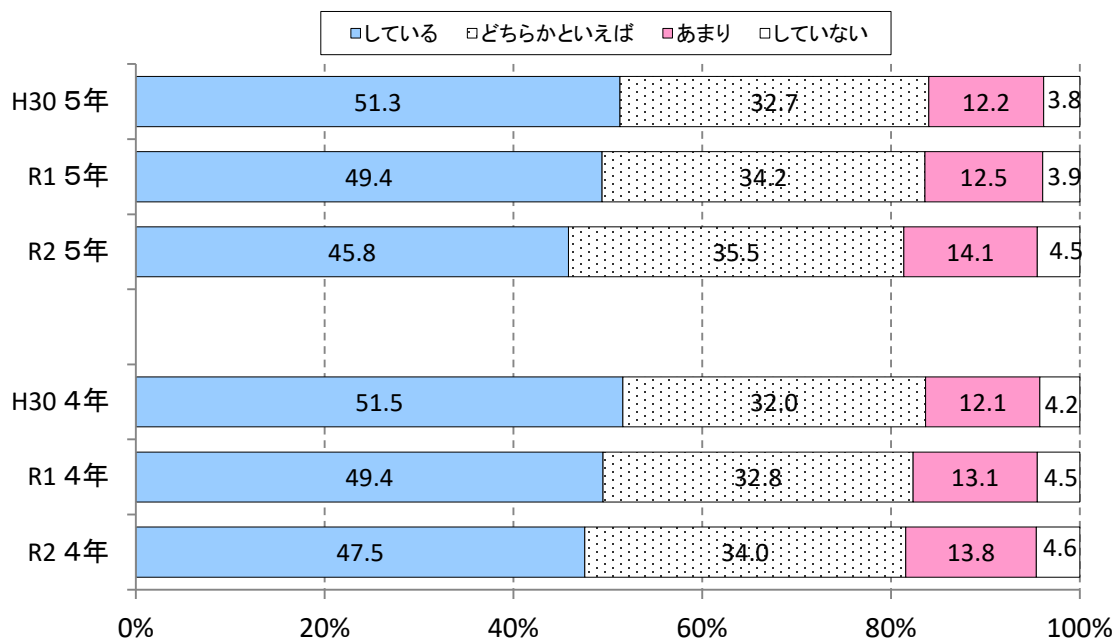


「生活習慣・学習定着度調査」

※中3は、「全国学力・学習状況調査」の数値

○朝食について、「毎日食べる」と回答した生徒の割合は、中学校3・2・1年とも、80%前後で推移している。（R2の全国学力・学習状況調査は中止）

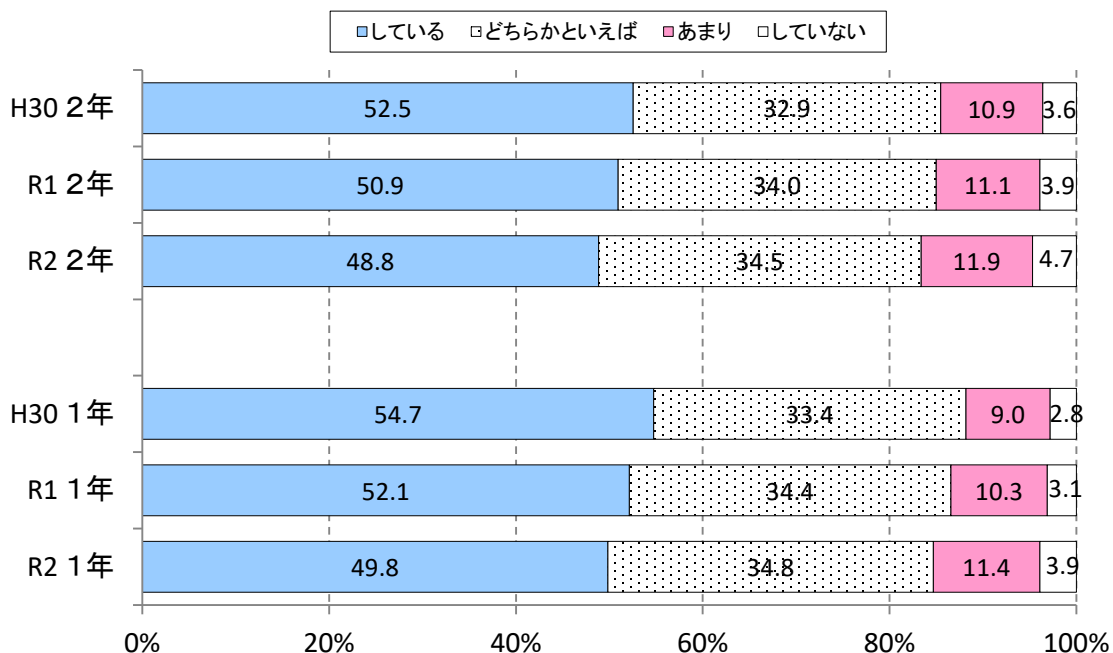
I-1-4 学校や地域でのあいさつ（小学校5・4年）



「生活習慣・学習定着度調査」

○学校や地域でのあいさつについて、「している」と回答した児童の割合は、小学校5、4年とも、50%前後で推移している。（R3・R4は調査対象外）

I-1-4 学校や地域でのあいさつ（中学校2・1年）

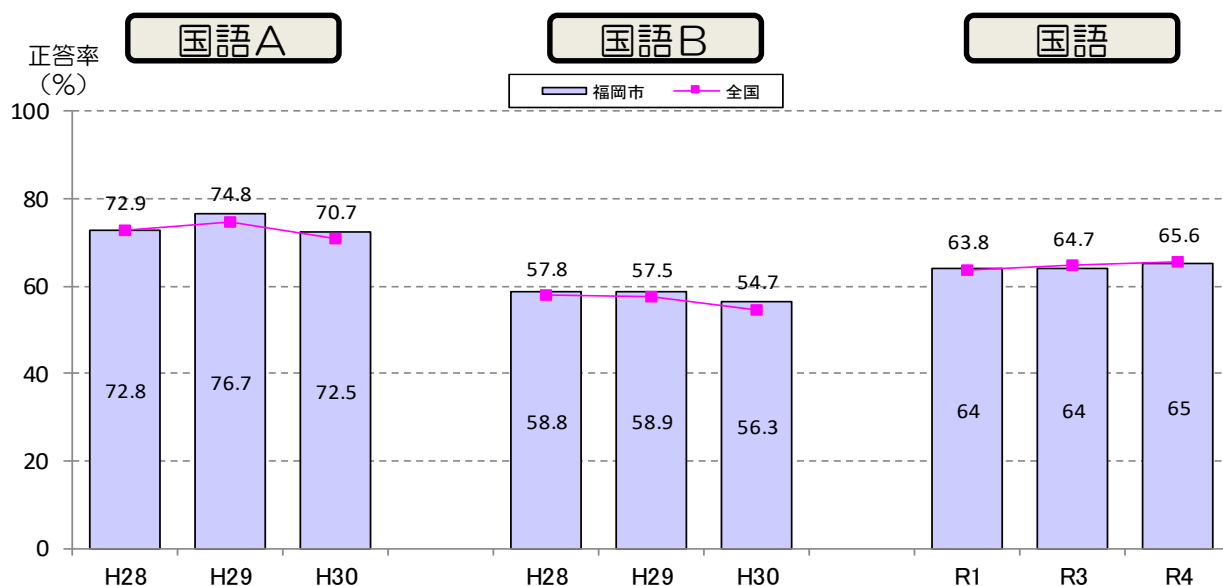


「生活習慣・学習定着度調査」

○学校や地域でのあいさつについて、「している」と回答した生徒の割合は、中学校2、1年とも、50%前後で推移している。（R3・R4は調査対象外）

I－2 学力

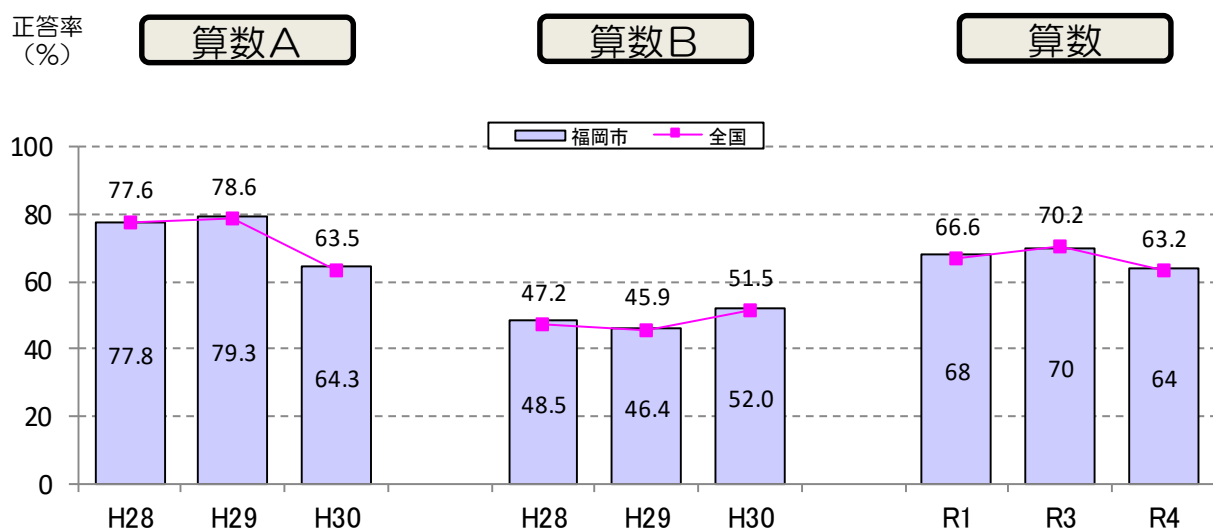
I－2－1 国語における平均正答率の推移（小学校6年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○令和4年度の国語の正答率は、全国平均と同程度である。
（国語A・Bは令和元年度より国語に一本化、R2は調査中止）

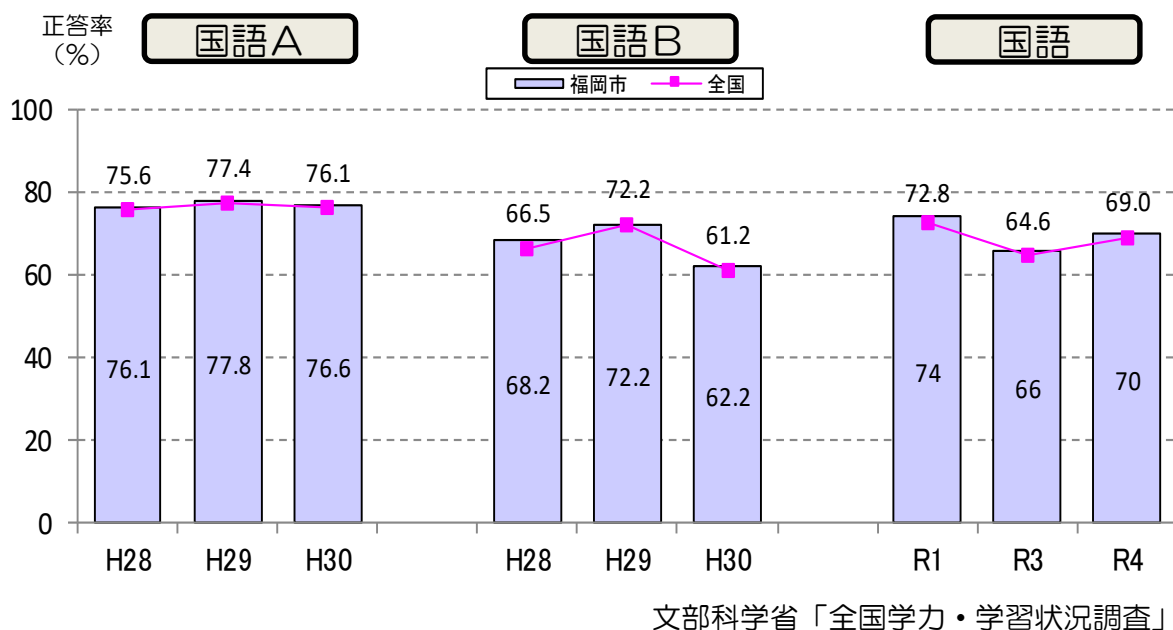
I－2－1 算数における平均正答率の推移（小学校6年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

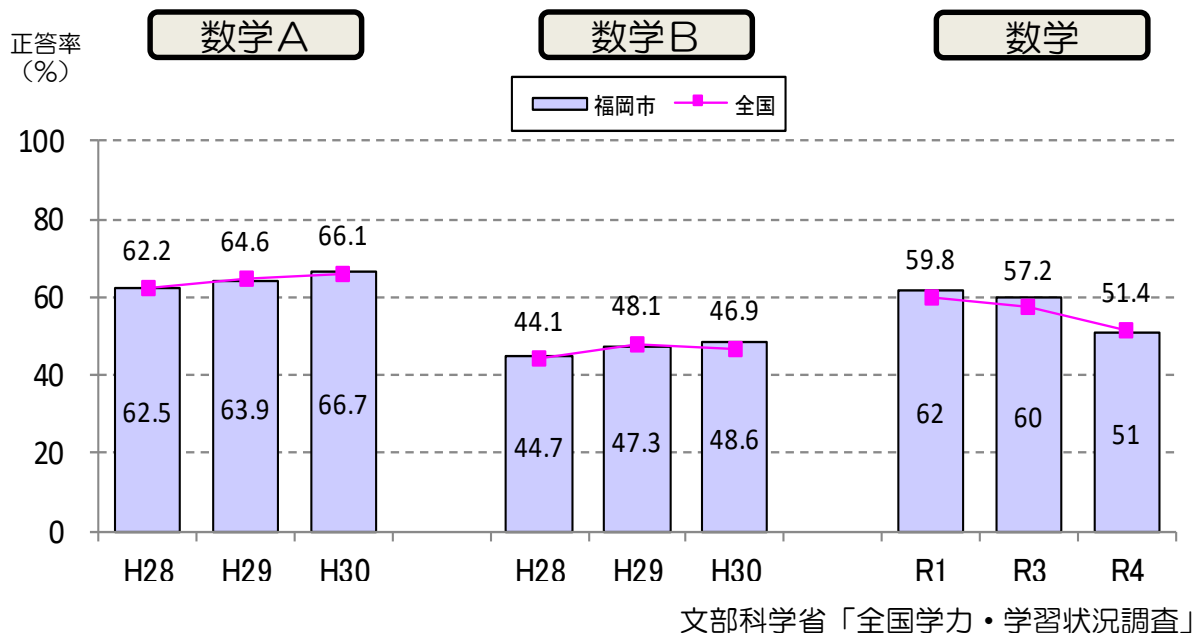
○令和4年度の算数の正答率は、全国平均と同程度である。
（算数A・Bは令和元年度より算数に一本化、R2は調査中止）

I-2-2 国語における平均正答率の推移（中学校3年）



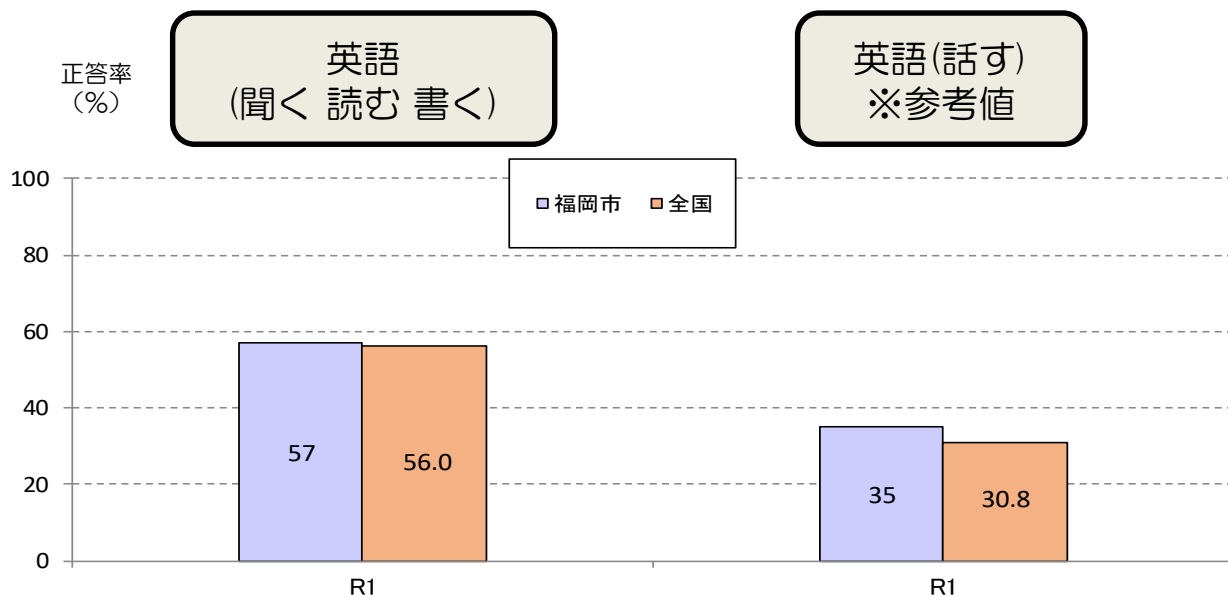
○令和4年度の国語の正答率は、全国平均を1.0ポイント上回っている。
 （国語A・Bは令和元年度より国語に一本化、R2は調査中止）

I-2-2 数学における平均正答率の推移（中学校3年）



○令和4年度の数学の正答率は、全国平均と同程度である。
 （数学A・Bは令和元年度より数学に一本化、R2は調査中止）

I-2-2 英語における平均正答率の推移（中学校3年）

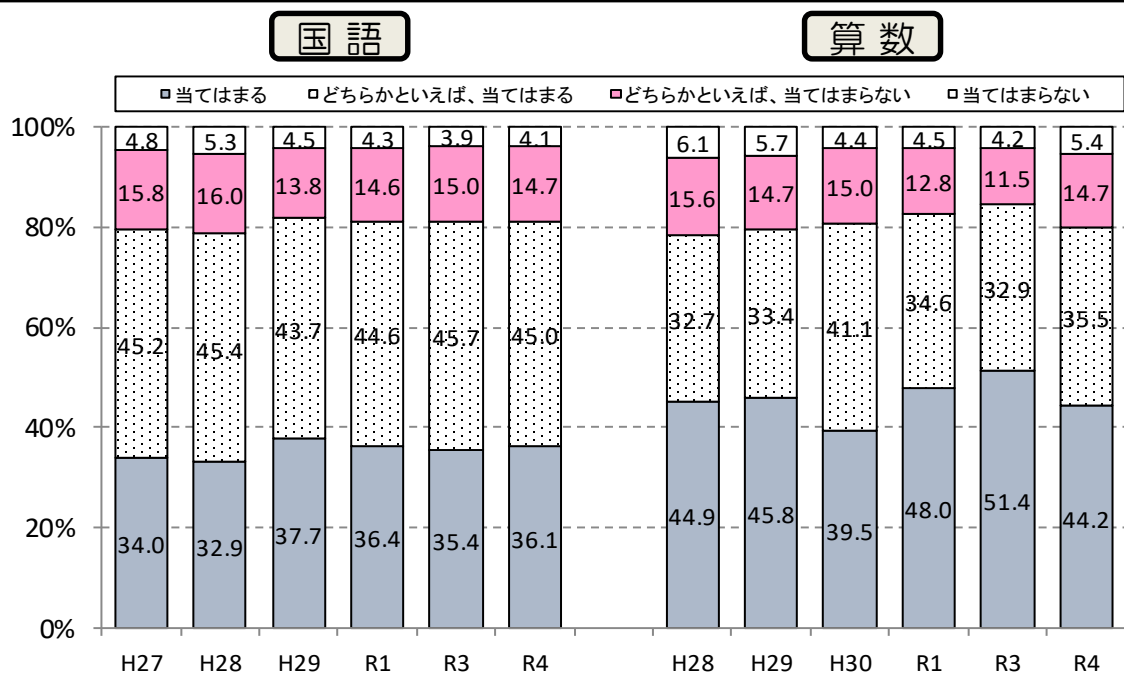


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○令和元年度の英語（聞く 読む 書く）の正答率は全国平均を1.0ポイント上回り、英語（話す）の正答率は全国平均を4.2ポイント上回っている。（英語は令和元年度に初めて実施（3年に1回程度の実施））



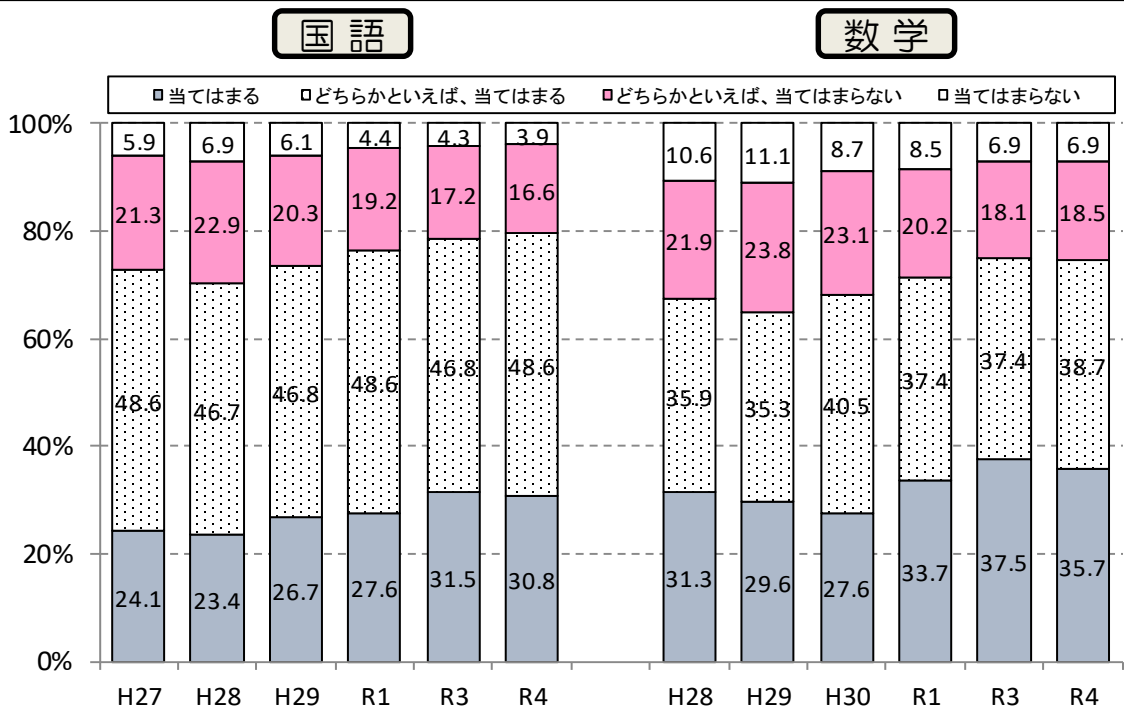
I-2-3 授業内容の理解（小学校6年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○授業内容の理解について、「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合は、国語、算数とも80%前後で推移している。（国語はH30は調査対象外。R2は調査中止）

I-2-3 授業内容の理解（中学校3年）

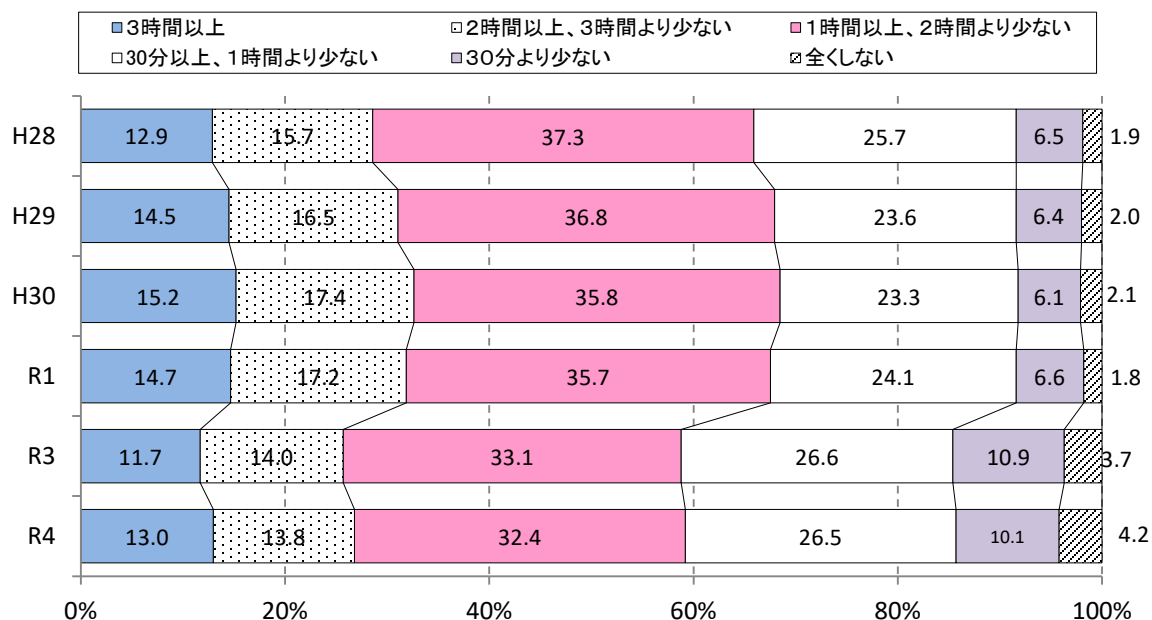


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○授業内容の理解について、「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合は、国語では、平成29年度から、数学では平成30年度から増加傾向にある。（国語はH30は調査対象外。R2は調査中止）

I-3 学習習慣・家庭学習

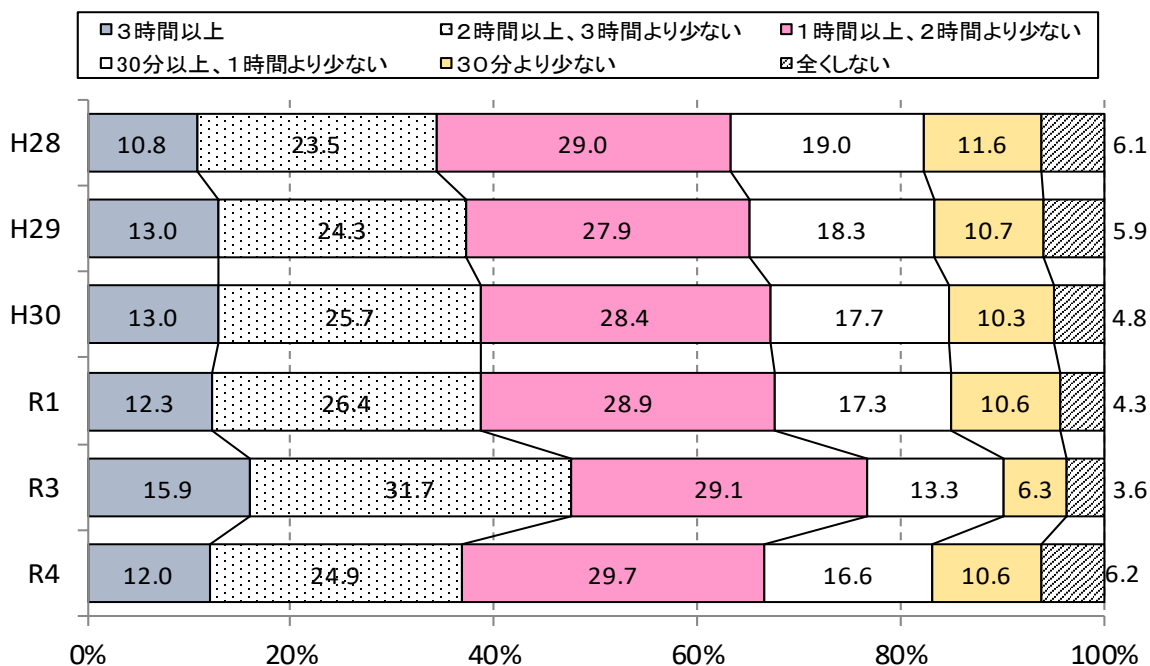
I-3-1 普段（月～金曜日）の勉強時間（小学校6年） ※塾・家庭教師等を含む



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○「2時間以上勉強する」と回答した児童の割合は、30%前後で推移している。
(R2は調査中止)

I-3-1 普段（月～金曜日）の勉強時間（中学校3年） ※塾・家庭教師等を含む

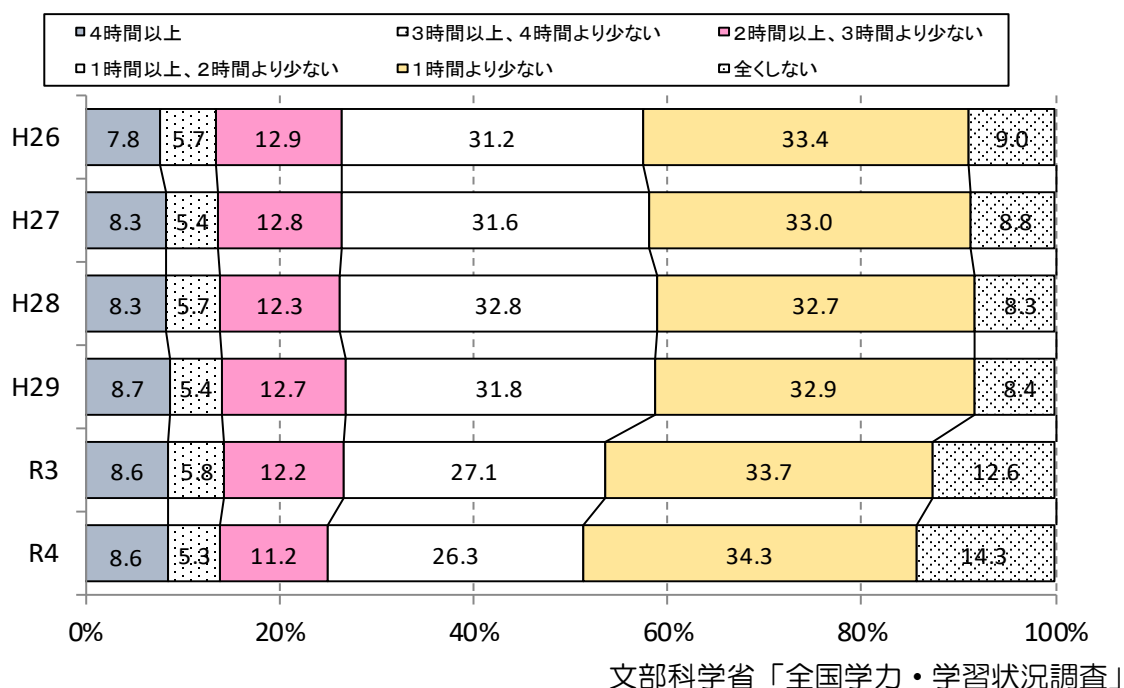


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○「2時間以上勉強する」と回答した生徒の割合は、30%以上となっている。
(R2は調査中止)

I-3-2 土日など学校が休みの日の勉強時間（小学校6年）

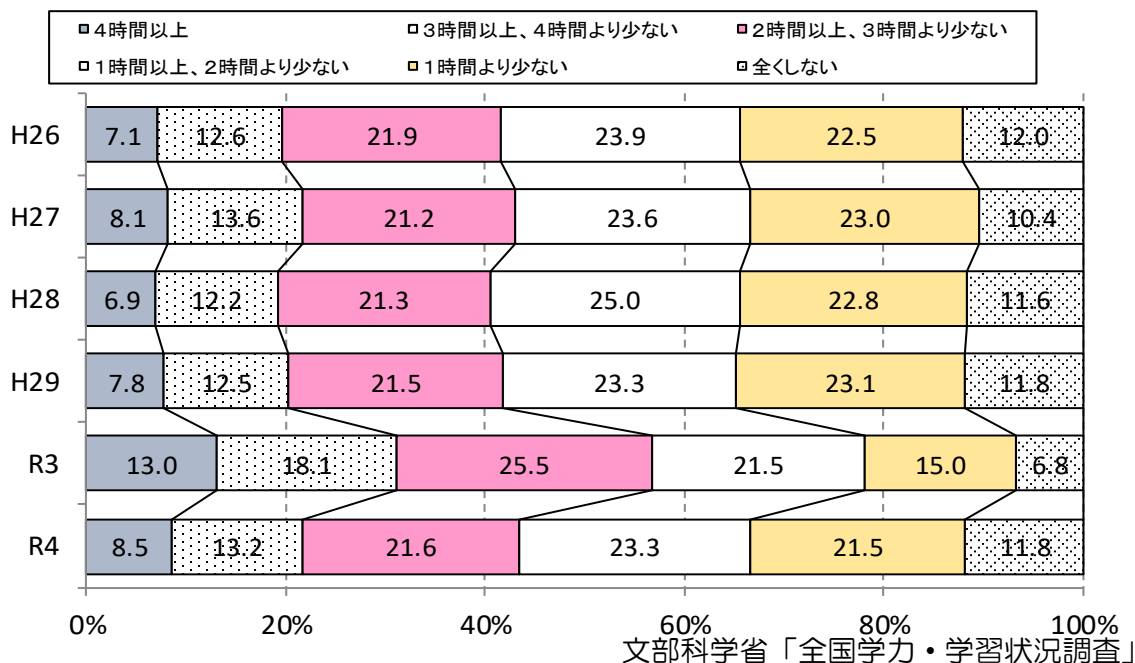
※塾・家庭教師等を含む



○学校が休みの日の家庭での勉強時間について、「2時間以上する」と回答した児童の割合は、25%以上となっている。（H30、R1は調査対象外。R2は調査中止）

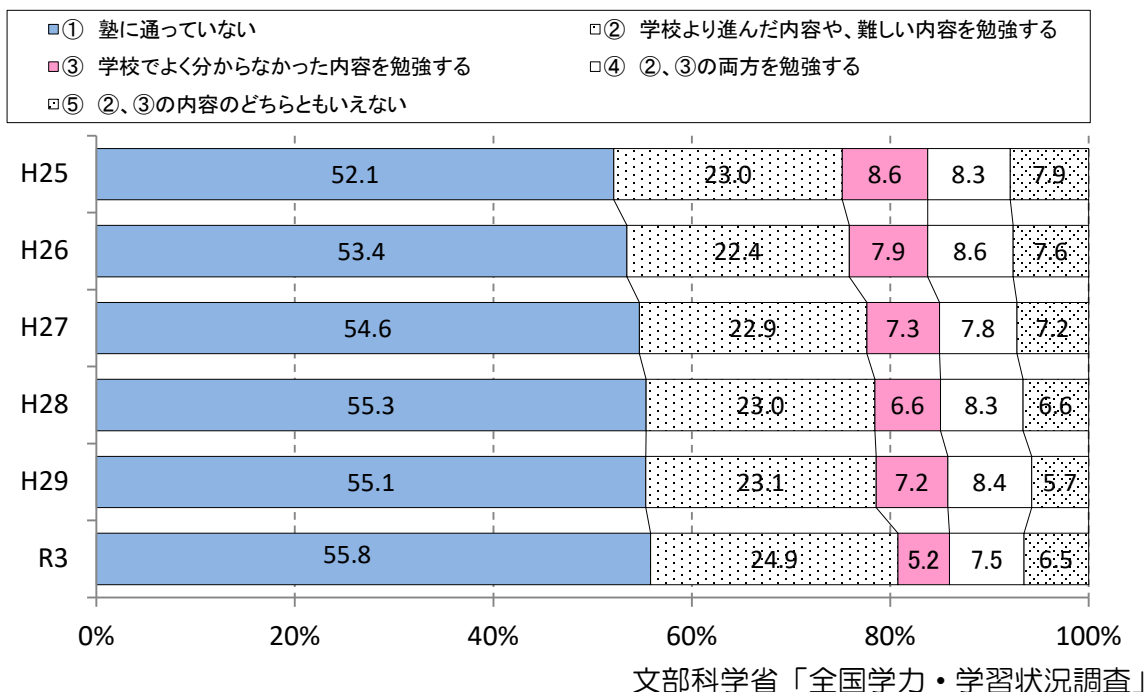
I-3-2 土日など学校が休みの日の勉強時間（中学校3年）

※塾・家庭教師等を含む



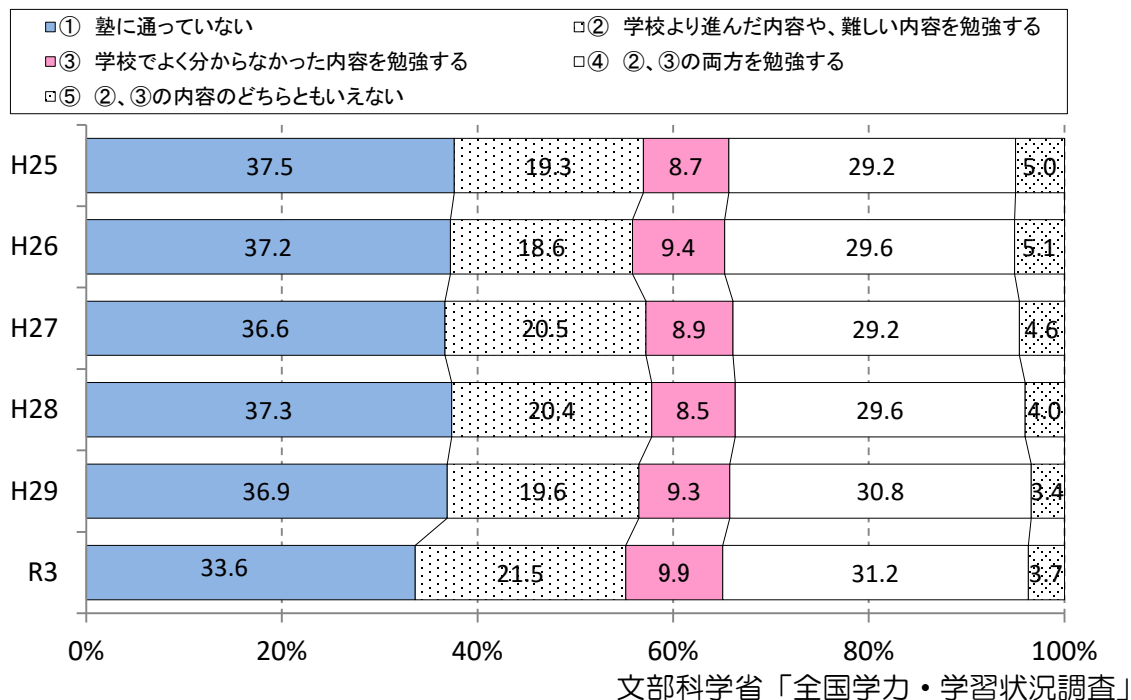
○学校が休みの日の家庭での勉強時間について、「2時間以上する」と回答した生徒の割合は、40%以上となっている。（H30、R1は調査対象外。R2は調査中止）

I-3-3 学習塾（家庭教師を含む）での勉強（小学校6年）



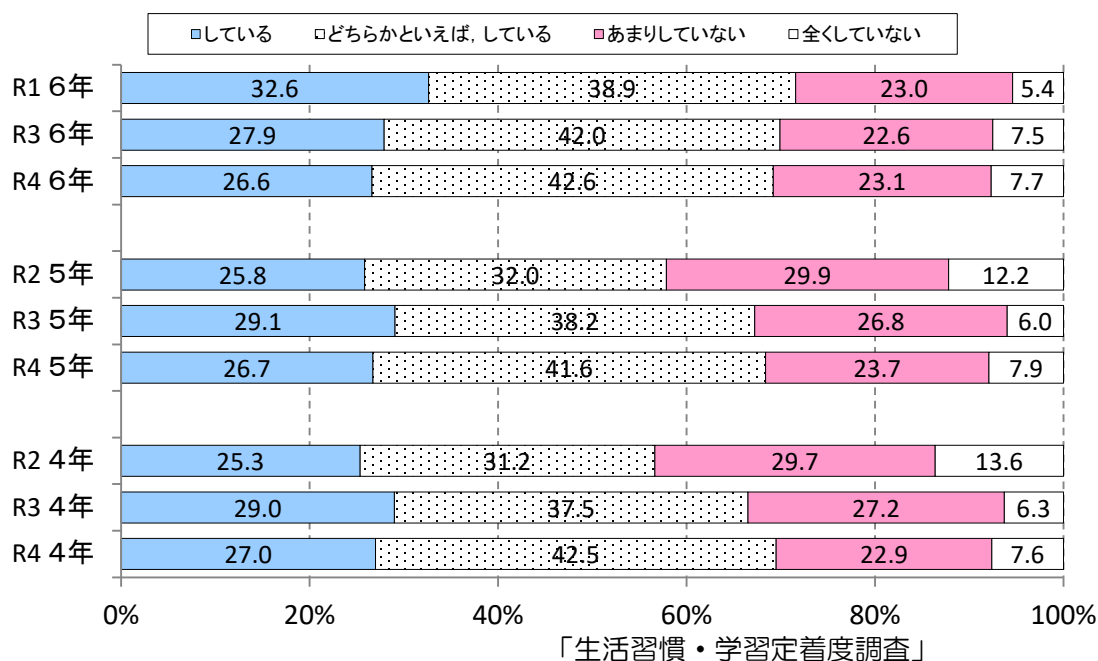
○「塾に通っていない」小学校6年の割合は、55%前後で推移している。
 （H30、R1、R4は調査対象外。R2は調査中止）

I-3-3 学習塾（家庭教師を含む）での勉強（中学校3年）



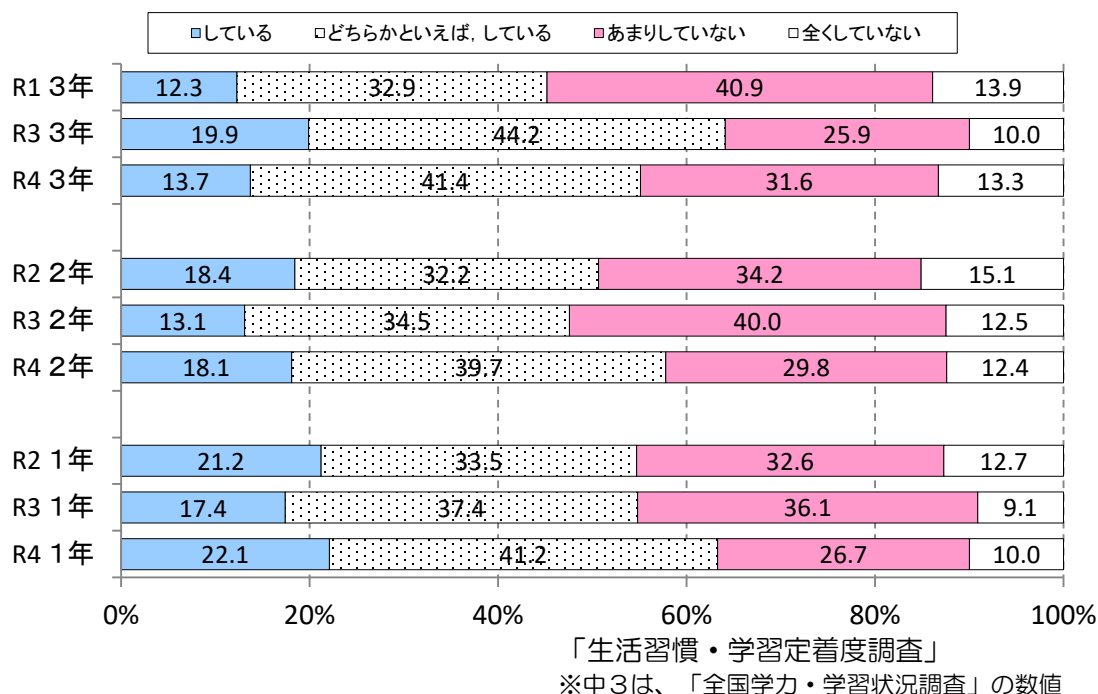
○「塾に通っていない」と回答した生徒の割合は、35%前後で推移している。
 （H30、R1、R4は調査対象外。R2は調査中止）

I－3－4 計画的な家庭学習（小学校6・5・4年）



○「自分で計画を立てて、家庭で勉強している」、「どちらかといえばしている」と回答した児童の割合は、全学年50%以上となっている。
(R2の全国学力・学習状況調査は中止)

I－3－4 計画的な家庭学習（中学校3・2・1年）

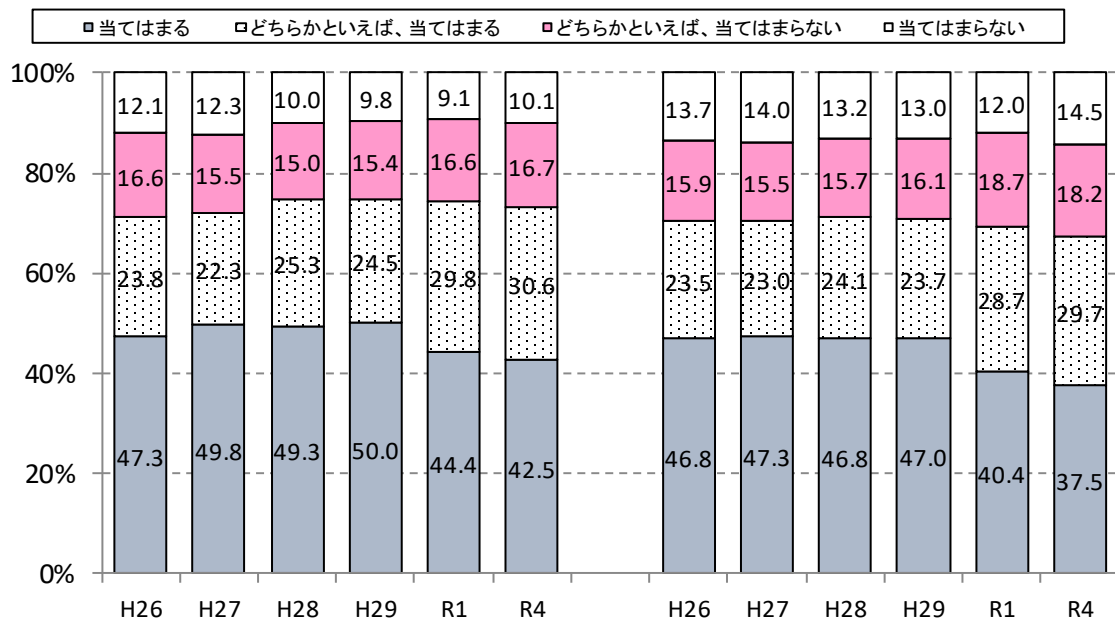


○「自分で計画を立てて、家庭で勉強している」、「どちらかといえばしている」と回答した生徒の割合は、全学年50%前後で推移している。
(R2の全国学力・学習状況調査は中止)

I-3-5 読書

小 6

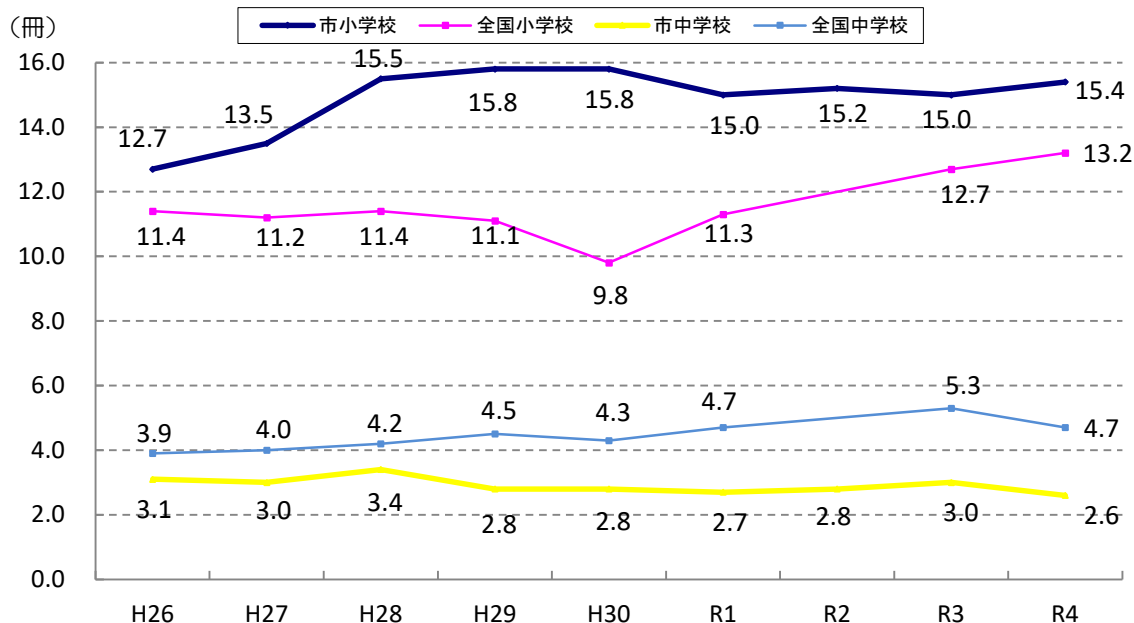
中 3



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○「読書が好き」であることについて、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した小学校6年、中学校3年の割合は、70%前後で推移している。
(H30、R3は調査対象外。R2は調査中止)

I-3-6 1か月の平均読書冊数（小・中学校）

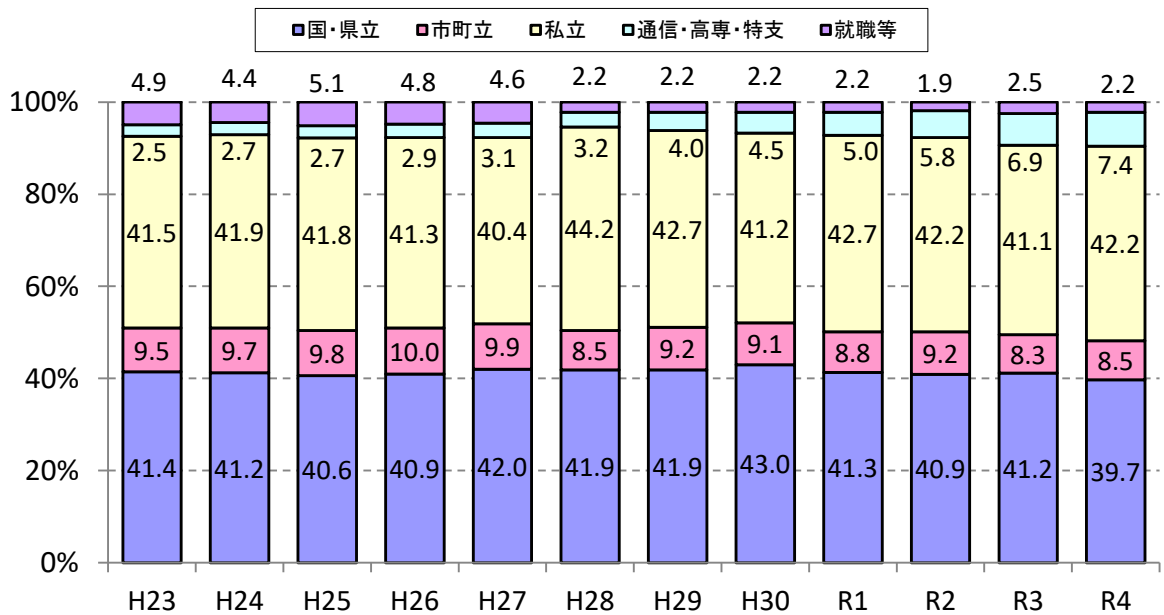


福岡市教育委員会調査

○令和4年11月の調査では、小学校は増加しているが、中学校は減少している。
※全国値は、全国学校図書館協議会による「学校読書調査」の結果(R2は調査中止)

I-4 進路状況

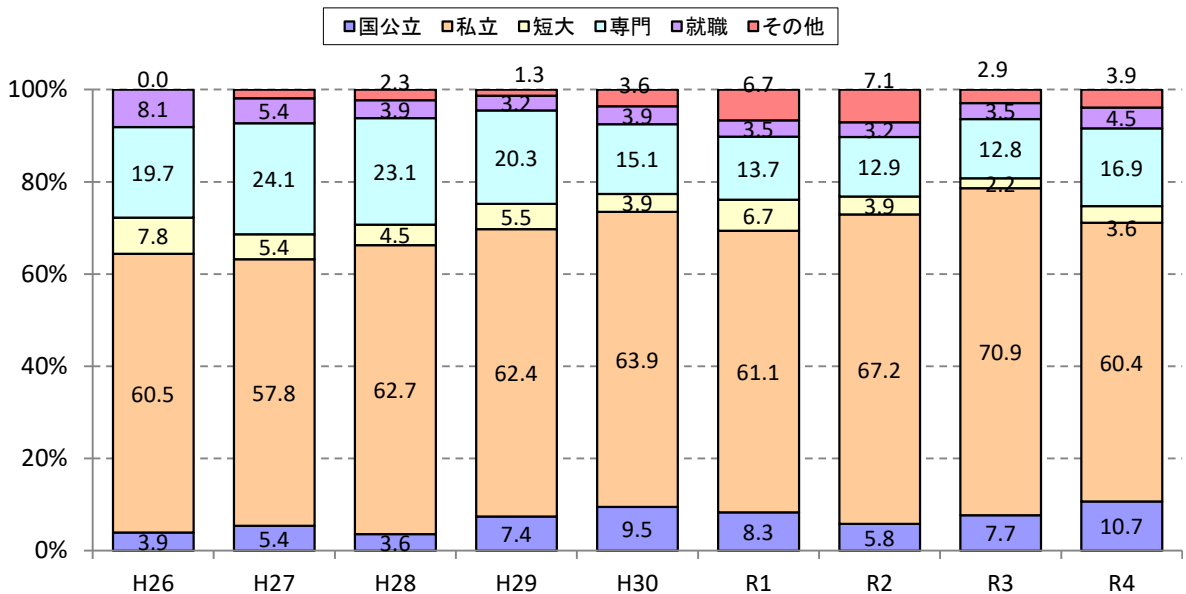
I-4-1 中学校卒業者の進路状況



文部科学省「学校基本調査」

○中学校卒業者の進路状況に、大きな変化は見られない。

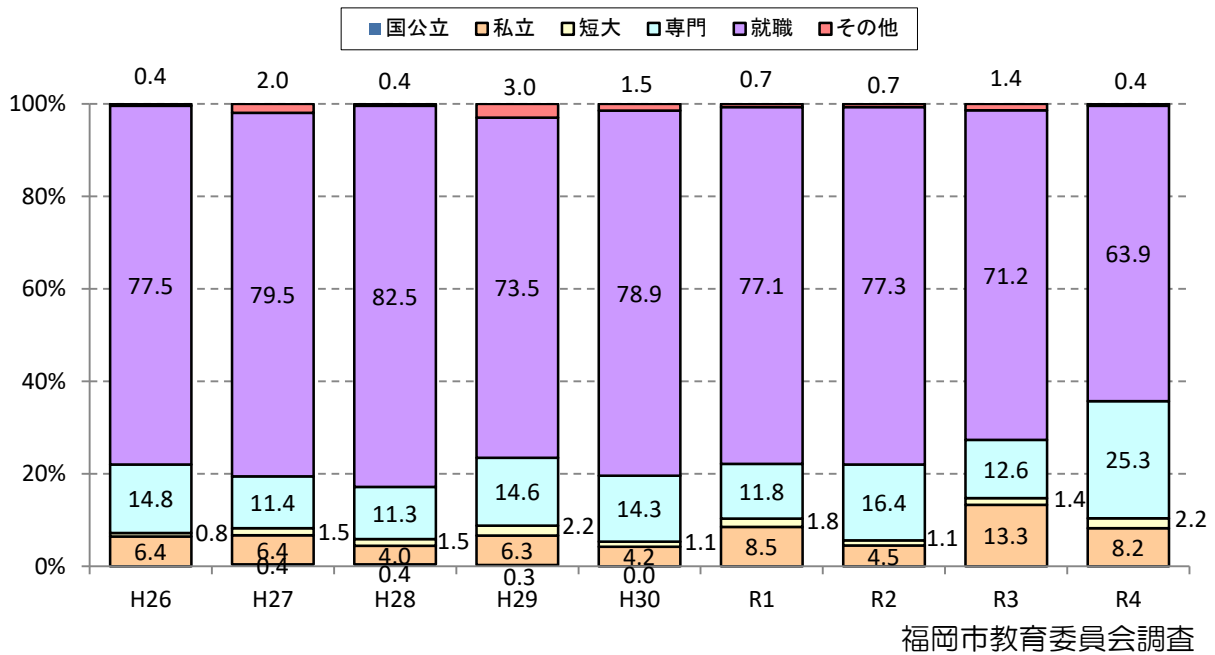
I-4-2 福岡市立福翔高等学校卒業者の進路状況



福岡市教育委員会調査

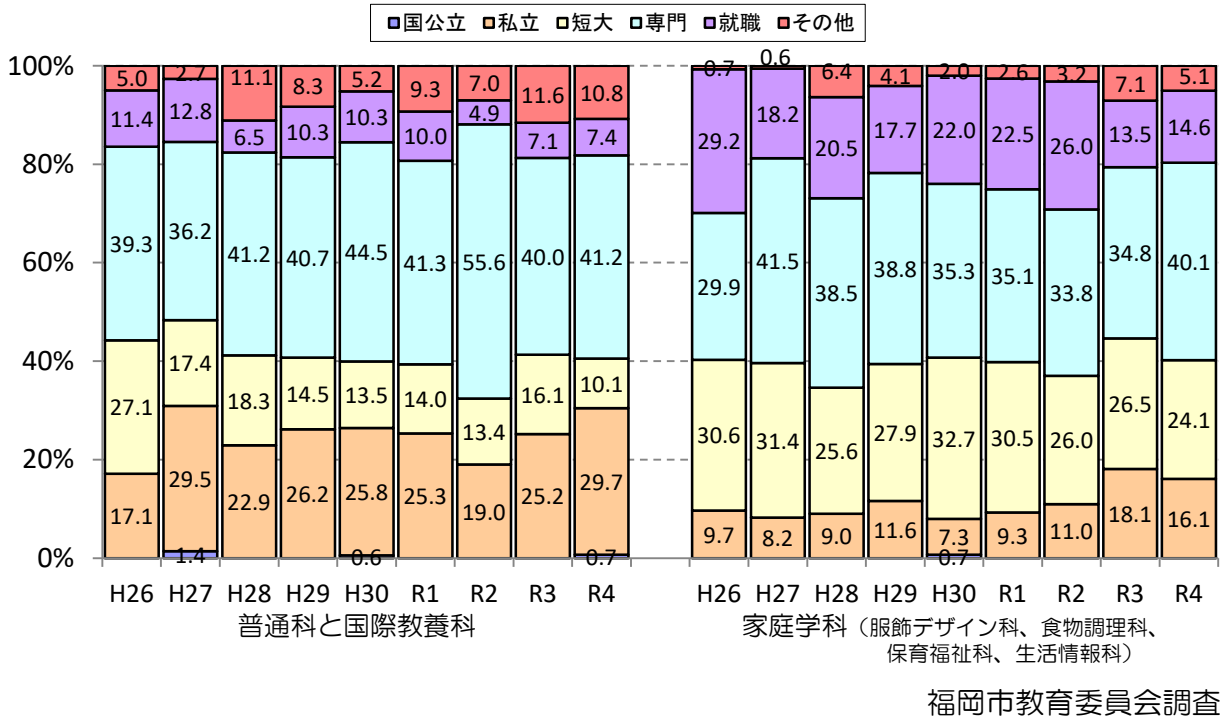
○令和4年度は、国公立大学・専門学校への進学割合が増加している。

I-4-3 福岡市立博多工業高等学校卒業者の進路状況



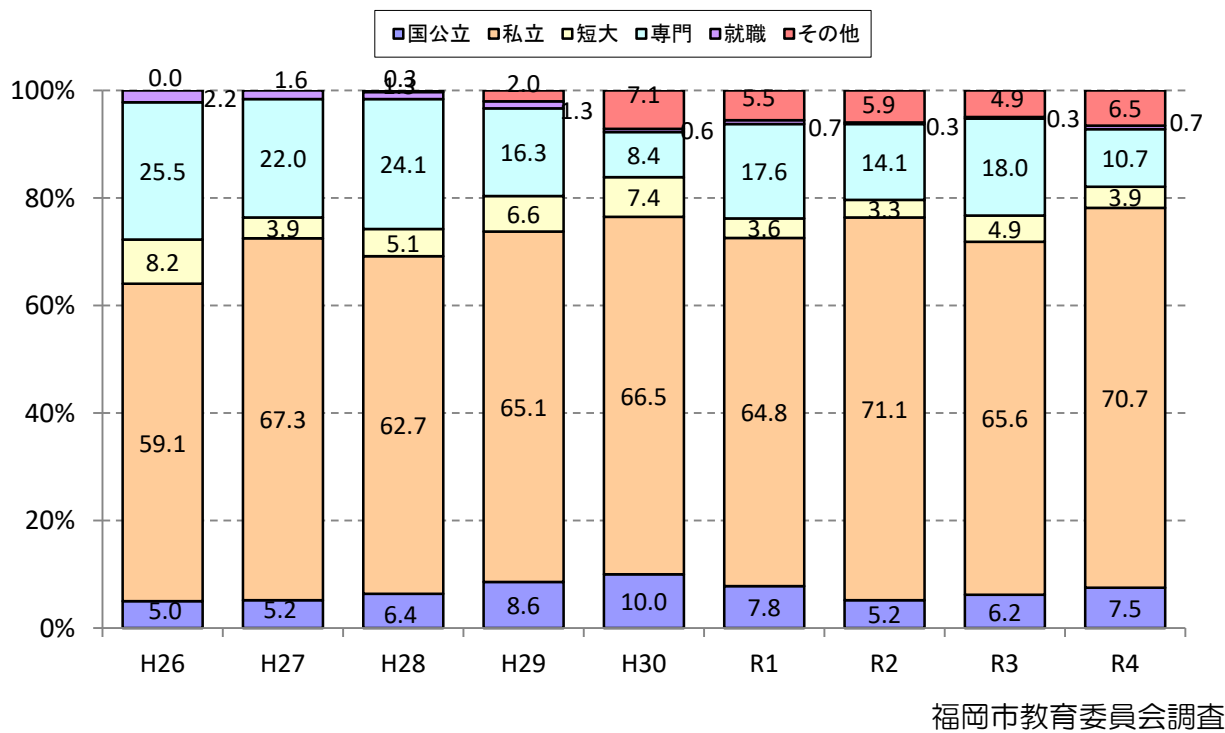
○令和4年度は、専門学校への進学割合が増加している。

I-4-4 福岡市立福岡女子高等学校卒業者の進路状況



○令和4年度は、専門学校への進学割合が増加している。

I－4－5 福岡市立福岡西陵高等学校卒業者の進路状況

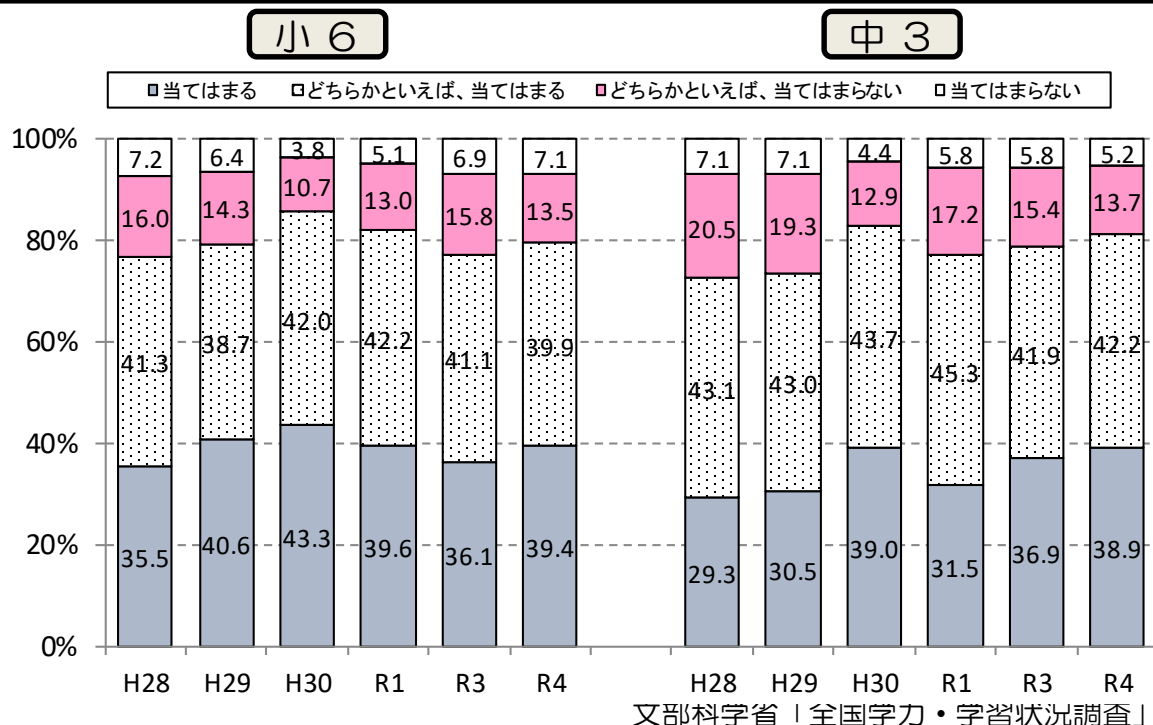


○令和4年度は、国公立大学・私立大学への進学割合が増加している。



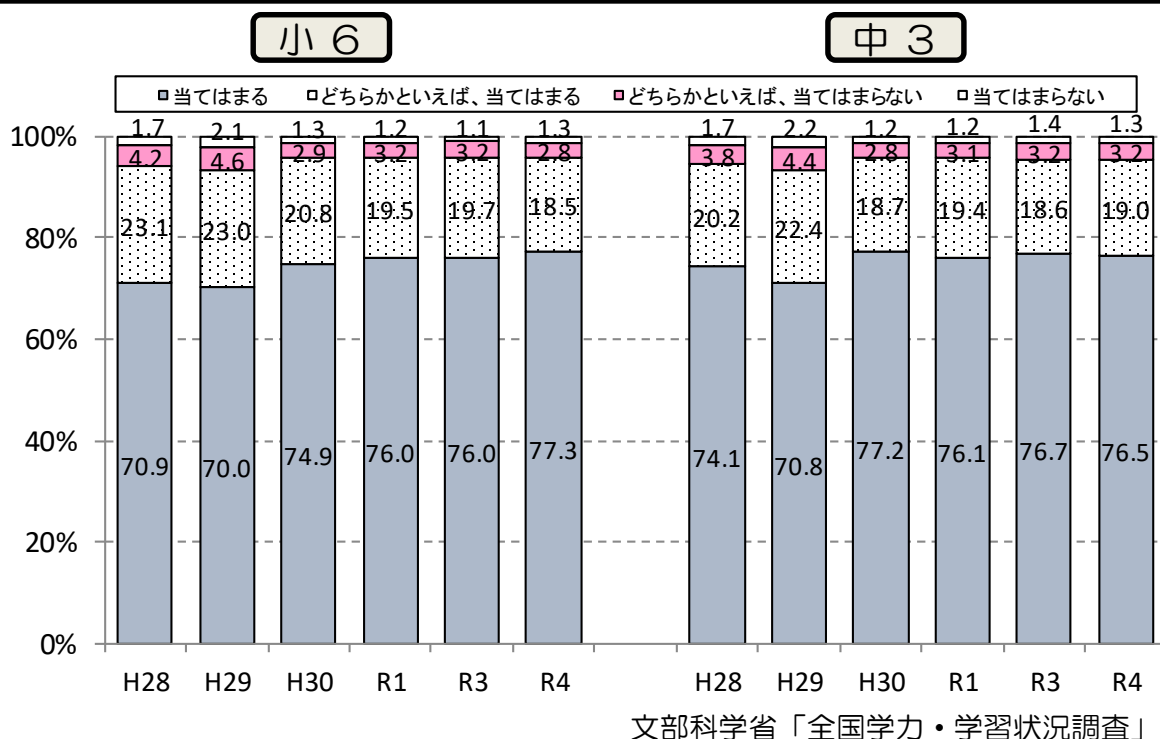
I-5 自尊意識・規範意識

I-5-1 自分のよさ



○「自分にはよいところがあると思う」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、近年は小学校、中学校ともに80%前後で推移している。（R2は調査中止）

I-5-2 人の役に立つ人間への志向

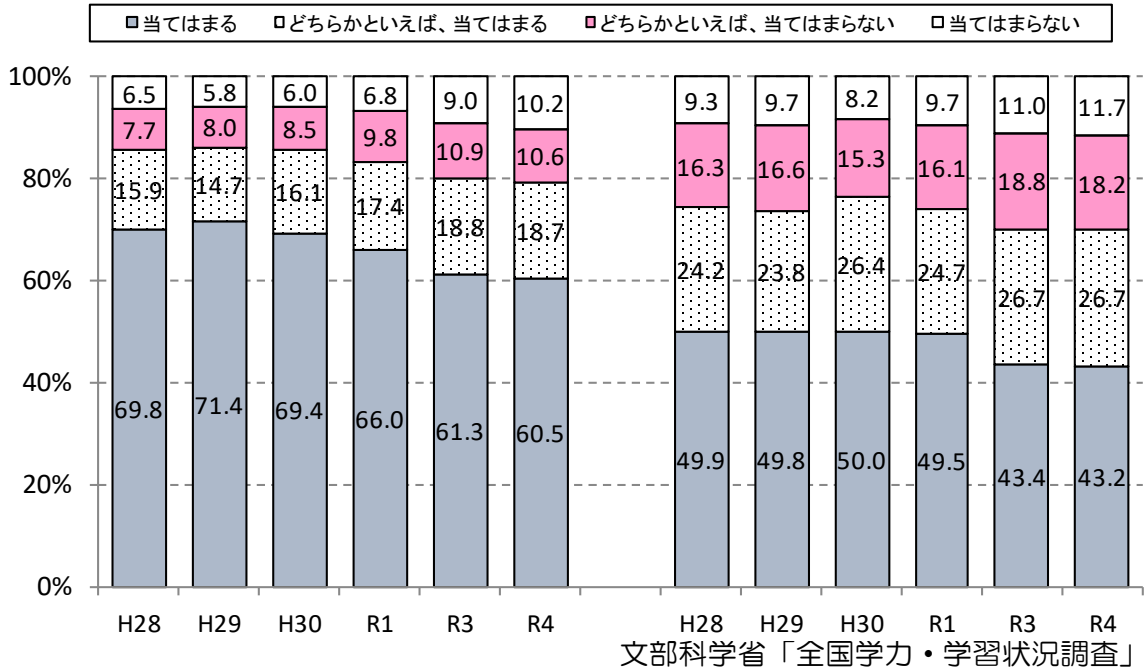


○「人の役に立つ人間になりたいと思う」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに95%前後で推移している。（R2は調査中止）

I-5-3 将来の夢や目標

小 6

中 3

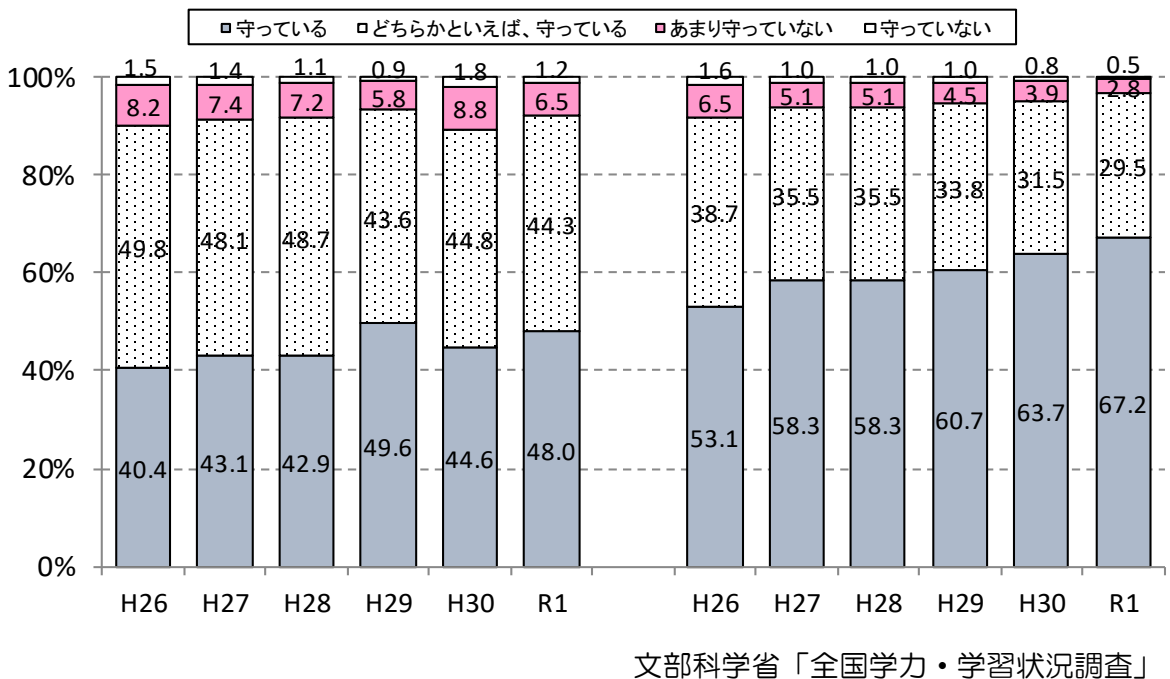


○「将来の夢や目標を持っている」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童・生徒の割合は小学校は75%以上、中学校は65%以上となっている。（R2は調査中止）

I-5-4 学校のきまりの順守

小 6

中 3

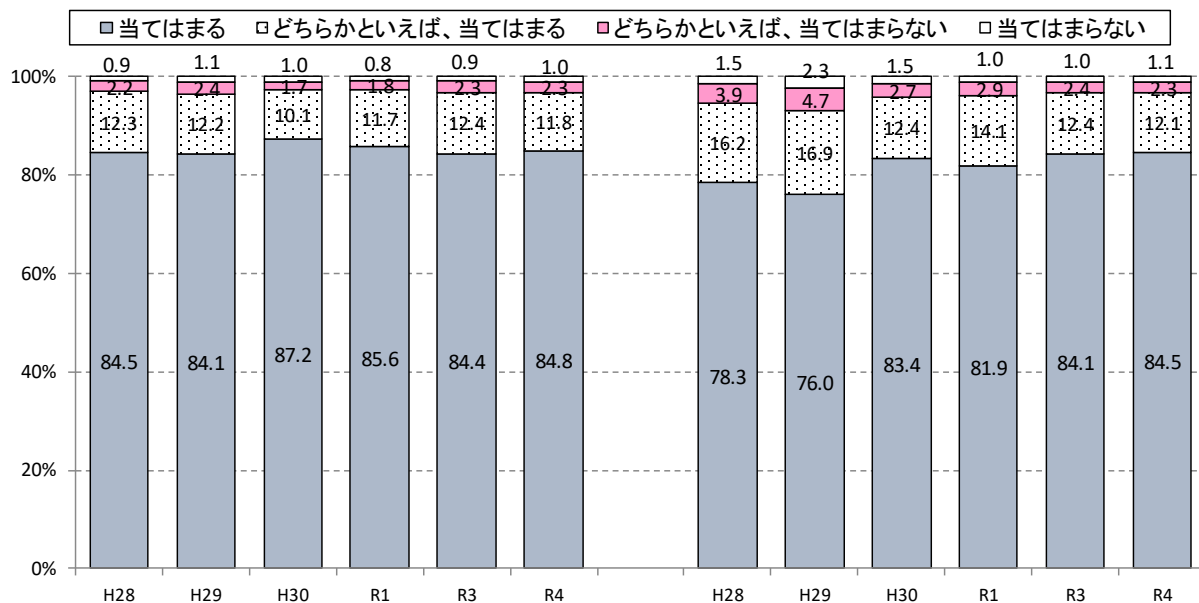


○「学校のきまりを守っている」について、「守っている」「どちらかといえば、守っている」と回答した割合は、小学校は90%前後で推移し、中学校が増加を続け96%を超えた。（R2は調査中止、R3・R4は調査対象外）

I-5-5 いじめの認識

小 6

中 3



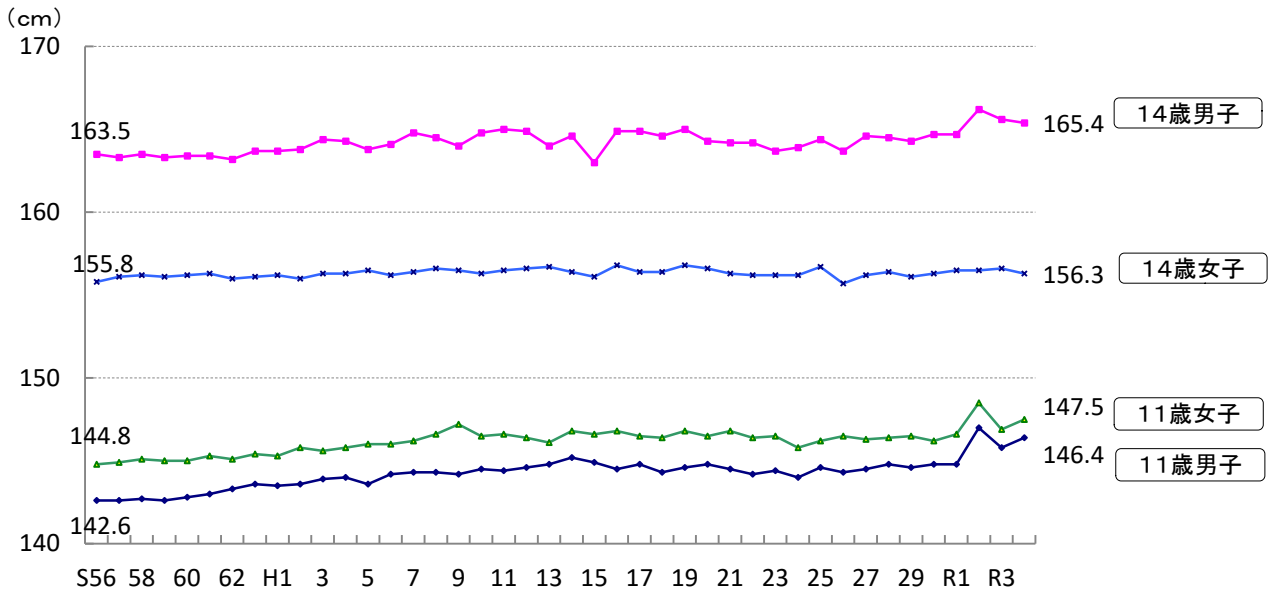
文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○「いじめはどんな理由があってもいけないと思う」について、「当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに80%を超えている。（R2は調査中止）



I－6 体格・疾病

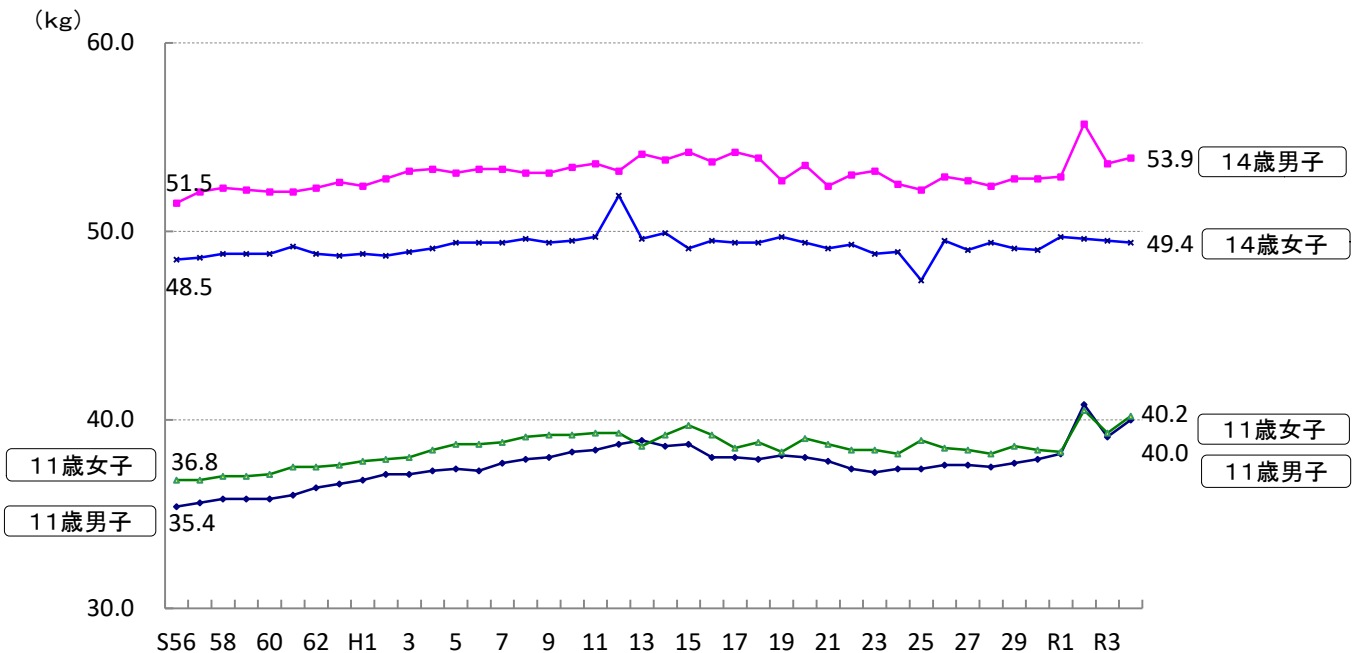
I－6－1 平均身長の推移



福岡市学校保健統計調査

○11歳は男女とも令和3年度より伸びている。

I－6－2 平均体重の推移



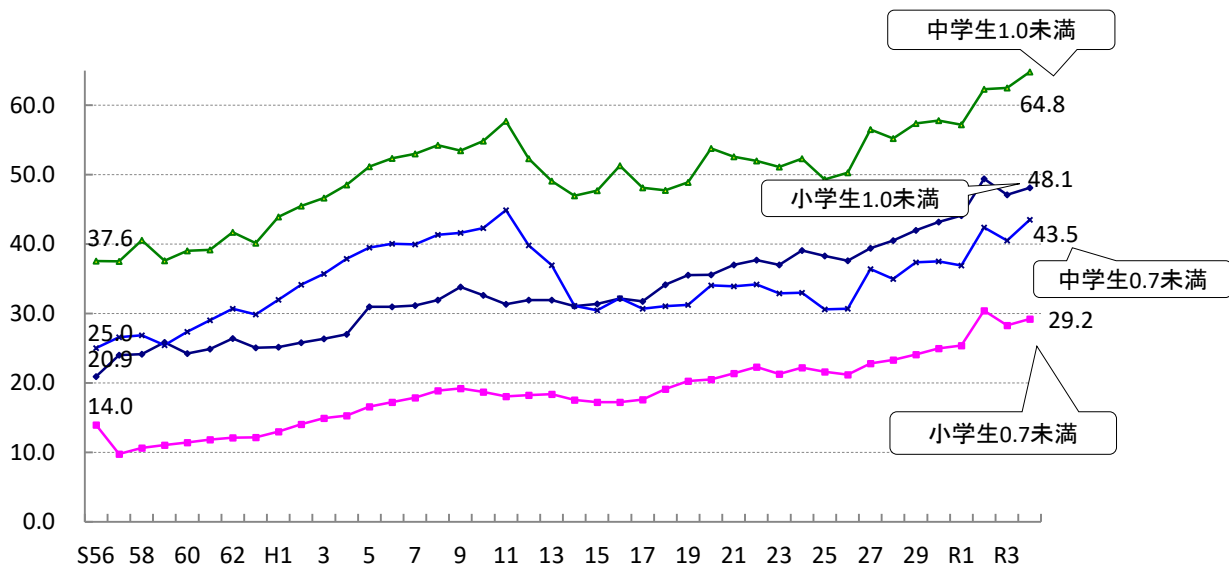
福岡市学校保健統計調査

○11歳は男女とも令和3年度より増加している。

I-6-3 視力の推移（小・中学生）

(%)

※眼鏡等使用の者については矯正視力



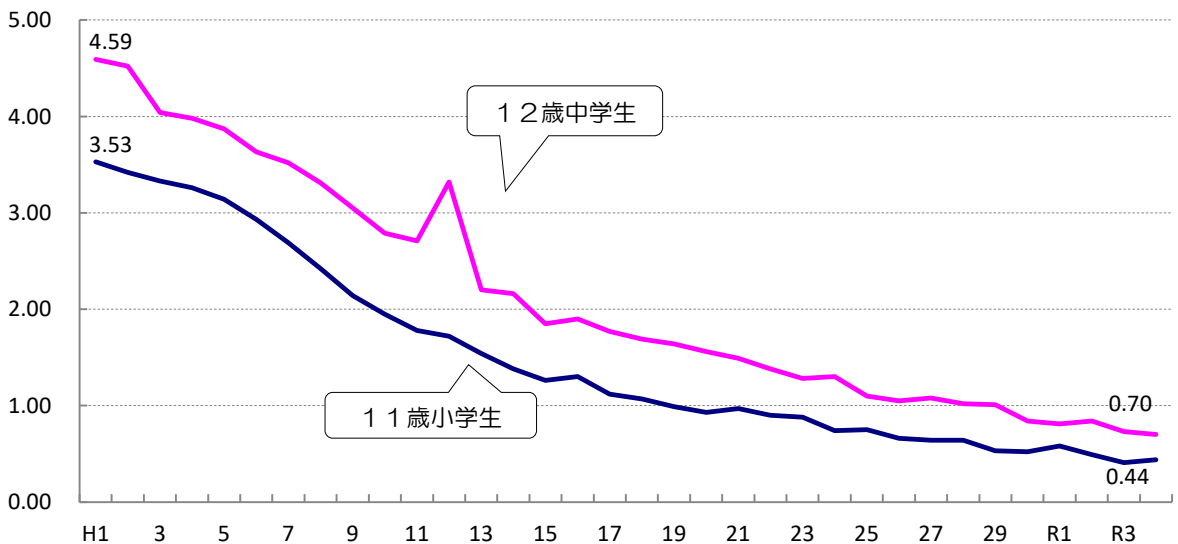
福岡市学校保健統計調査

○令和4年度は、小・中学生とも視力1.0未満、0.7未満の児童生徒が増加している。

I-6-4 DMF 指数（小・中学生）

(本)

※DMF 指数・・・子ども一人における永久歯の虫歯の本数（処置されたものも含む）



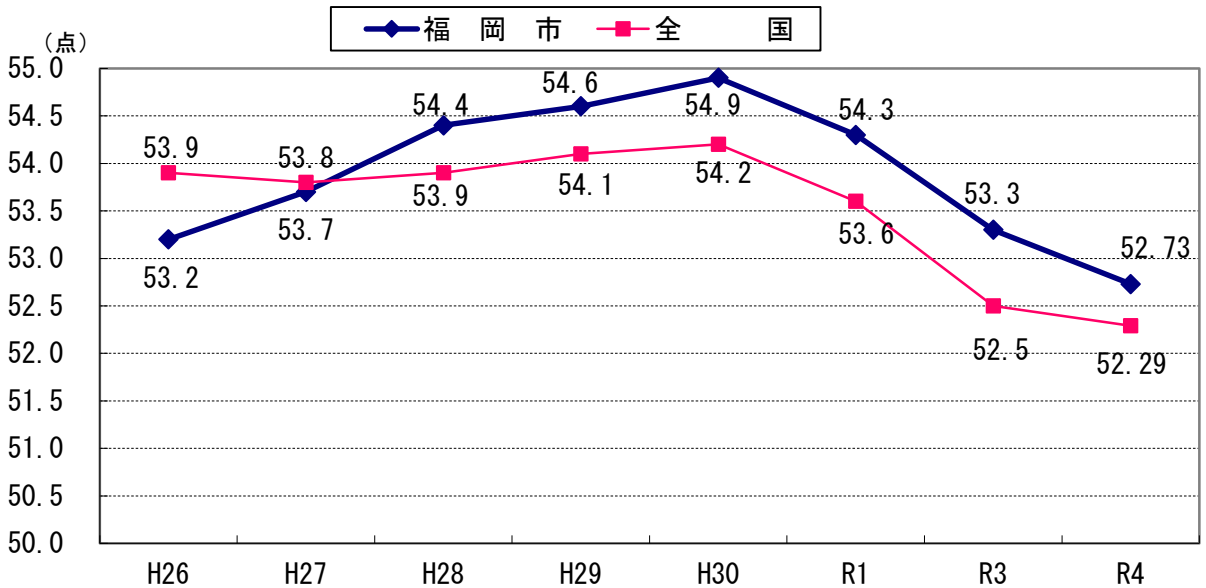
福岡市学校保健統計調査

○令和4年度は、11歳小学生は増加しており、12歳中学生は減少している。

I-7 体力・運動能力

※（注）体力合計点…握力、上体起こし、反復横跳び、立ち幅とび、長座体前屈、ボール投げ、20mシャトルラン（中学生は持久走も可）の8種目の合計点で、1種目10点×8種目＝80点満点。（得点基準は男女で異なる）

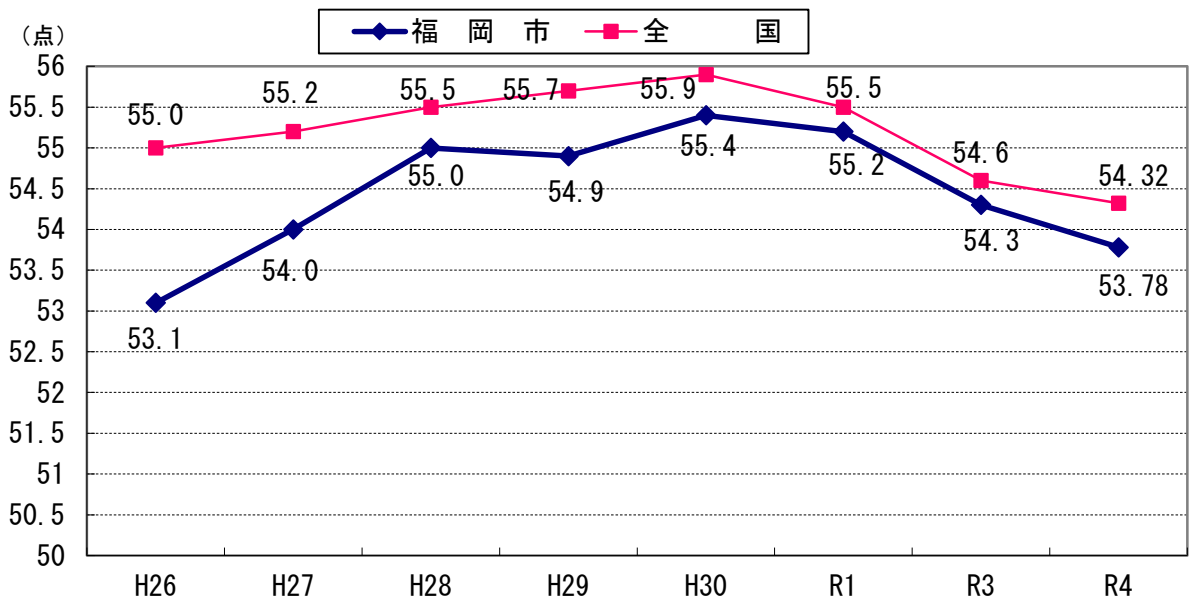
I-7-1 体力合計点^{（注）}の推移（小学校5年 男子）



全国体力・運動能力、運動習慣等調査

○令和4年度の小学校5年男子の体力合計点は、全国平均とほとんど差がみられない。
（R2は調査中止）

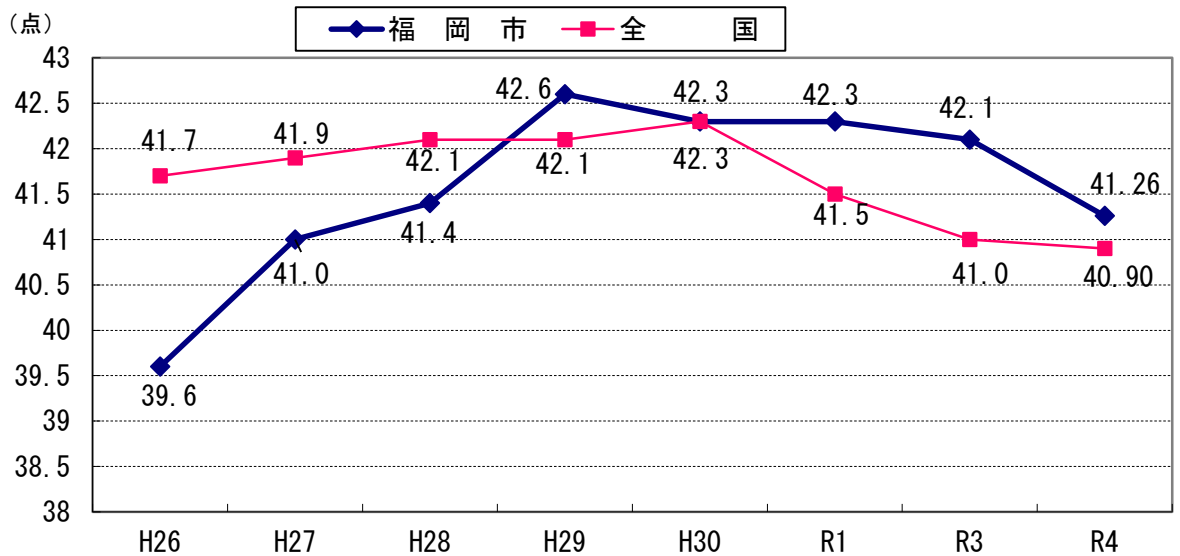
I-7-2 体力合計点の推移（小学校5年 女子）



全国体力・運動能力、運動習慣等調査

○令和4年度の小学校5年女子の体力合計点は、全国平均とほとんど差がみられない。
（R2は調査中止）

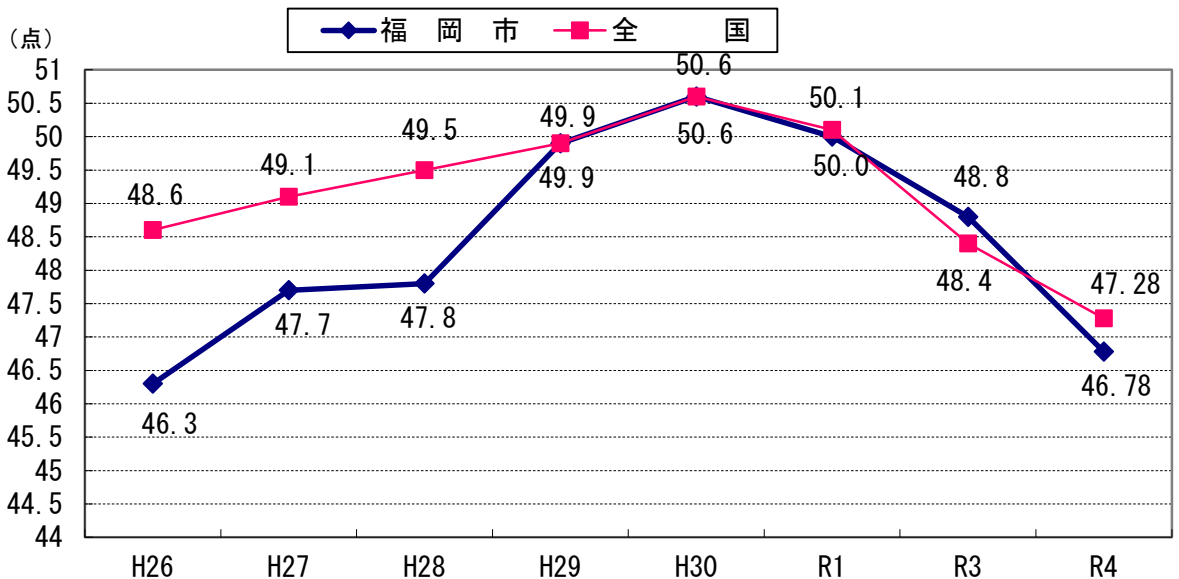
I-7-3 体力合計点の推移（中学校2年 男子）



全国体力・運動能力、運動習慣等調査

○令和4度の中学校2年男子の体力合計点は、全国平均とほとんど差がみられない。
(R2は調査中止)

I-7-4 体力合計点の推移（中学校2年 女子）



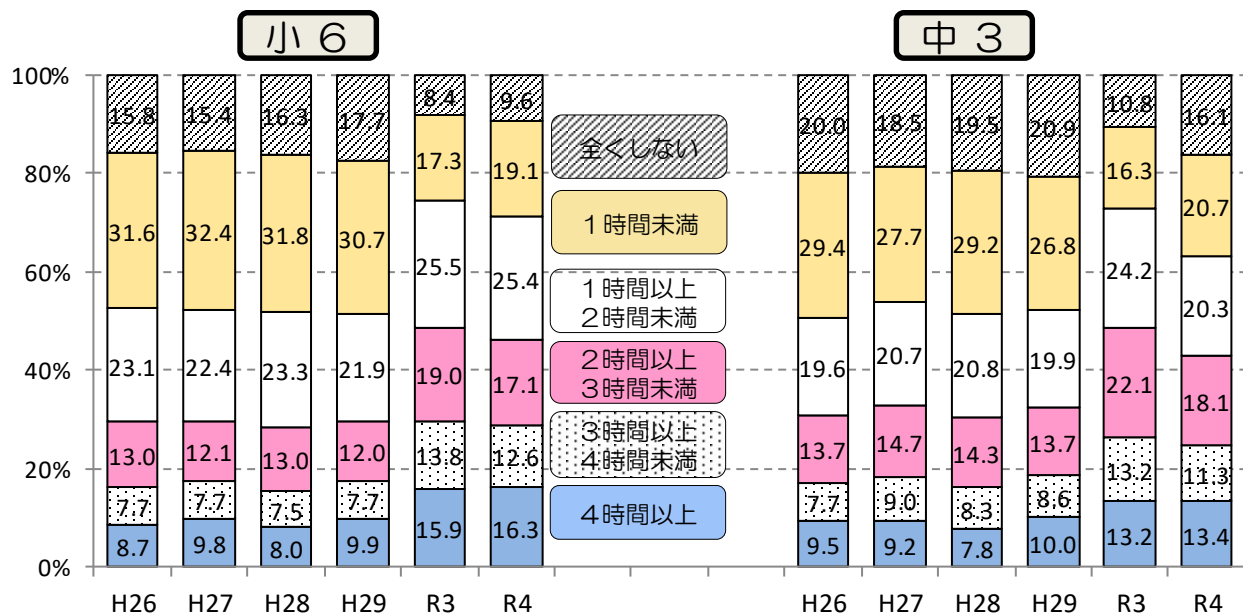
全国体力・運動能力、運動習慣等調査

○令和4年度中学校2年女子の体力合計点は、全国平均とほとんど差がみられない。
(R2は調査中止)

I-8 メディアとの接触

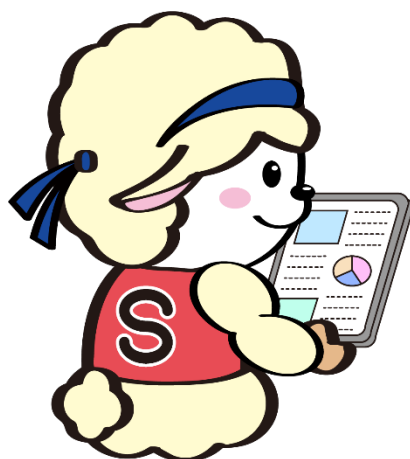
I-8-1 普段（月～金曜日）のテレビゲーム時間

※コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む



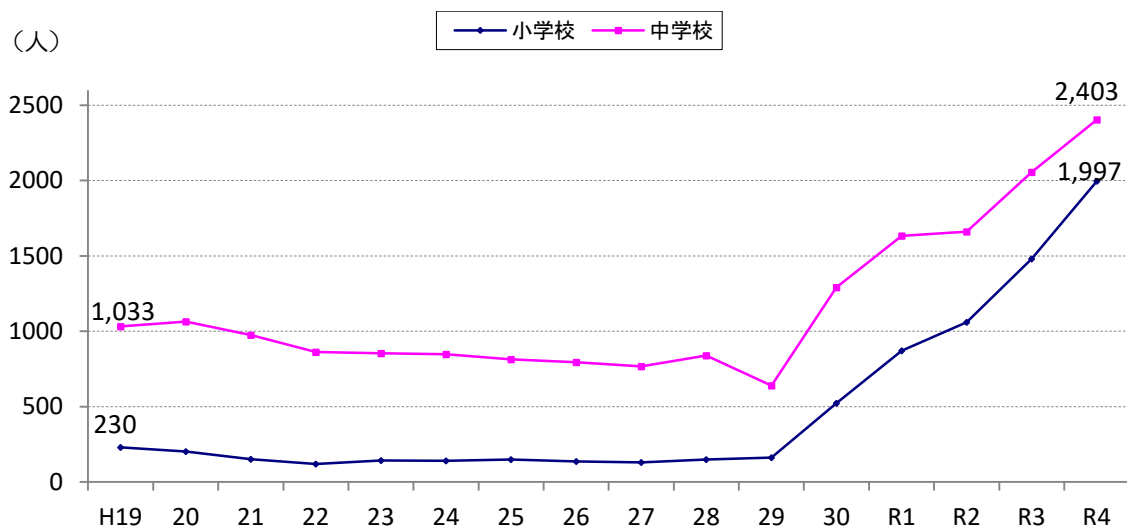
文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○「1時間以上テレビゲームをしている」と回答した児童・生徒の割合は、平成26年度から、小学校6年、中学校3年ともに50%以上となっており、令和4年度は60%を超えている。（H30、R1は調査対象外。R2は調査中止）



I-9 不登校・いじめ・暴力行為

I-9-1 不登校児童生徒数

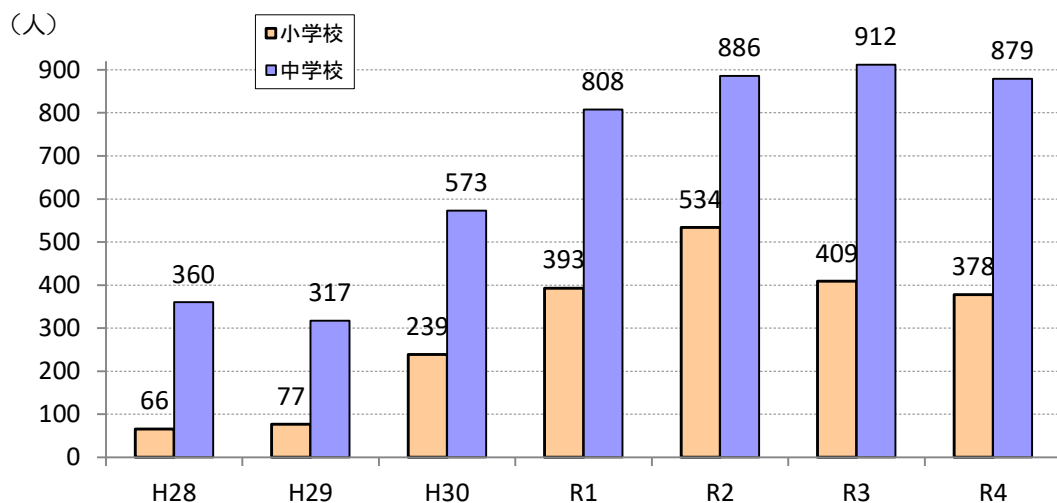


福岡市教育委員会調査

○小・中学校ともに不登校児童生徒数が増加している。

I-9-2 不登校児童生徒の復帰の状況

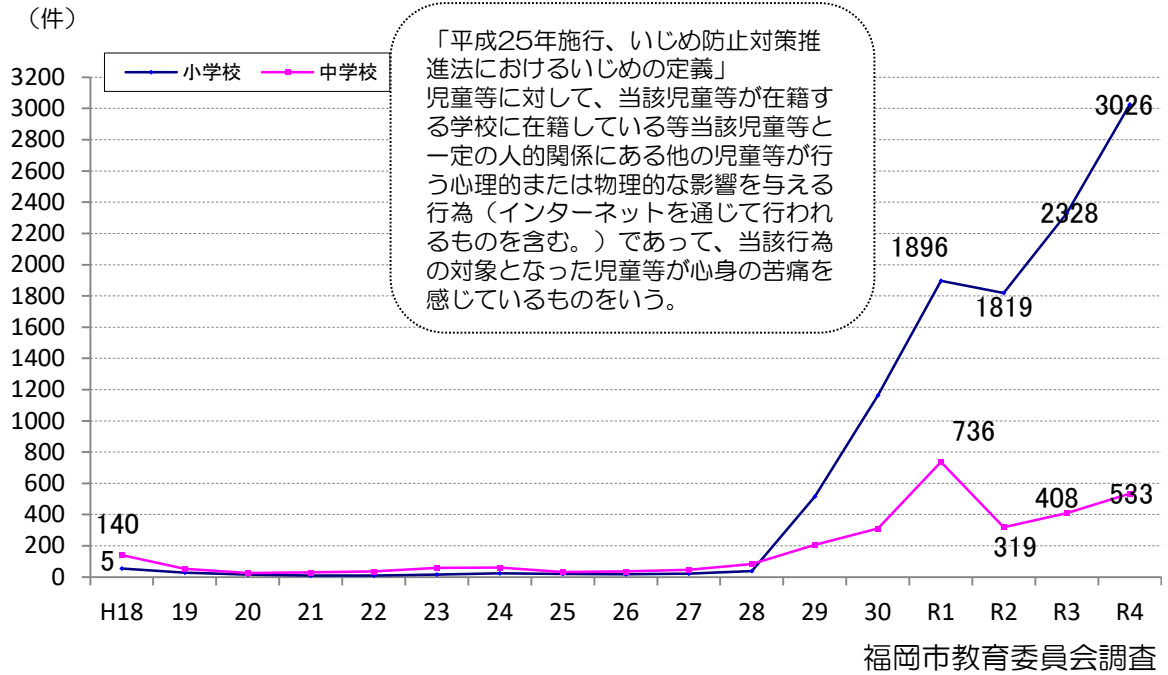
復帰とは・・・指導の結果、登校する又は登校できるようになった児童生徒
個々の児童生徒の状況に応じて継続的に登校できるようになったと認められる者を復帰とする



福岡市教育委員会調査

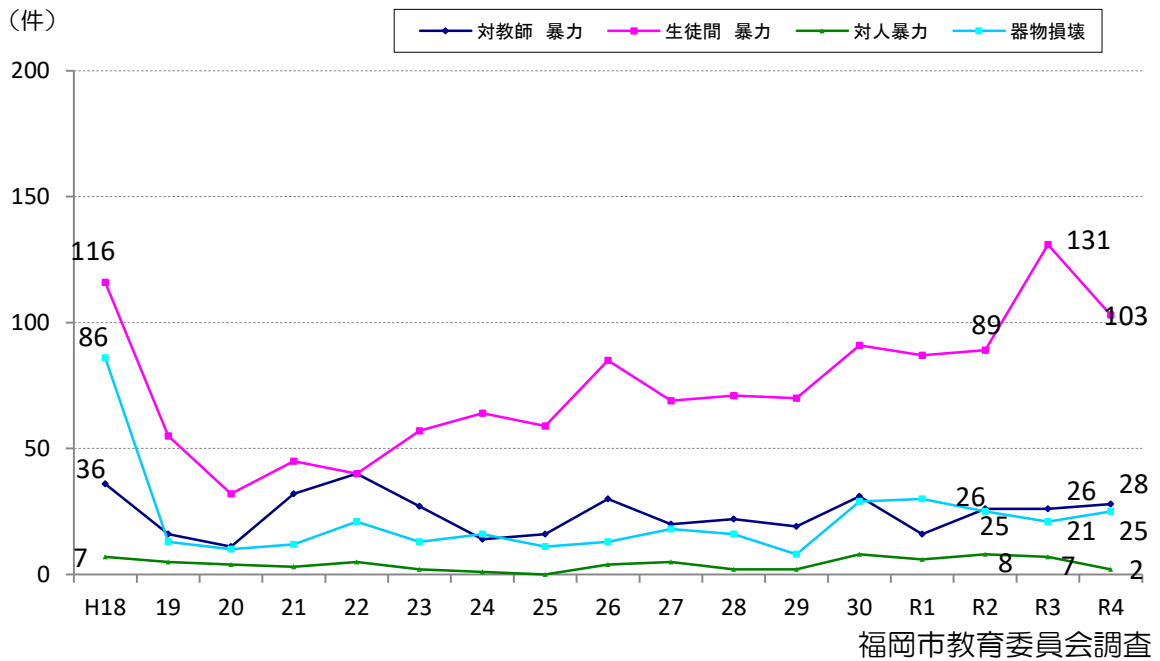
○小・中学校ともに不登校児童生徒の復帰者数が増加していたが、令和4年度は小・中学校ともに減少している。

I-9-3 いじめの発生状況（認知件数）



○令和4年度は、小・中学校ともにいじめの認知件数が増加している。

I-9-4 暴力行為の発生状況（小・中学校）

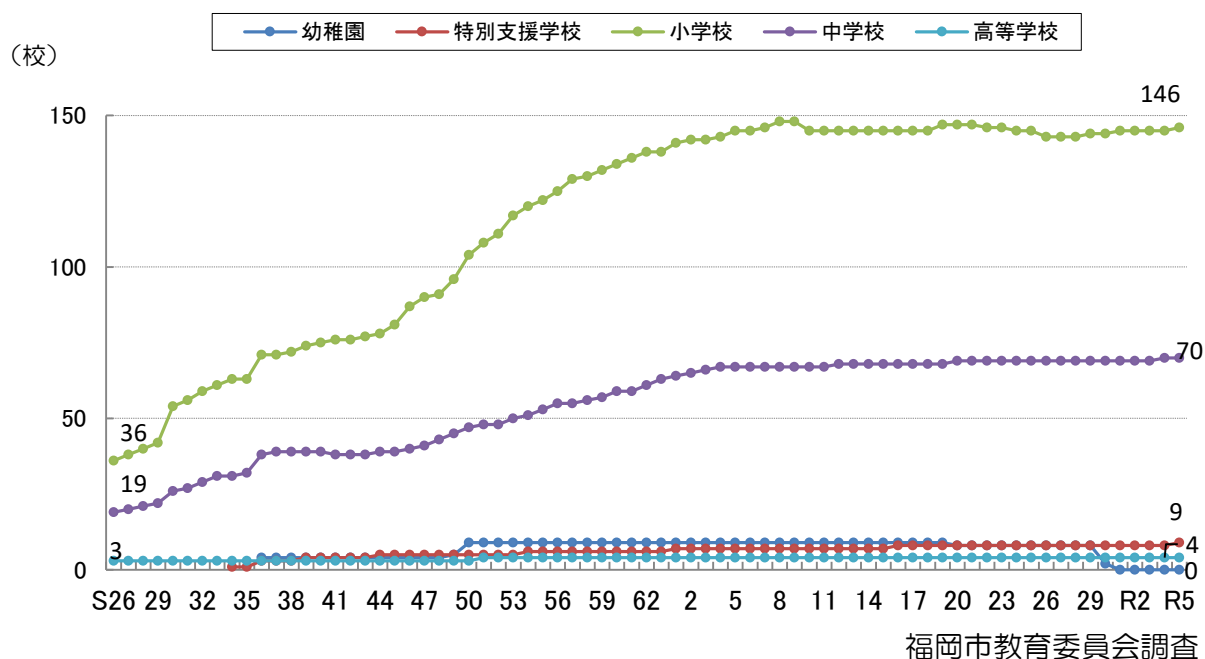


○令和4年度は、対教師暴力と器物損壊がわずかに増加し、生徒間暴力と対人暴力においては、減少した。

Ⅱ 学 校

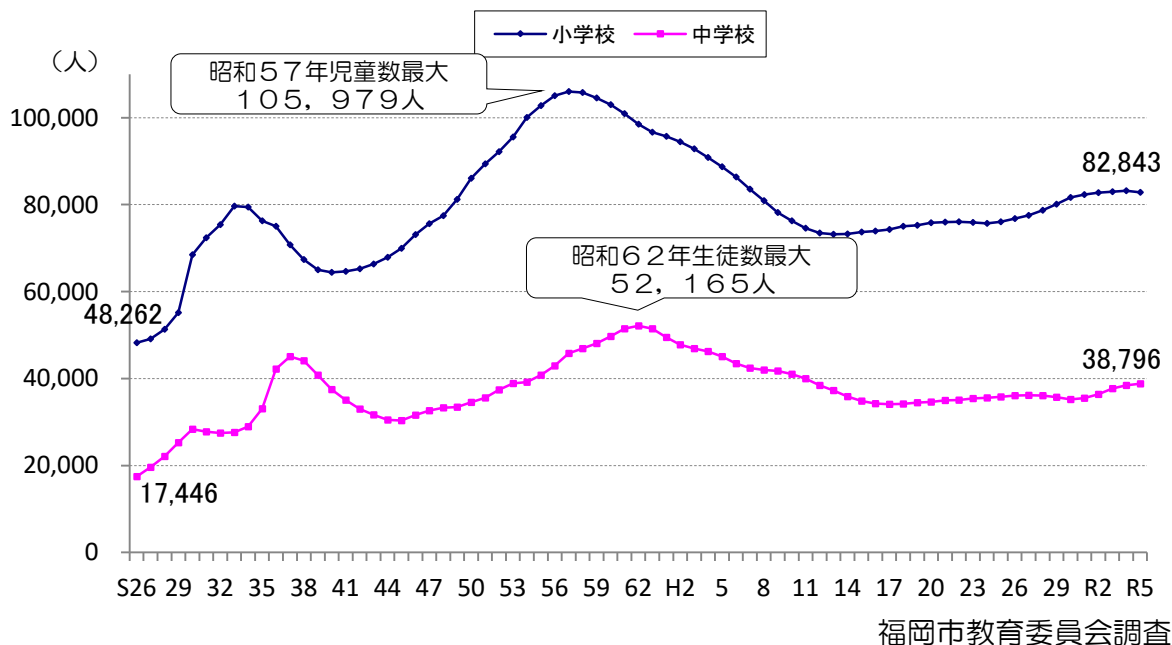
Ⅱ－１ 学校数等

Ⅱ－１－１ 学校数の推移



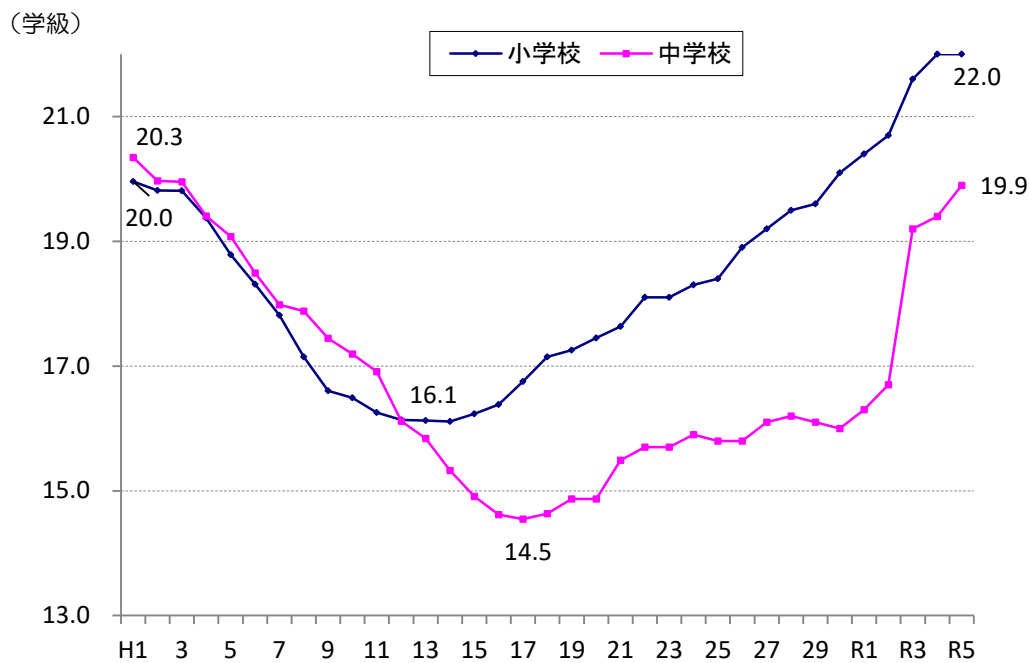
○令和5年度の市立学校は、幼稚園0、特別支援学校9、小学校146（うち1校休校）、中学校70（うち1校夜間中学）、高等学校4となっている。

Ⅱ－１－２ 児童生徒数の推移



○児童生徒数は、小学校が昭和57年、中学校が昭和62年をピークに減少傾向にあったが、近年、小学校、中学校とも横ばいで推移している。

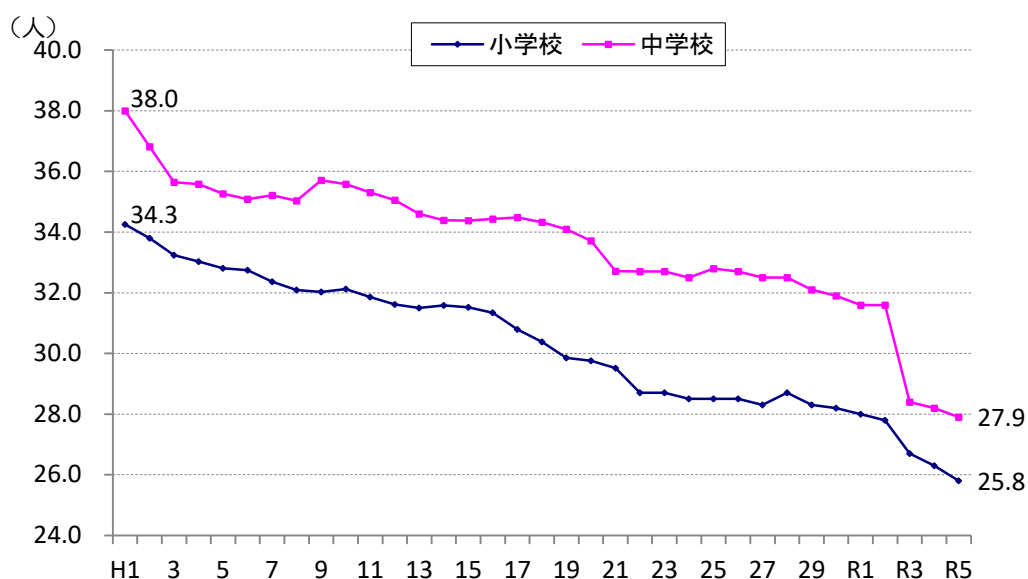
Ⅱ－１－３ １校あたりの学級数の推移



福岡市教育委員会調査

○近年、小学校、中学校ともに増加傾向にある。

Ⅱ－１－４ １学級あたりの児童生徒数の推移

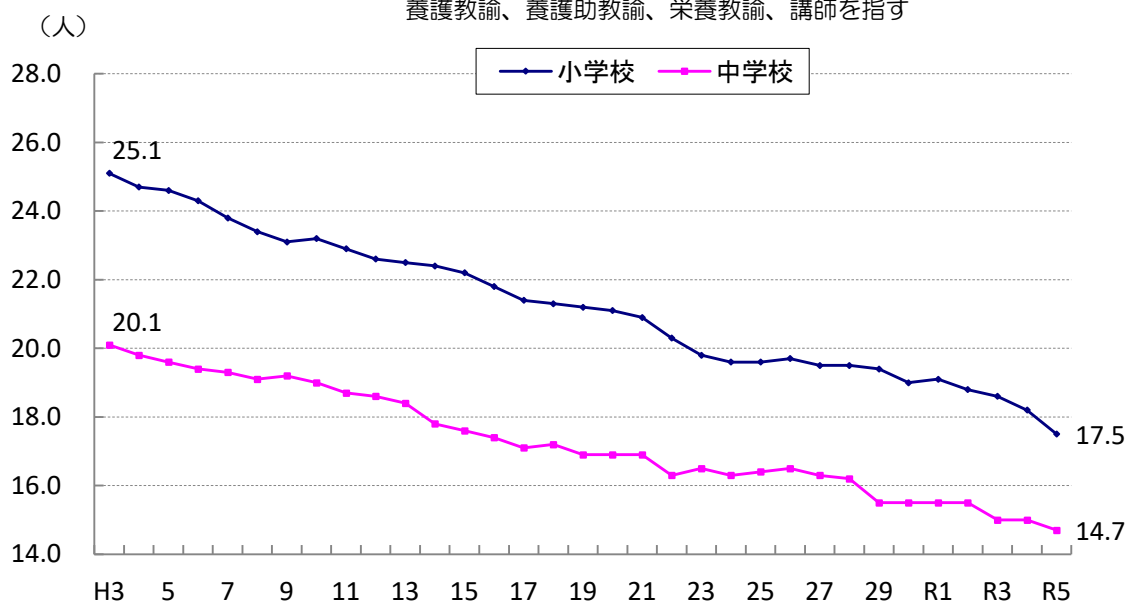


福岡市教育委員会調査

○近年、小学校、中学校ともに減少傾向にある。

Ⅱ－１－５ 教員１人あたりの児童生徒数の推移

※「教員」とは、校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、講師を指す

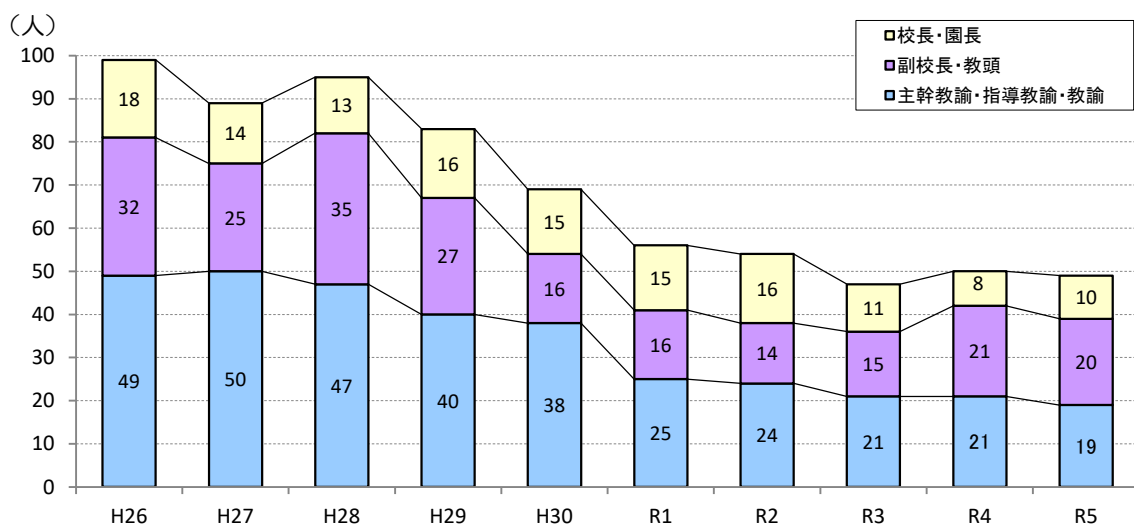


福岡市教育委員会調査

○近年、小・中学校とも減少傾向となっている。

Ⅱ－１－６ 異校種間人事交流の状況

※「異校種間人事交流」とは、小学校と中学校、中学校と高等学校など、異なる学校種の間で人事異動を行うこと

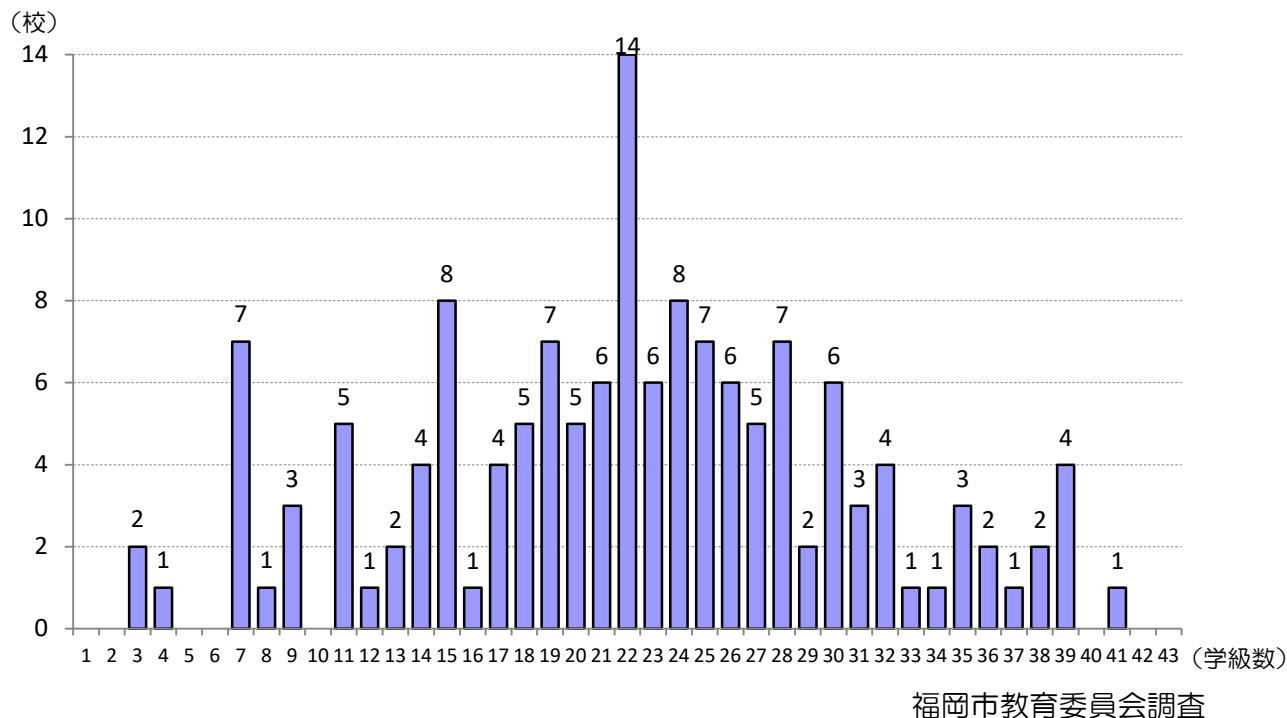


福岡市教育委員会調査

○市立幼稚園の廃園に伴い、幼稚園から小学校への異動を「異校種間人事交流」とみなさないこととしたため、令和元年度より教諭の数が減少した。その後は、50人前後で推移している。

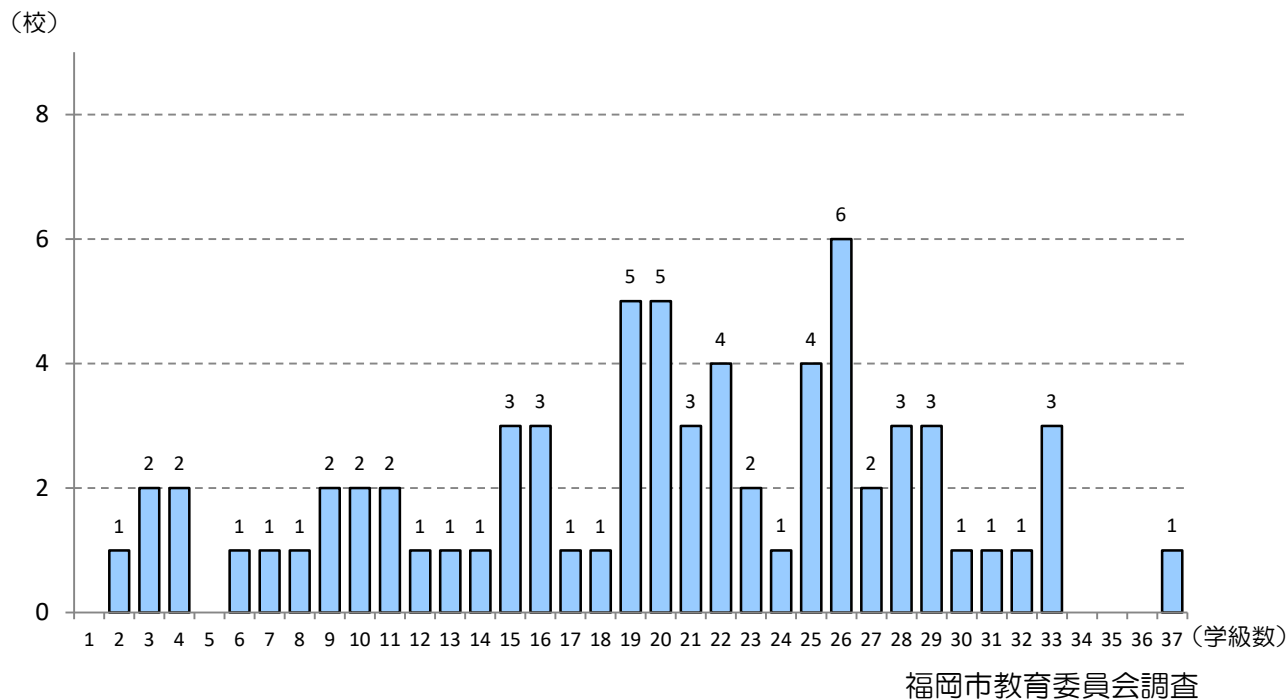
Ⅱ－２ 学校施設の状況

Ⅱ－２－１ 規模別学校数（令和５年度小学校）



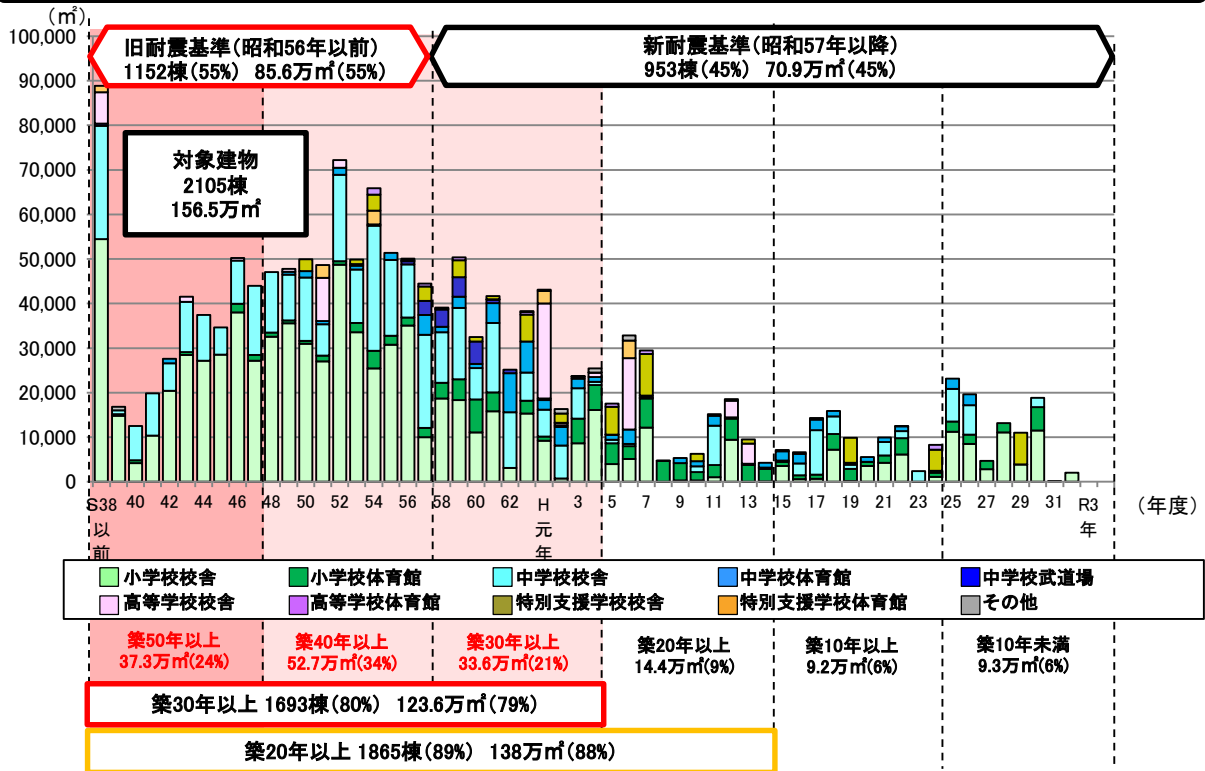
○小学校の学級規模は、22学級がもっとも多い。平均学級数は22クラス

Ⅱ－２－２ 規模別学校数（令和５年度中学校）



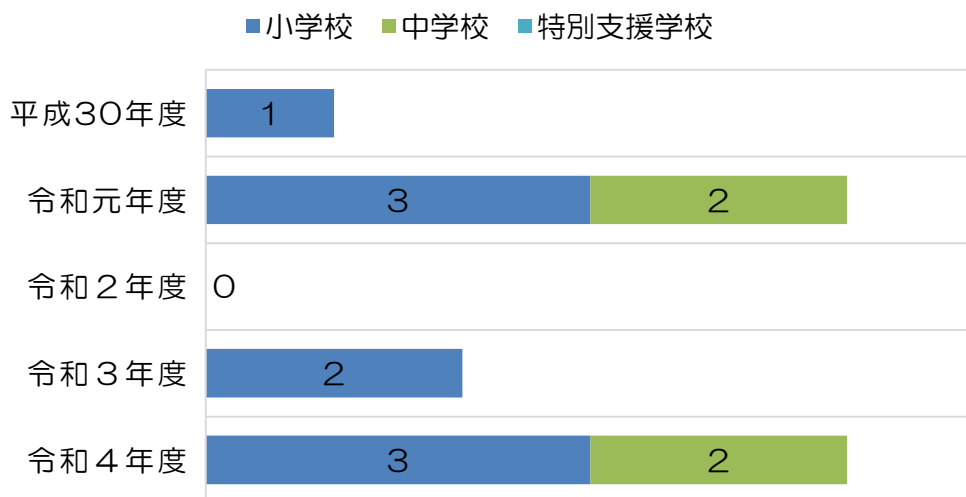
○中学校の学級規模は、26学級がもっとも多い。平均学級数は19.9クラス

Ⅱ－２－３ 学校施設の整備状況（建築年次別）※令和５年４月時点



○昭和40年代後半から昭和50年代に集中して建設されているため、約8割の学校施設で築30年を経過しており、学校施設の老朽化が進んでいる。

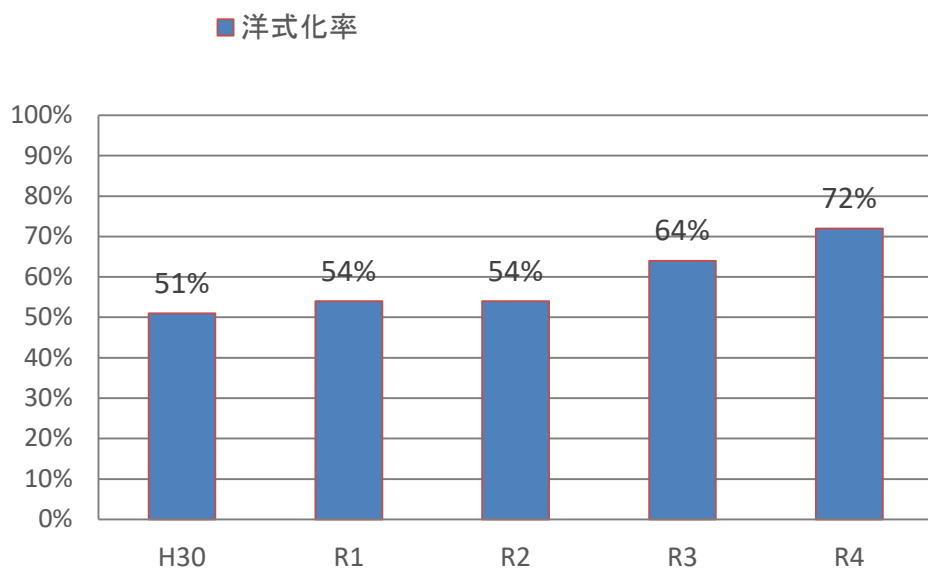
Ⅱ－２－４ 大規模改造（校舎、屋体）の実施状況



福岡市教育委員会調査

○令和4年度より、築40年を経過した校舎について、長寿命化改修として大規模改造を実施している。令和3年度以前は、老朽化対策として築30年を経過した学校について実施していた。
(令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による夏休みの短縮により、工事を延期した)

Ⅱ－２－５ トイレの洋式化の実施状況



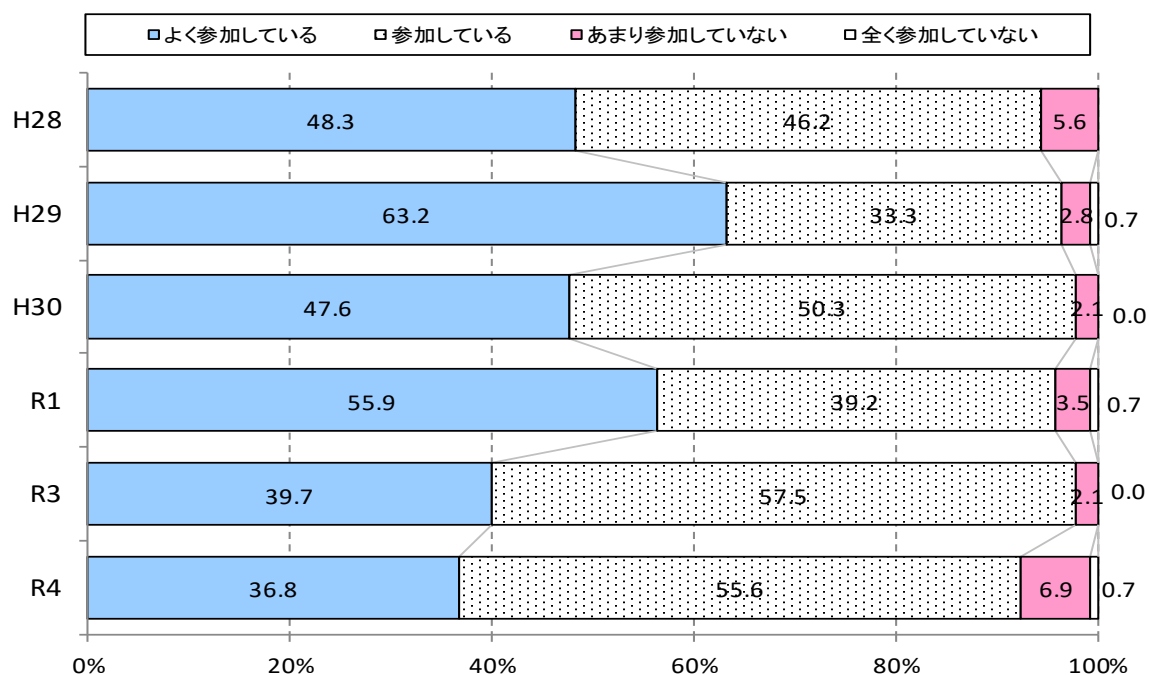
福岡市教育委員会調査

○子どもたちが利用しやすいようトイレの洋式化やバリアフリー化に取り組んでおり、小中学校におけるトイレの改修は、令和４年度には7割程度が完了している。



Ⅱ－３ 地域の人材活用状況

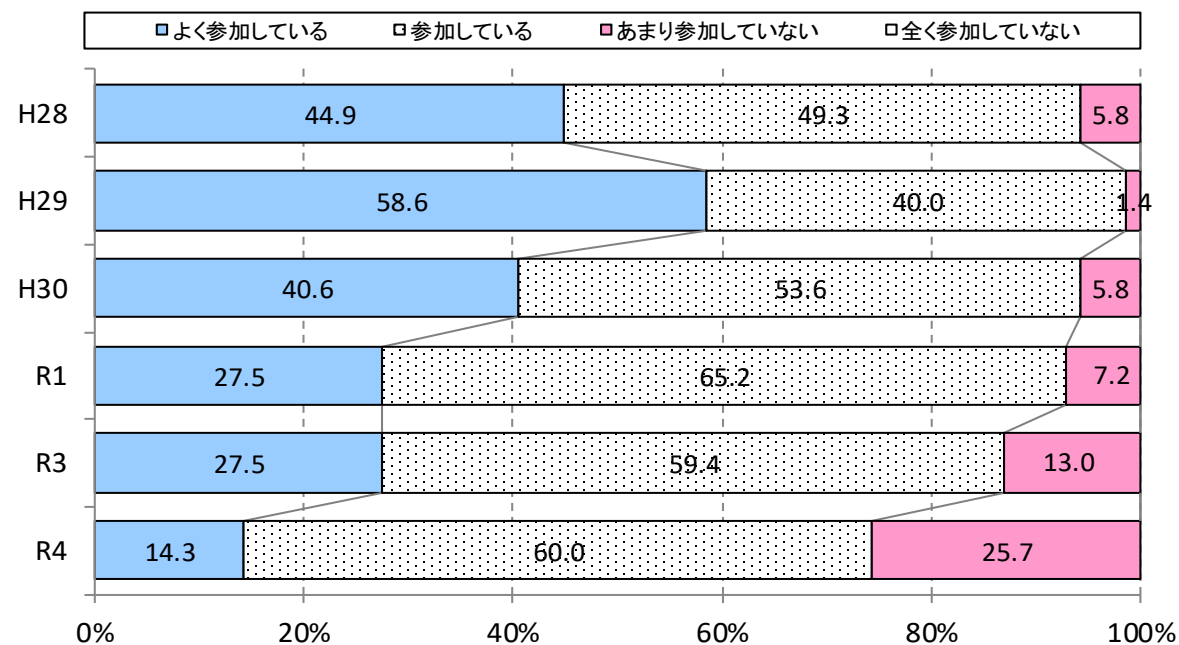
Ⅱ－３－１ 保護者や地域の人々の学校活動参加状況（小学校）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○保護者や地域の人々の参加状況について、「よく参加している」「参加している」と回答した小学校の割合は、90%以上となっている。（R2は調査中止）

Ⅱ－３－１ 保護者や地域の人々の学校活動参加状況（中学校）



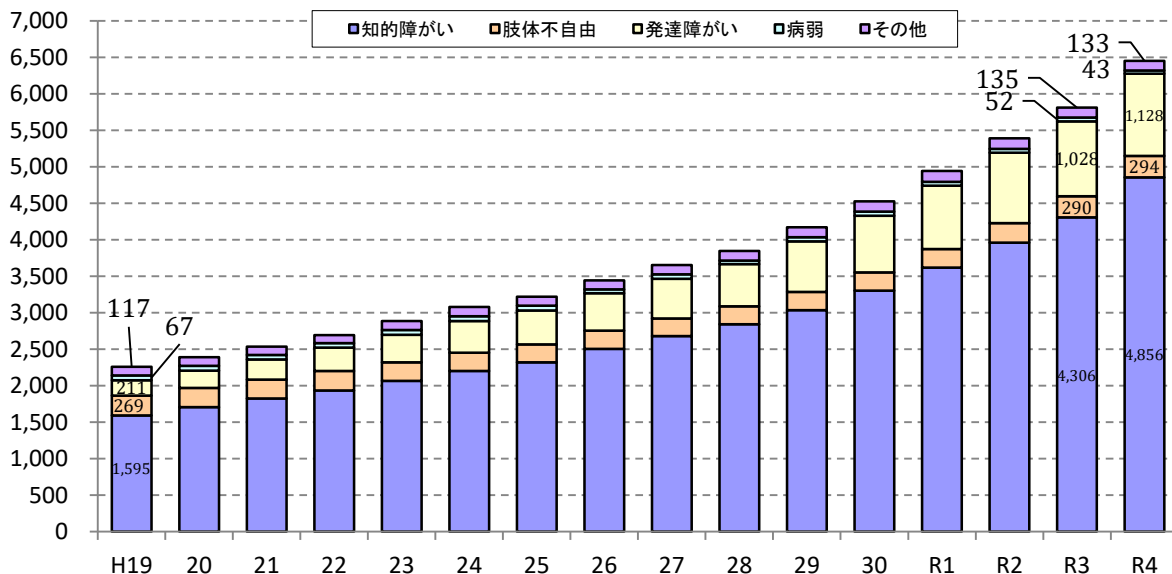
文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○保護者や地域の人々の参加状況について、「よく参加している」「参加している」と回答した中学校の割合は、70%以上となっている。（R2は調査中止）

Ⅱ－４ 特別支援教育

Ⅱ－４－１ 特別支援学校・学級・通級指導教室に在籍する障がいのある児童生徒数

(人) ※その他・・・弱視、言語障がい、難聴

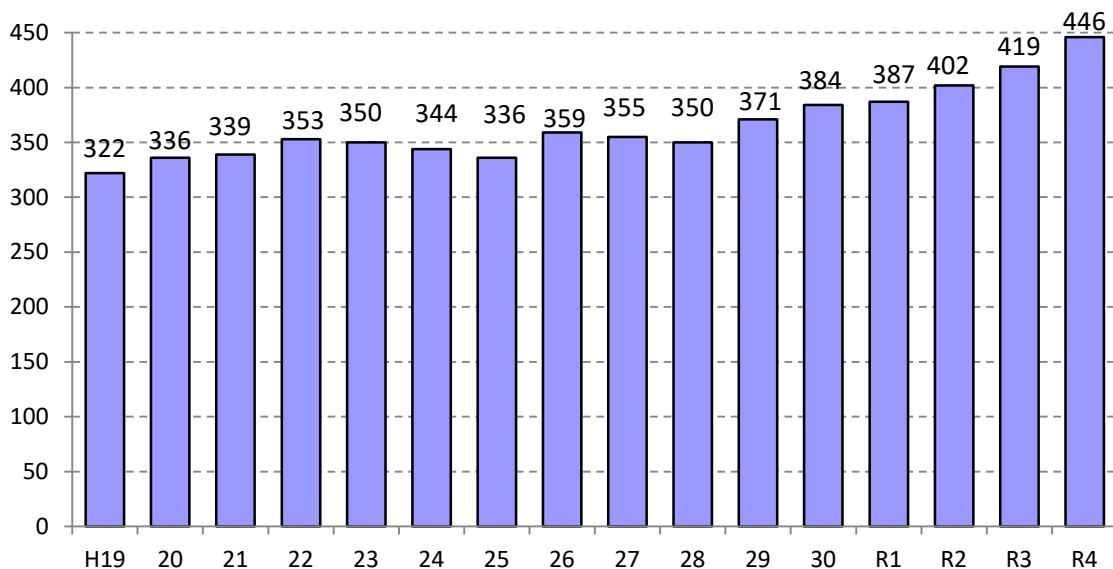


福岡市教育委員会調査

○障がいのある児童生徒数は、増加している。特に知的障がいと発達障がいのある児童生徒数の増加が著しい。

Ⅱ－４－２ 特別支援学校の学級数（小・中・高等部）

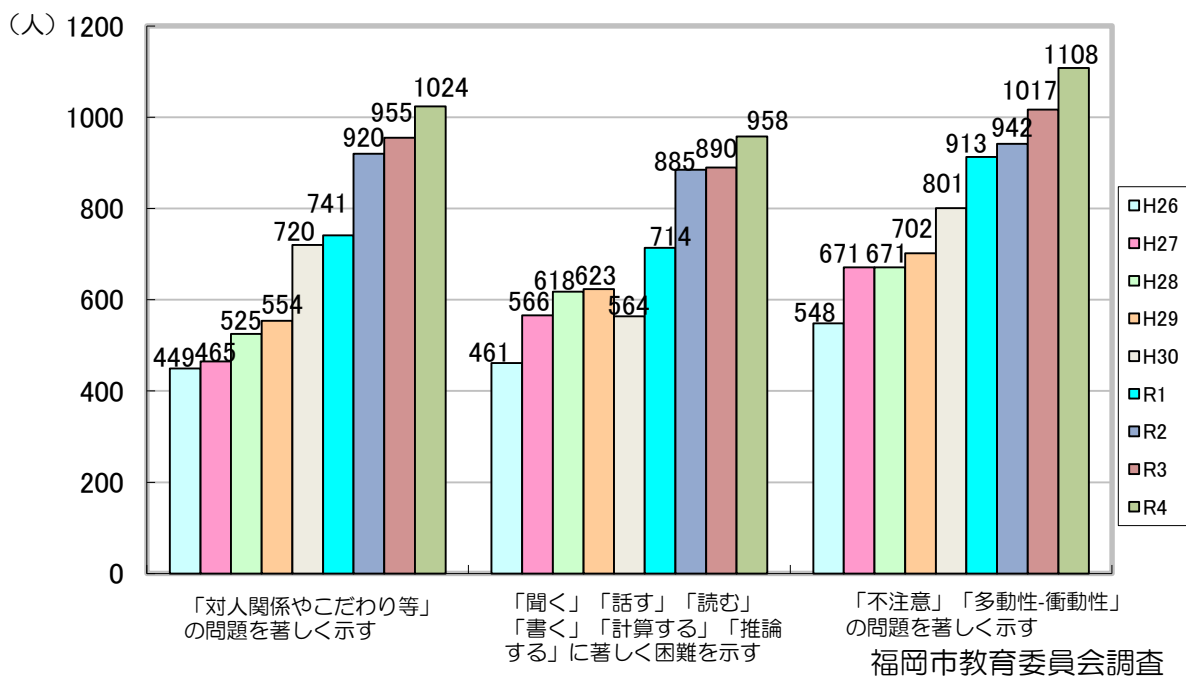
(学級数)



福岡市教育委員会調査

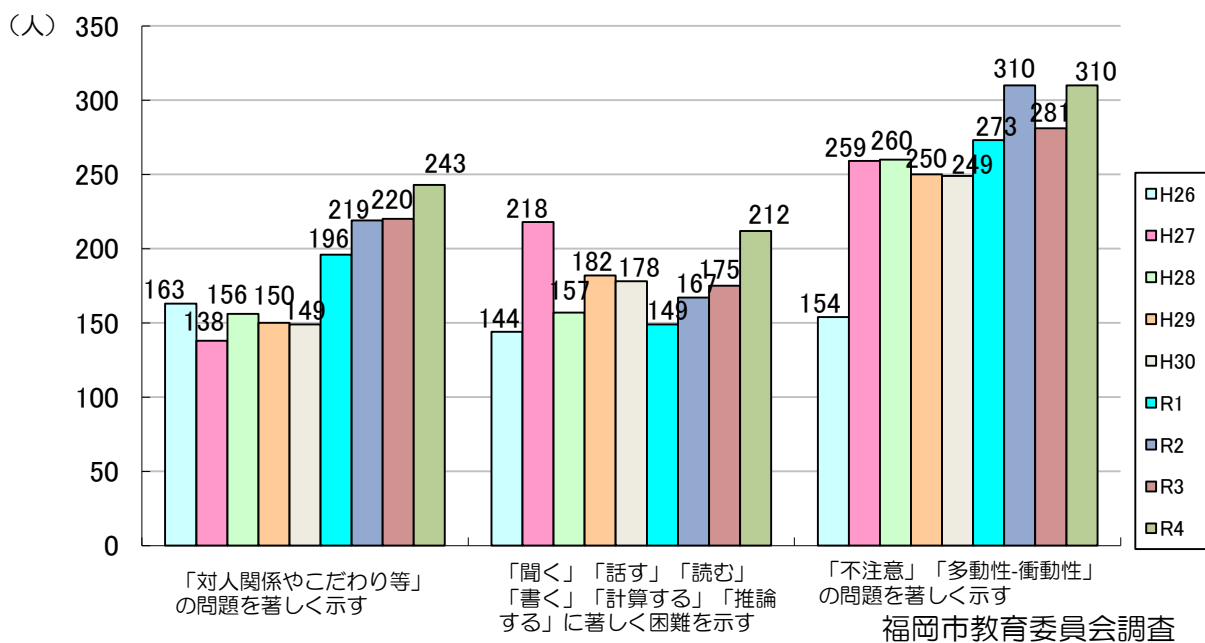
○特別支援学校の学級数は、児童生徒数の増加とともに、増加してきている。

Ⅱ－４－３ 通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童数（小学校）



○通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童数は、増加傾向にある。

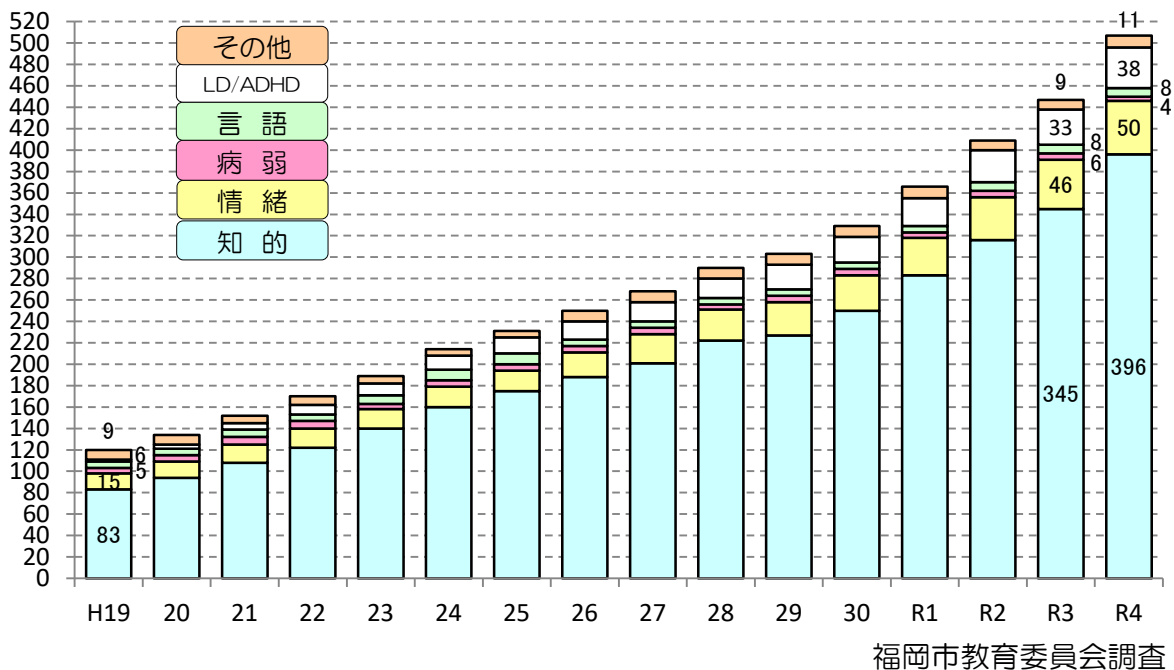
Ⅱ－４－３ 通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする生徒数（中学校）



○通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする生徒数は、増加傾向にある。

Ⅱ－４－４ 特別支援学級の設置状況（小学校）

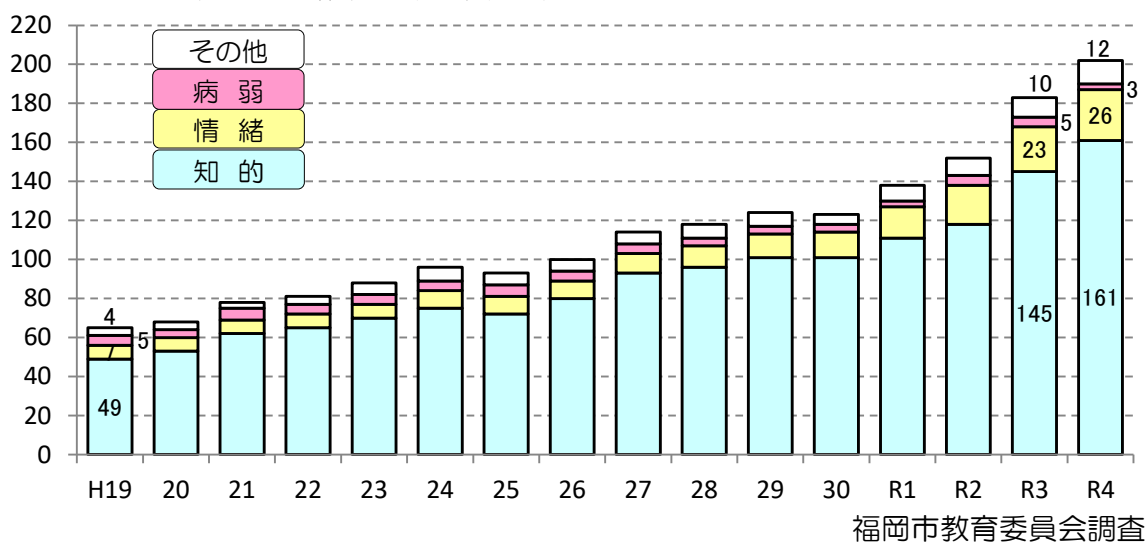
（学級数） ※学級数には、通級指導教室を含みます。
※その他・・・肢体不自由、弱視、難聴



○小学校においては、特に知的障がい特別支援学級、自閉症・情緒障がい特別支援学級、LD・ADHD等通級指導教室において増加傾向にある。

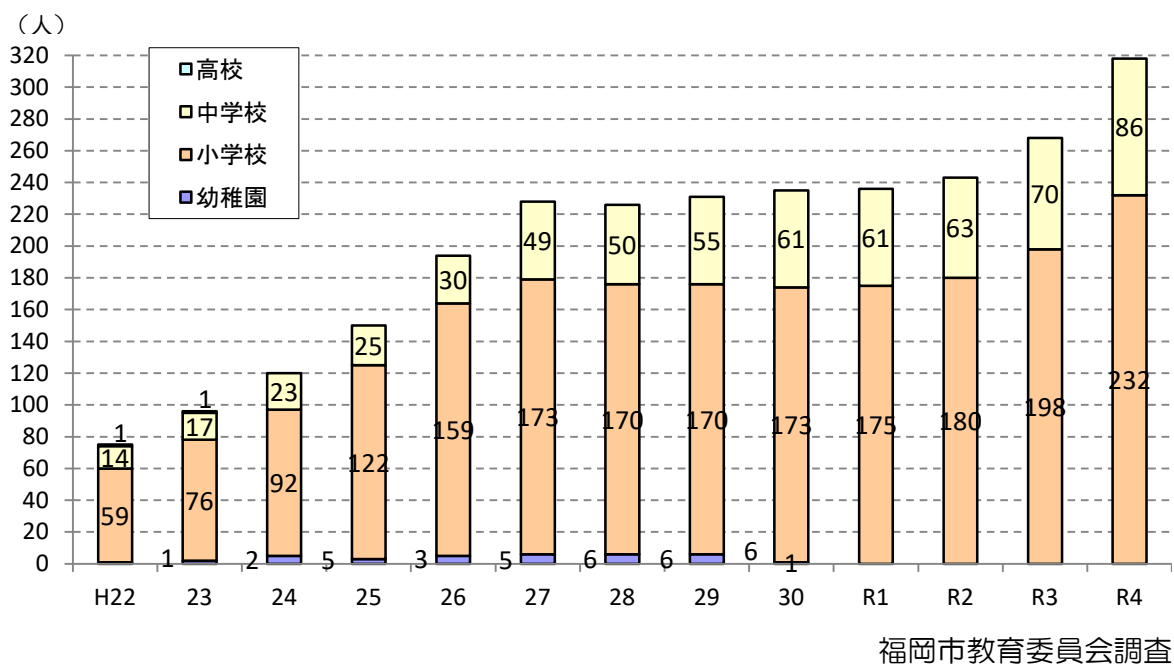
Ⅱ－４－４ 特別支援学級の設置状況（中学校）

（学級数） ※学級数には、通級指導教室を含みます。
※その他・・・肢体不自由、難聴、LD/ADHD



○中学校においては、特に知的障がい特別支援学級、自閉症・情緒障がい特別支援学級において増加傾向にある。

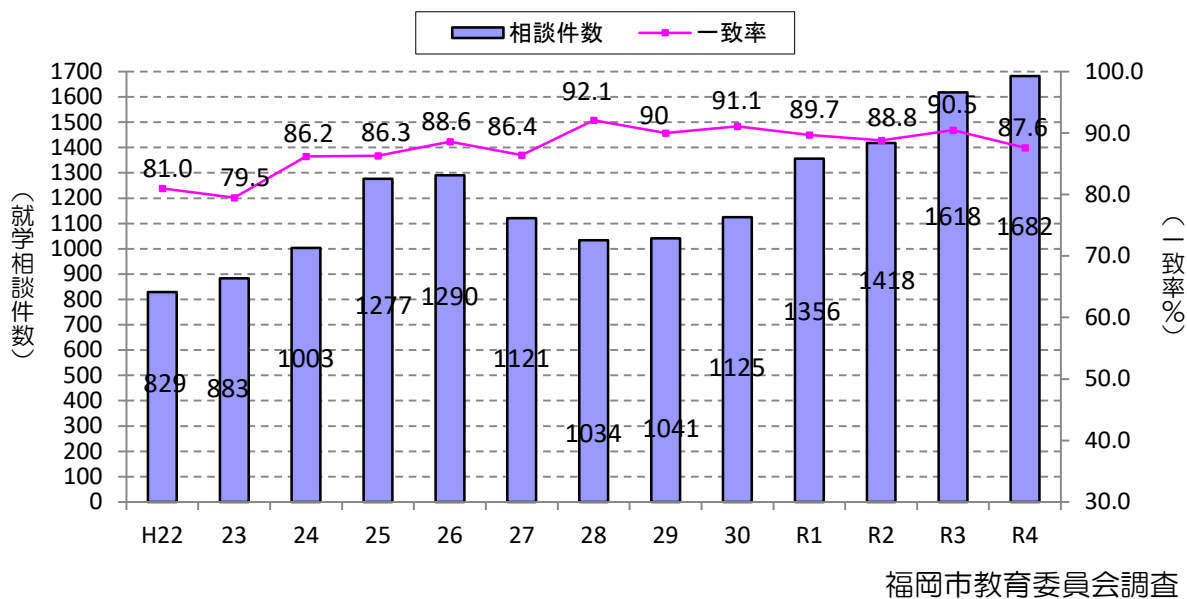
Ⅱ－４－５ 学校生活支援員の配置状況



○配置数は、平成22年度から約4.3倍に増えている。

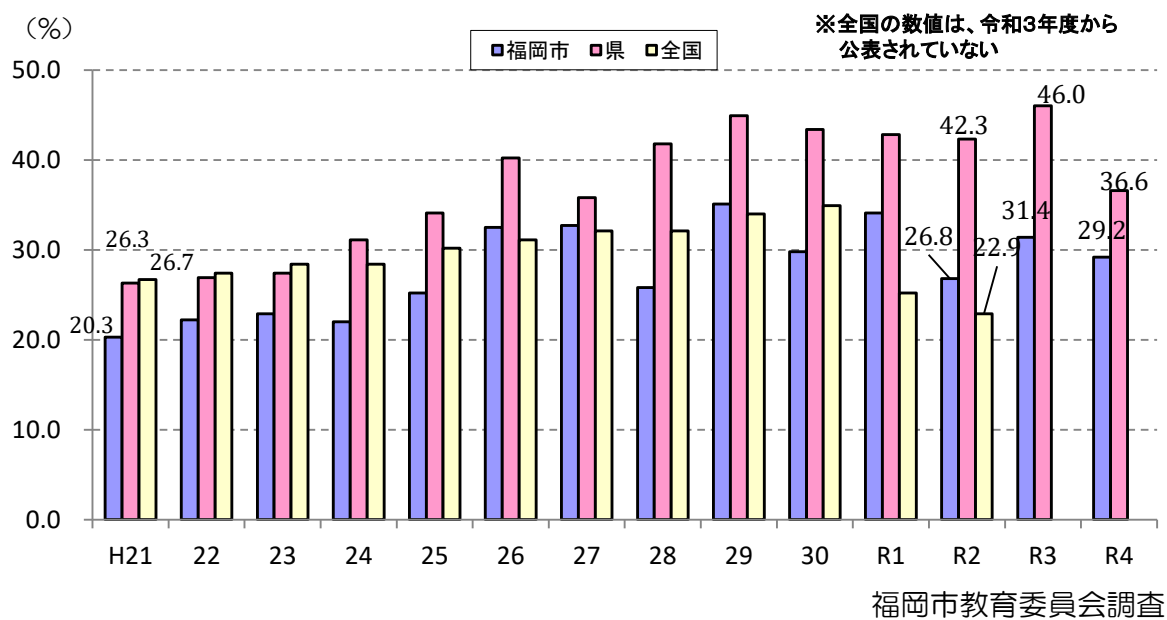
Ⅱ－４－６ 就学相談数と一致率

※一致率・・・教育委員会の総合的判断通りに児童生徒の就学先が決定した割合

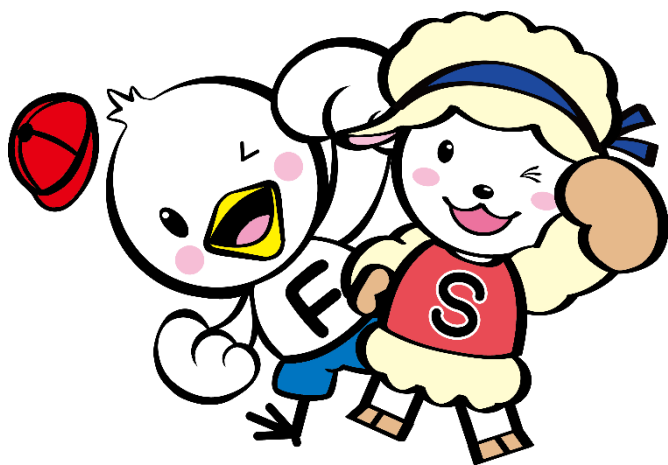


○就学相談件数は、年々増加してきている。教育委員会の総合的判断と保護者の意向が一致した割合は平成24年度から90%前後で推移している。

Ⅱ－４－７ 特別支援学校高等部就労率

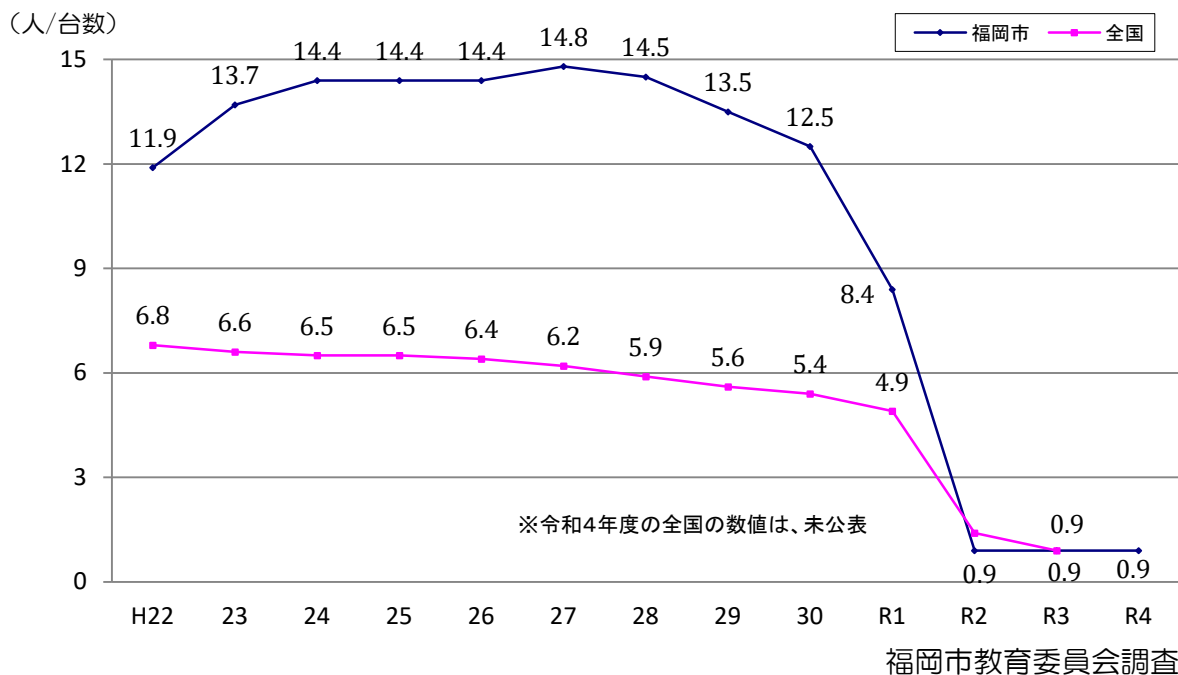


○特別支援学校高等部（知的）の就労率は、平成26年度より30%前後で推移している。



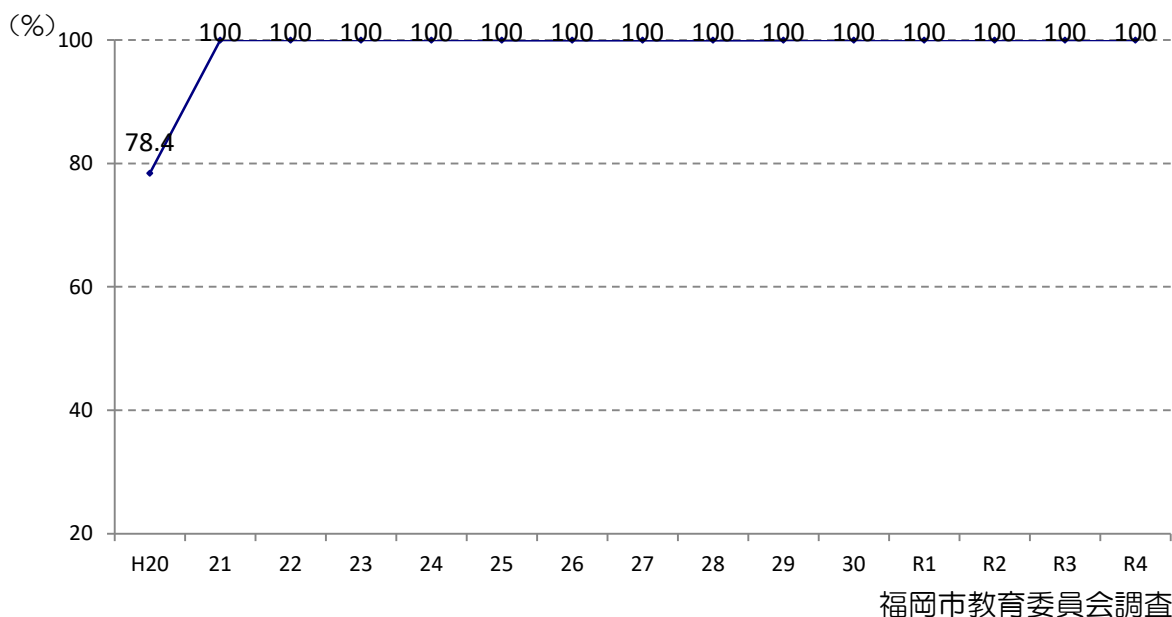
Ⅱ－５ ICT環境

Ⅱ－５－１ コンピュータ1台あたりの児童生徒数



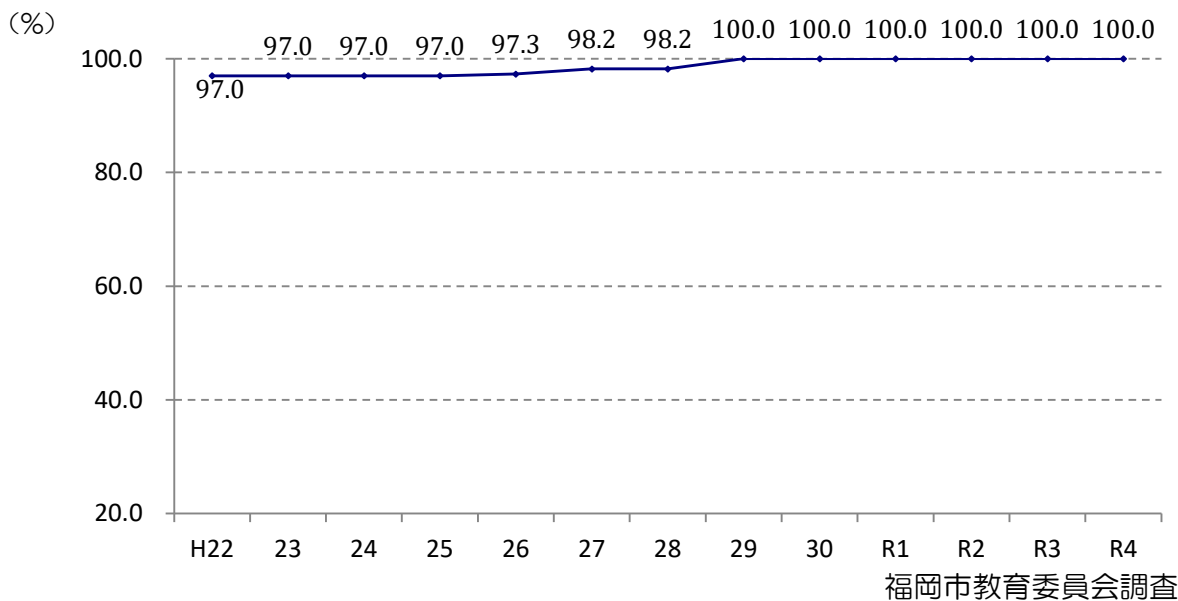
○コンピュータ1台あたりの児童生徒数は、令和2年度に1人以下を達成している。

Ⅱ－５－２ 普通教室における校内LAN整備率



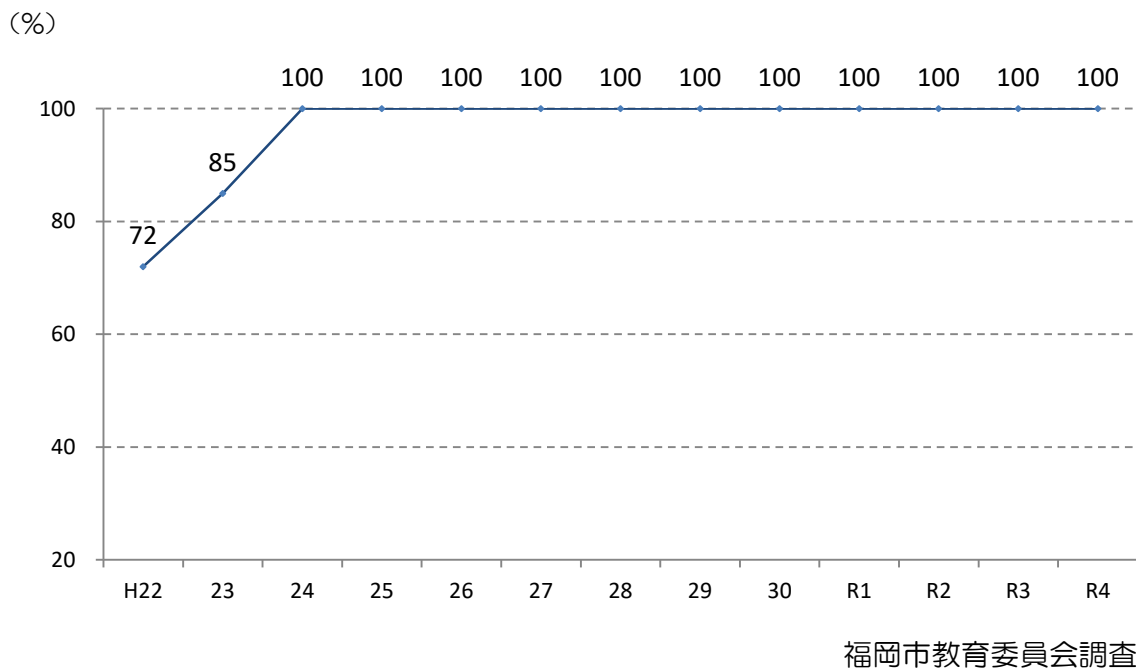
○普通教室における校内LAN整備率について100%を達成して以降は、特別教室等一部未整備の教室整備に順次移行している。

Ⅱ－５－３ 超高速インターネット接続率



○超高速インターネット接続(30Mbps以上)は、平成29年度に100%整備を達成している。

Ⅱ－５－４ 校務用コンピュータ整備率



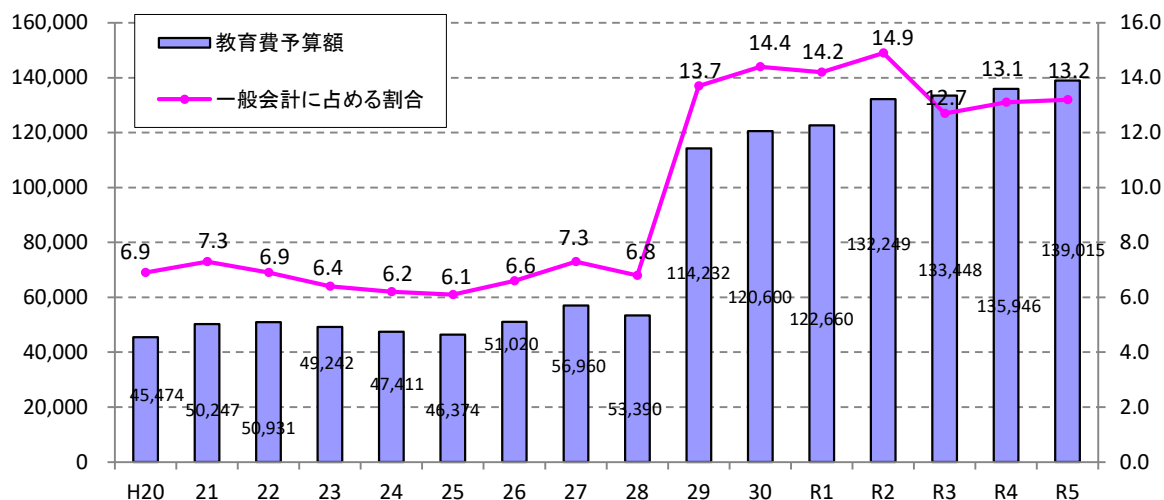
○校務用コンピュータの整備率は、平成24年度に100%を達成して以降も、教職員定数の増加に伴う追加整備を行っている。

Ⅱ－６ その他の状況

Ⅱ－６－１ 福岡市の教育費予算の推移

(予算額：百万円)

(%)



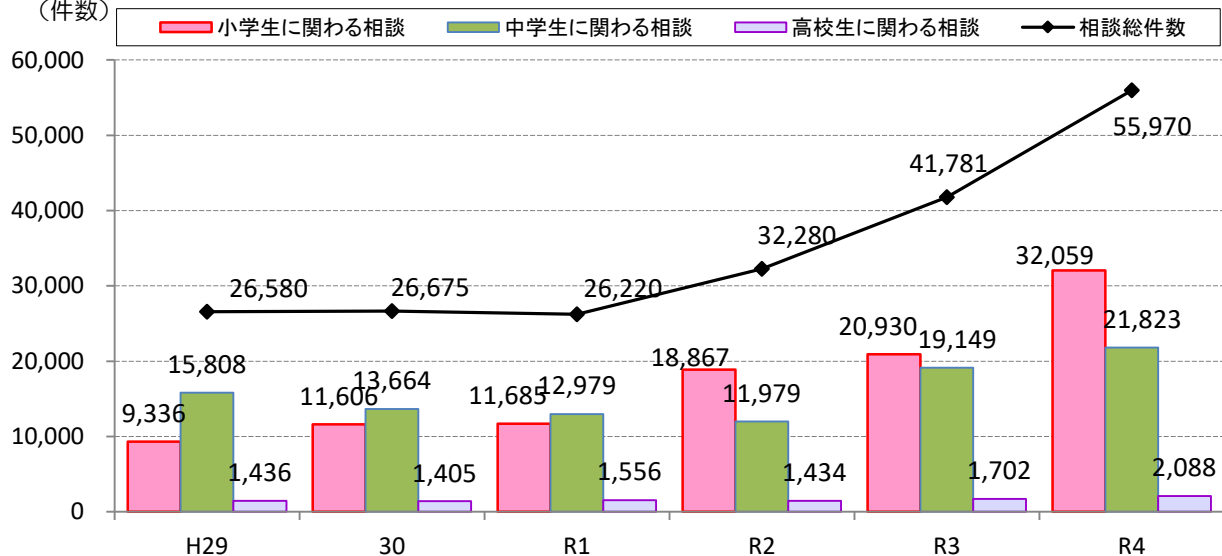
※平成24年度から美術館、博物館、アジア美術館、文化財部は、経済観光文化局へ移管

※平成29年度から県費負担教職員に係る権限移譲に伴う人件費分が増加 福岡市教育委員会調査

○教育費予算は約1,390億円で令和4年度と比較し増額となるが、これは、アイランドシティ地区新設校整備の事業進捗に伴う事業費や、教職員の定数増などに伴う教職員給与が増加したことなどによるものである。

Ⅱ－６－２ スクールカウンセラー（SC）への相談等の状況

(件数)

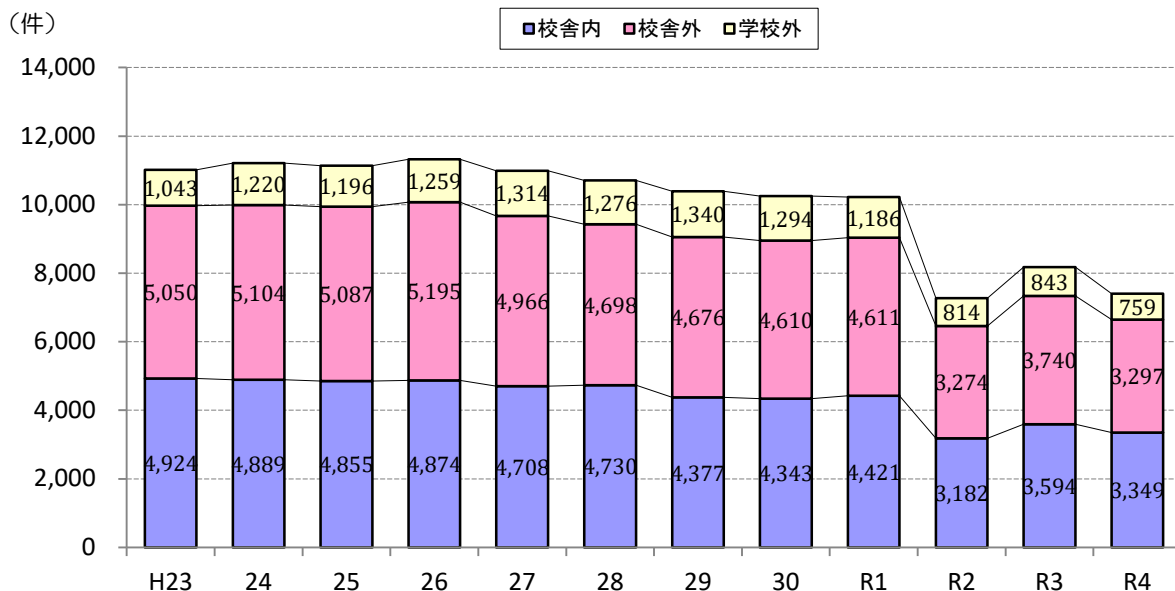


福岡市教育委員会調査

○令和3年度からスクールカウンセラーを増員し、配置日数を増やしたことにより、全体的に相談件数が増加している。

Ⅱ－６－３ 学校災害の状況（市立幼稚園・小学校・中学校・高等学校）

※学校災害・・・学校の管理下の事由による児童生徒の負傷、疾病等（災害共済給付件数）



福岡市教育委員会調査

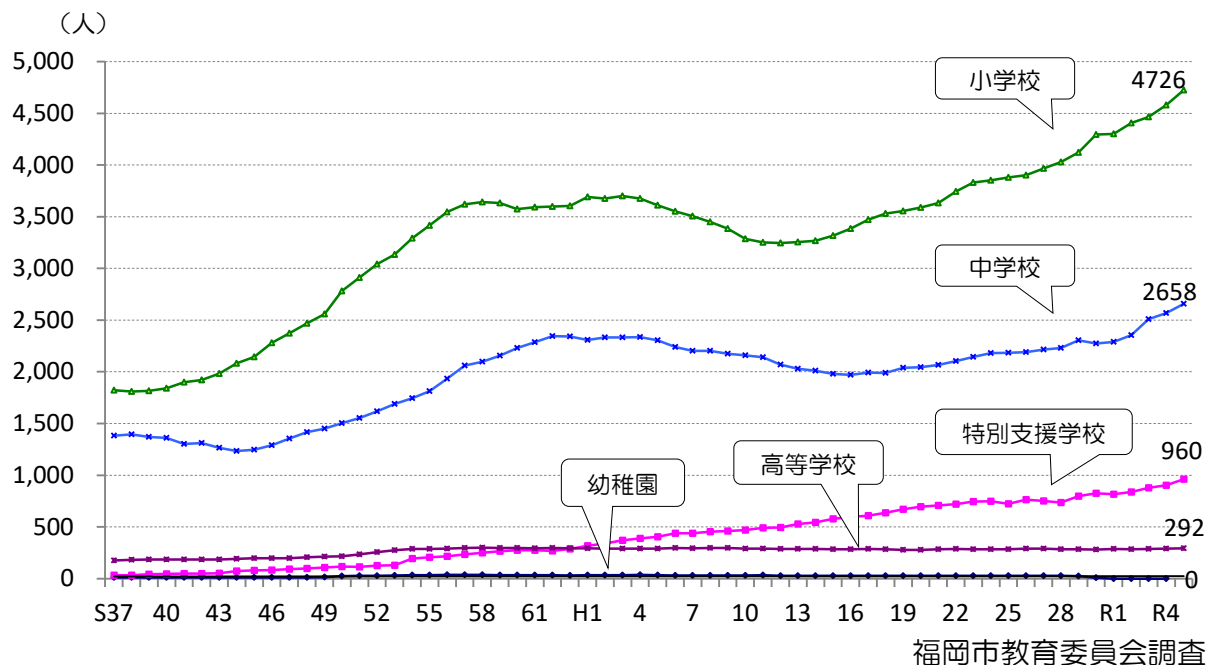
○令和4年度の学校災害件数は、新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度と比較すると約2割少なく、令和3年度から約1割の772件減少している。



Ⅲ 教職員

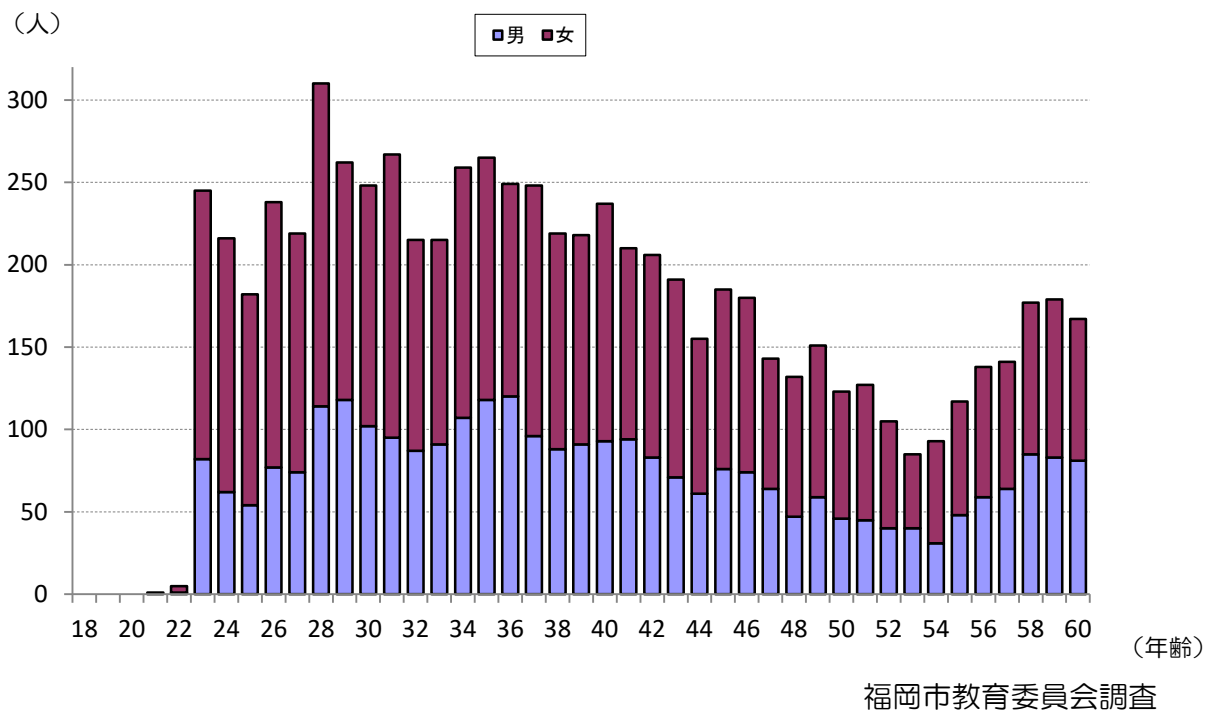
Ⅲ－１ 教員

Ⅲ－１－１ 福岡市立学校教員数の推移



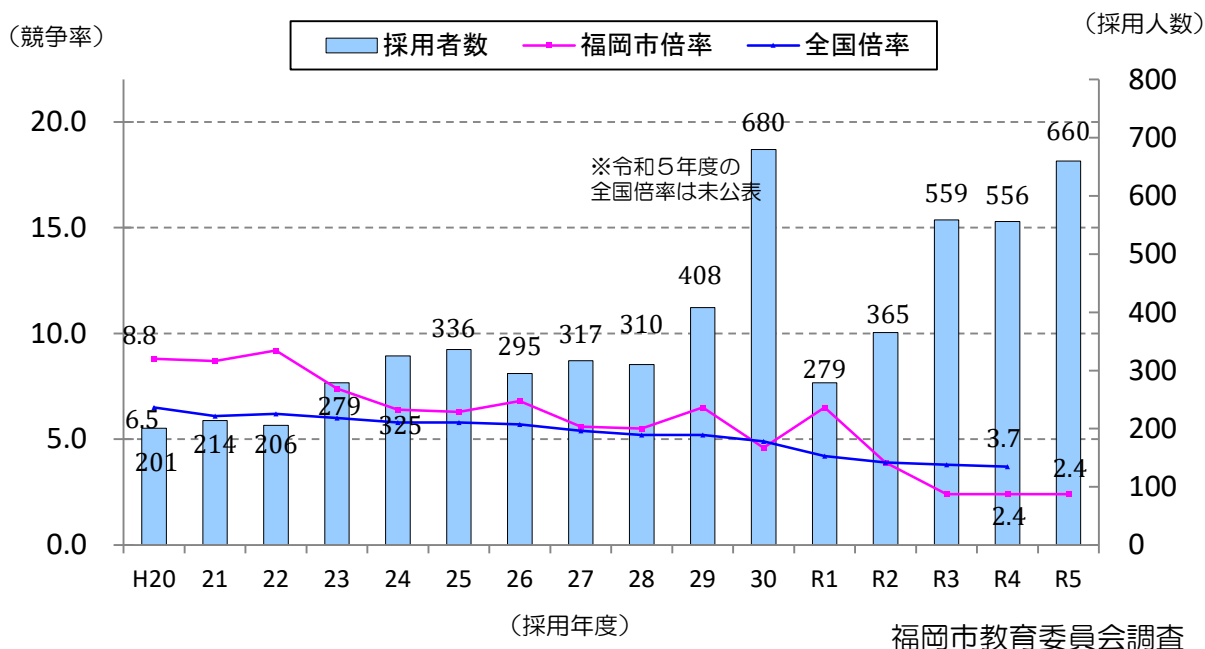
○福岡市立学校教員数は、小学校は平成14年度から、中学校は平成17年度から増加傾向にある。

Ⅲ－１－２ 正規教員の年齢構成（令和5年5月現在）



○校長及び正規教員の年齢構成としては、50代前半で谷を描いている。

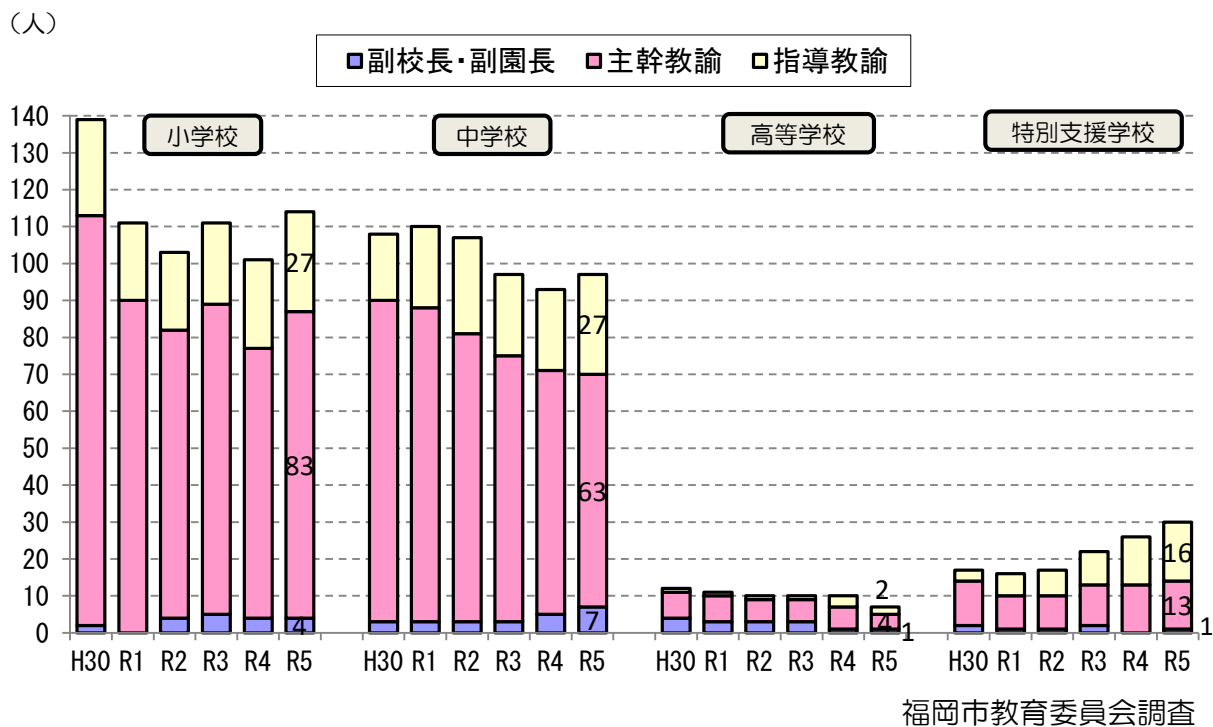
Ⅲ－１－３ 新規採用教員数と競争率



○新規採用教員数は、平成29年度以降、令和元年度を除いて350名超の大量採用が続いている。令和5年度の採用者数は、令和4年度から104名増加しているが、福岡市の競争率については、前年度の数値を維持している。

Ⅲ－１－４ 副校長・主幹教諭・指導教諭の配置人数

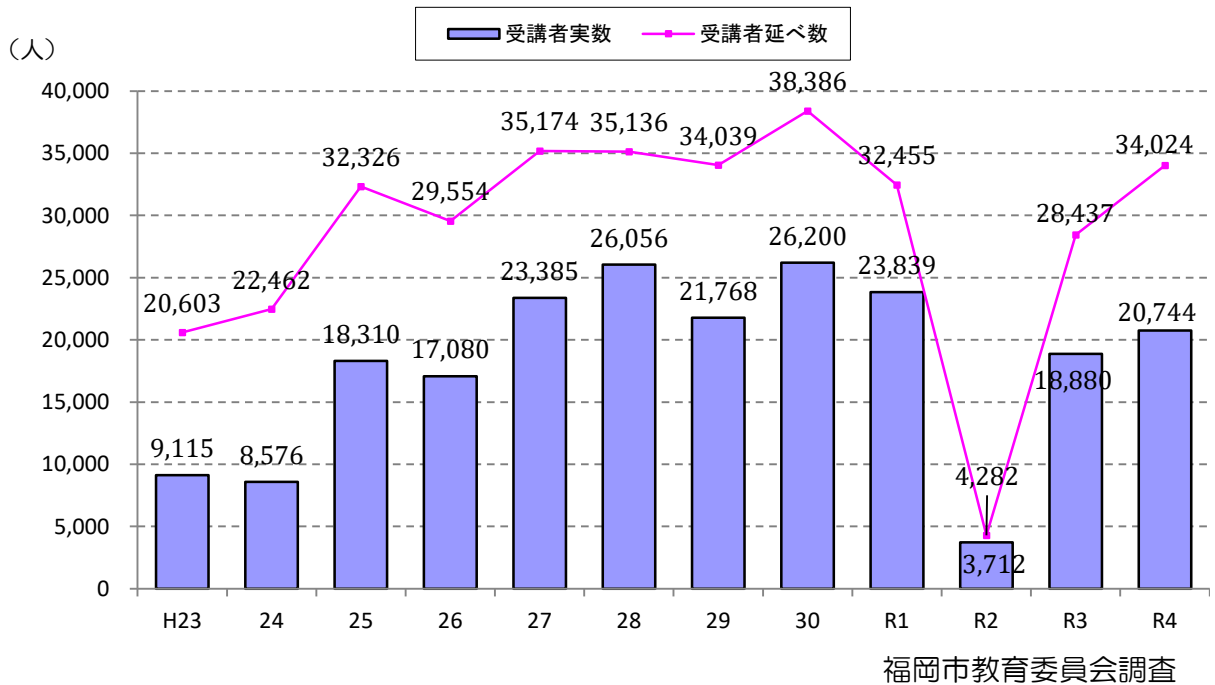
(各年度4月1日時点)



○小学校、中学校においては、平成30年度以降は減少または横ばいで推移していたが、令和5年度は、小・中・特別支援学校において増加した。

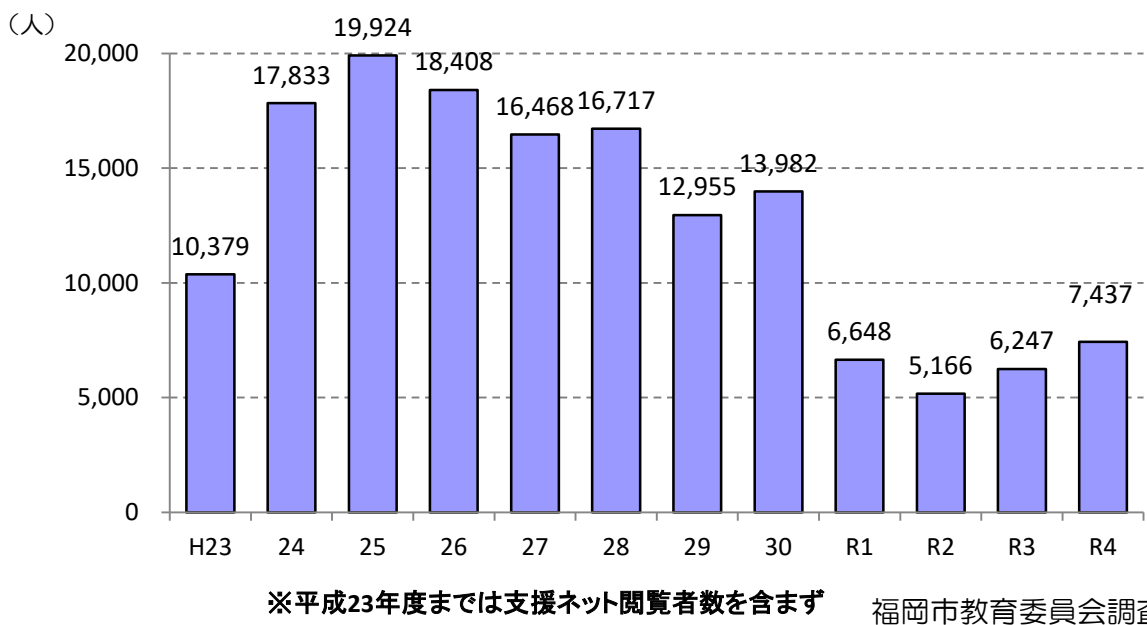
Ⅲ－２ 教職員の研修状況

Ⅲ－２－１ 教育センター研修講座受講者数の推移



○令和４年度は研修講座をオンライン（双方向型やオンデマンド型）を活用した形態をより充実させるなど工夫して実施したため、受講者数が増加した。

Ⅲ－２－２ 授業力向上支援センター利用者数の推移

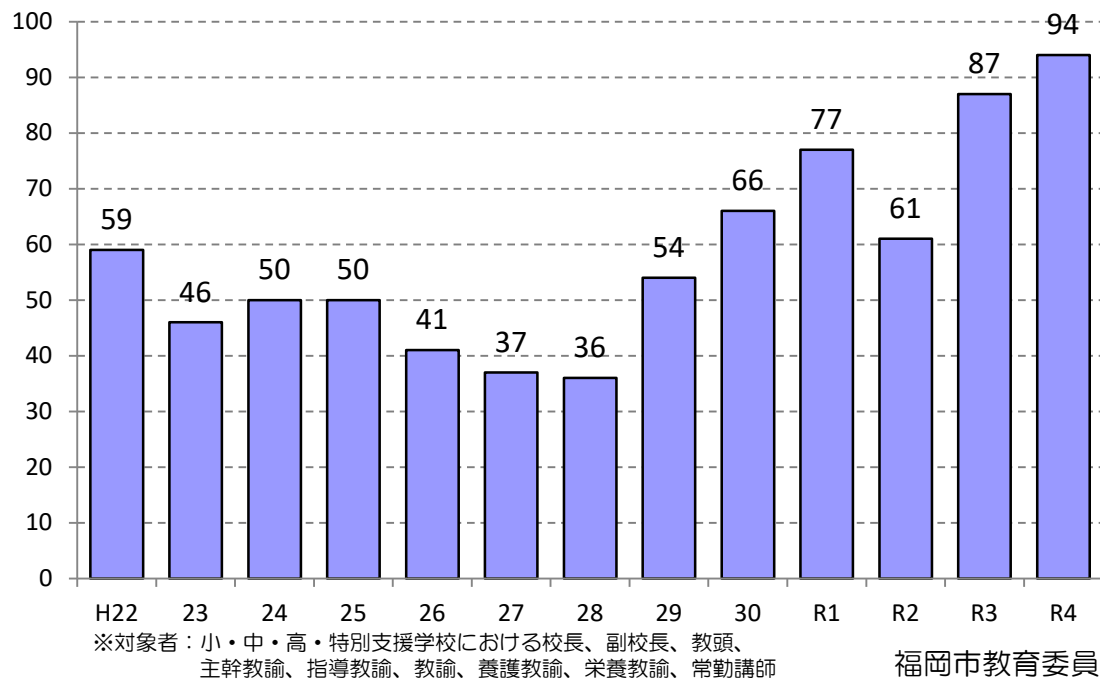


○研修講座のオンライン化により、教育センターへの来所機会が減少しているため、利用者数が減少傾向にあるが、支援ネットの利用も含め昨年度より増加した。

Ⅲ－３ 教員の休職状況

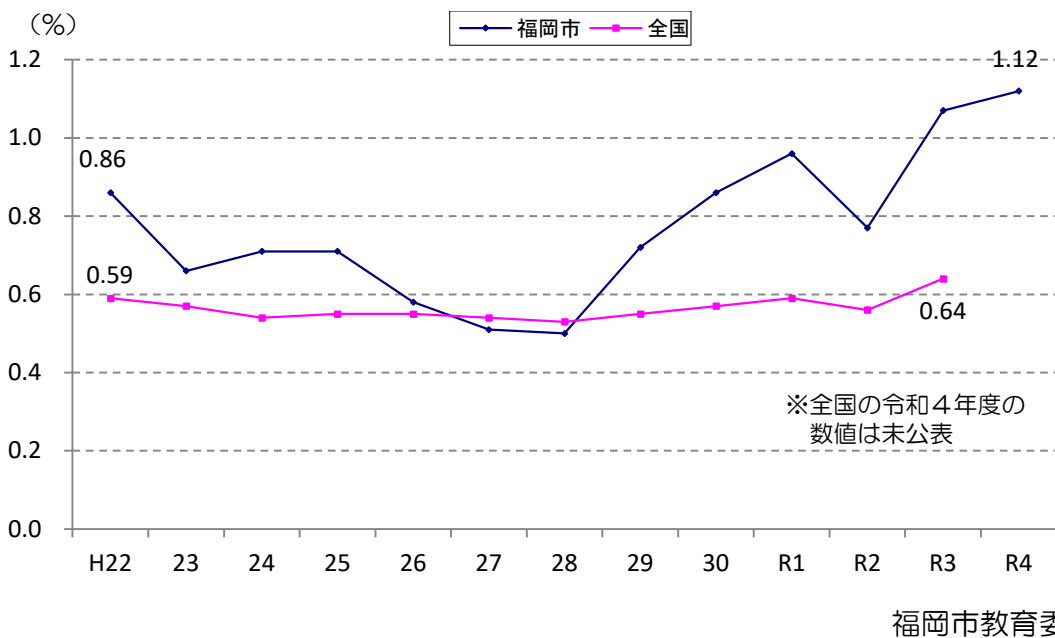
Ⅲ－３－１ 精神性疾患を原因とする病気休職者（教員）の推移

休職者数（人）



○平成29年度より増加傾向にあり、令和2年度に休職者が減少したものの、令和3年度以降再び増加している。

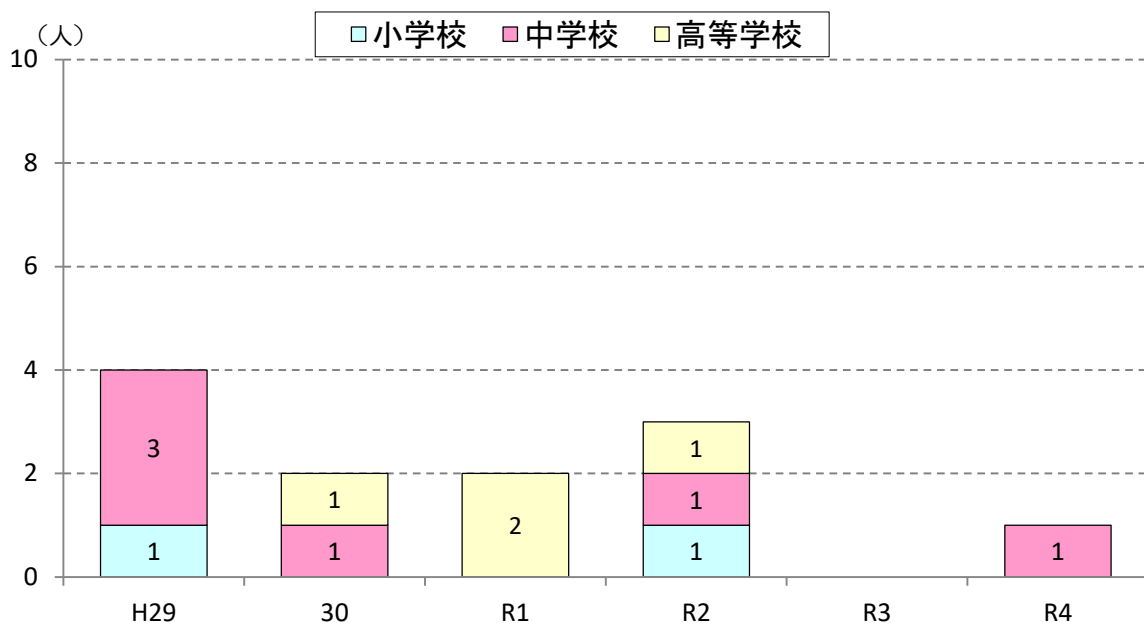
Ⅲ－３－２ 精神性疾患を原因とする病気休職者（教員）の割合



○全国平均はほぼ横ばいである。福岡市は平成29年度より増加傾向にあり、令和2年度に減少したものの、令和3年度以降再び増加している。

Ⅲ－４ 体罰・処分

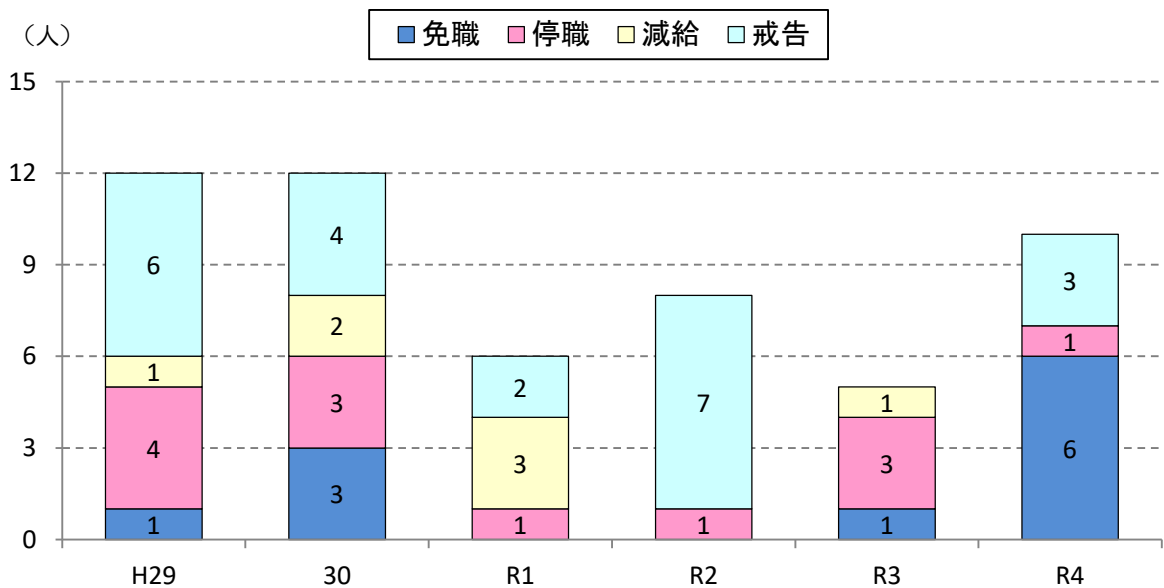
Ⅲ－４－１ 体罰による懲戒処分者数



福岡市教育委員会調査

○体罰による懲戒処分者数は、ほぼ横ばいで推移しており、令和4年度は1件発生した。

Ⅲ－４－２ 懲戒処分者数の状況



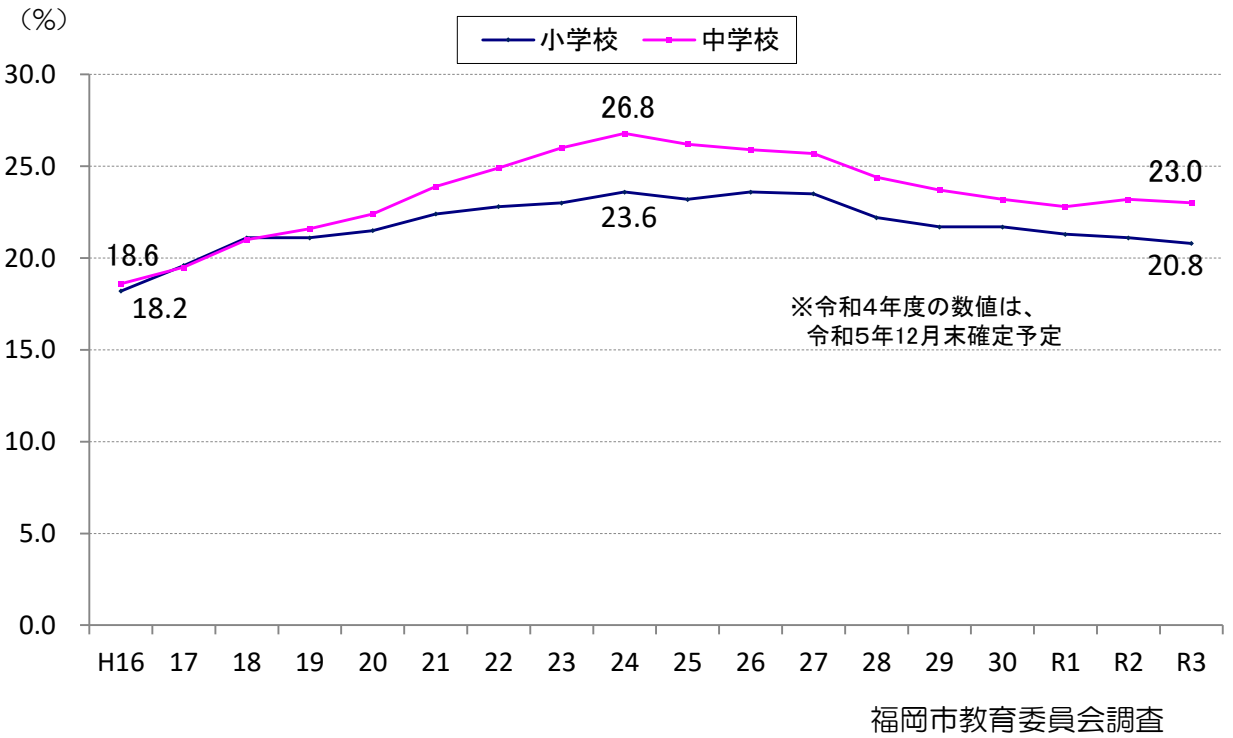
福岡市教育委員会調査

○懲戒処分者数は、近年は減少傾向にあったが、令和4年度に再び増加した。

IV 家庭・地域等

Ⅳ－１ 家庭状況

Ⅳ－１－１ 就学援助対象児童生徒数の割合

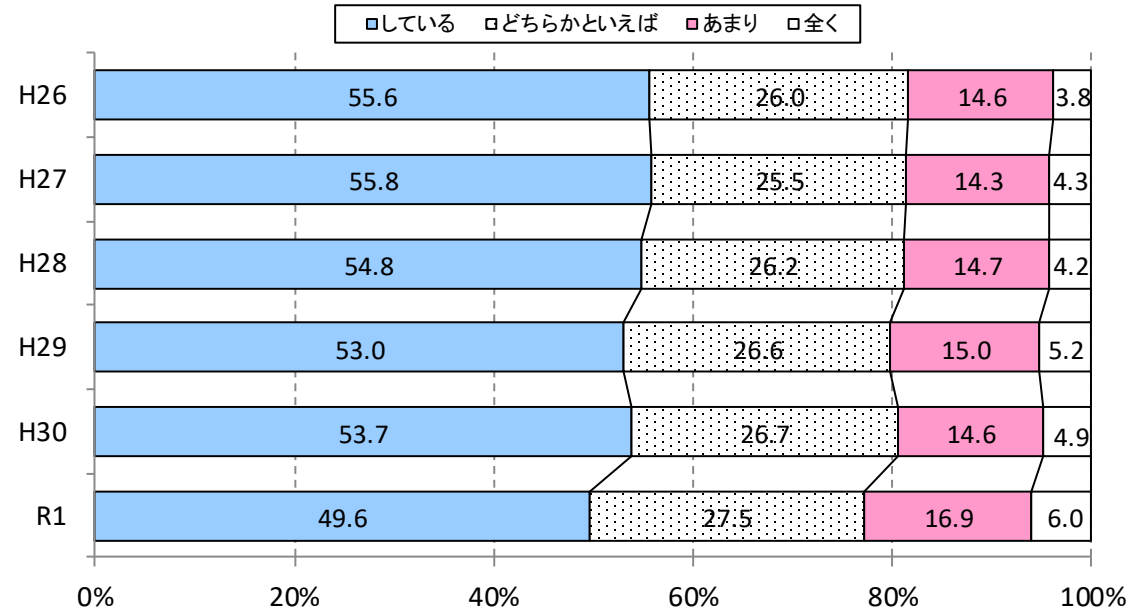


○就学援助対象児童生徒数は、平成24年度までは増加傾向が続き、平成24年度から平成27年度にかけては、ほぼ横ばいであったが、平成28年度からは若干減少傾向である。



Ⅳ－２ 子どもとのかわわり

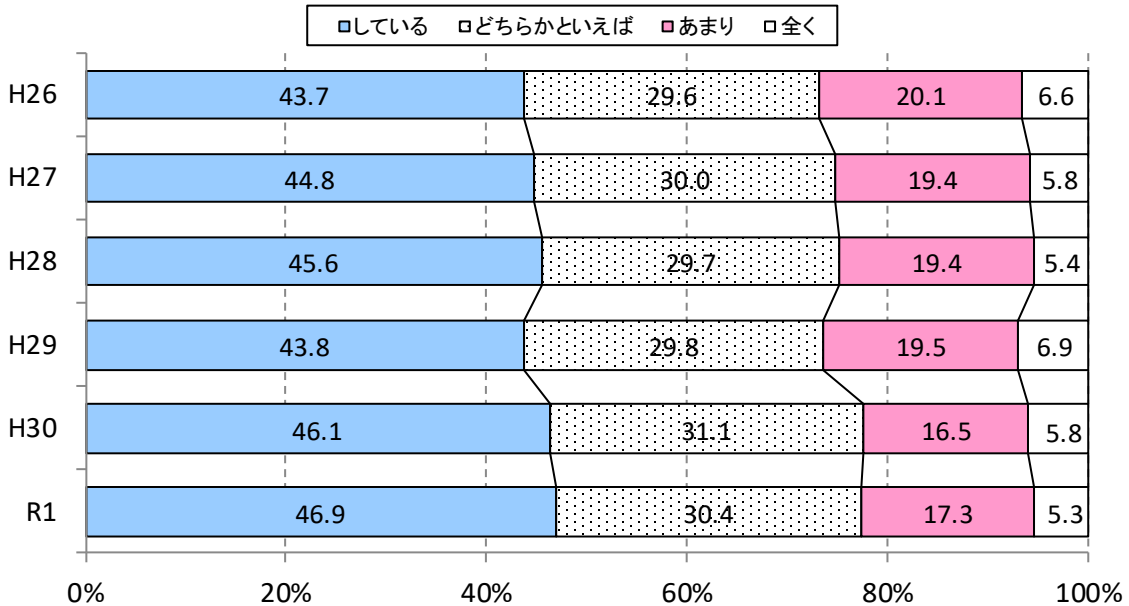
Ⅳ－２－１ 学校の出来事についての会話（小学校６年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○学校の出来事について家庭で会話を「している」と回答した児童の割合は、平成26年度から、50%前後で推移している。（R2は調査中止、R3・R4は調査対象外）

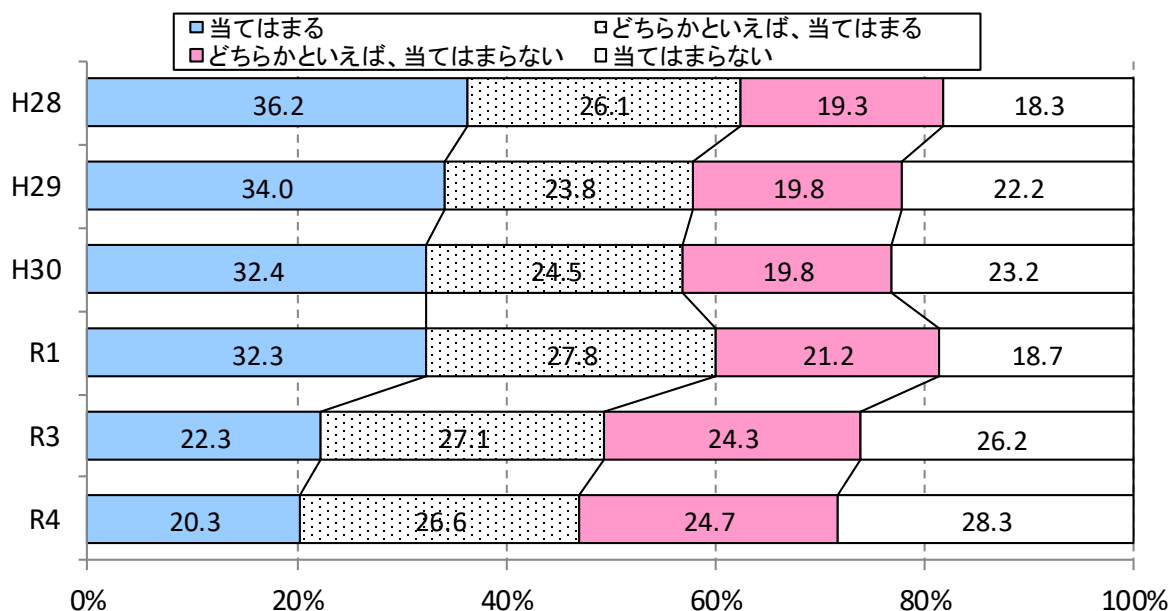
Ⅳ－２－１ 学校の出来事についての会話（中学校３年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○学校の出来事について家庭で会話を「している」と回答した生徒の割合は、平成26年度から、45%前後で推移している。（R2は調査中止、R3・R4は調査対象外）

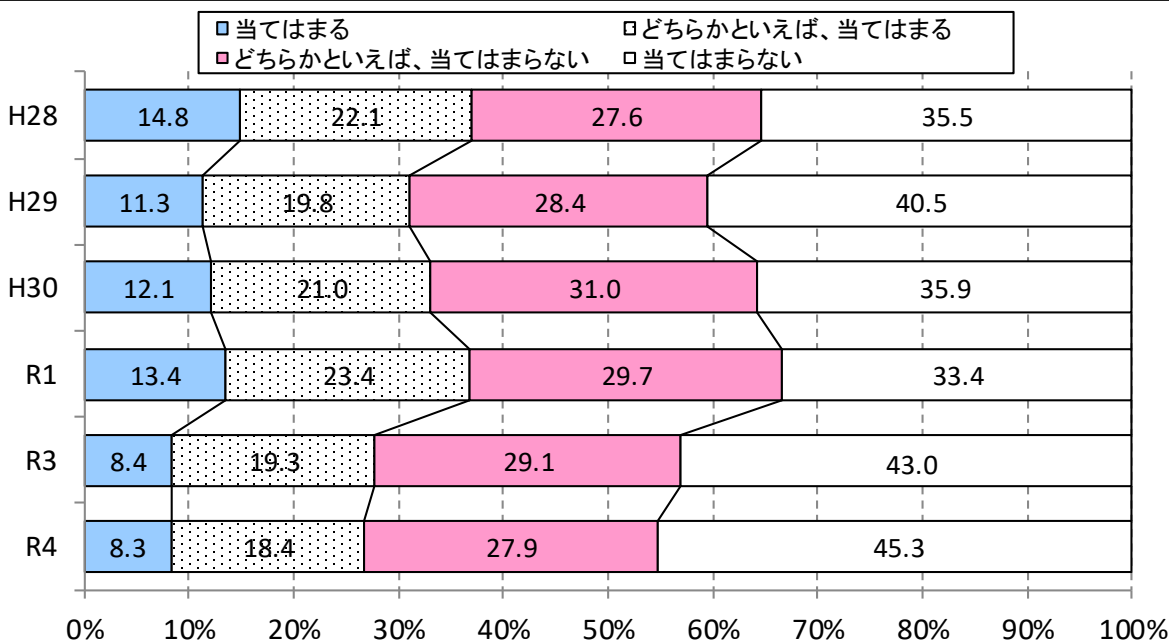
Ⅳ－２－２ 地域行事への参加（小学校６年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○地域行事への参加について、「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合は、60%前後で推移していたが、令和3年度以降は50%を下回っている。（R2は調査中止）

Ⅳ－２－２ 地域行事への参加（中学校３年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○地域行事への参加について、「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合は、35%前後で推移していたが、令和3年度以降は30%を下回っている。（R2は調査中止）



福岡市教育データブック（令和5年度版）

令和5年10月

編集・発行 福岡市教育委員会総務部教育政策課
福岡市中央区天神1丁目8番1号
電話 092-711-4412